基本計画書

	基	ŧ	4	Z		計	画		
事	項		記		入		欄	備	考
計	画の区分	大学の収容	ド定員に係る	学則変	更				
フ	リ ガ ナ	カ゛ッコウホウシ゛ン							
設フ	置 者 リ ガ ナ	学校法人							
大	学の名称			Univer	sity of Inter	national Stud	ies)		
大当	学本部の位置		季市美浜区 若						
大	学 の 目 的		外国の文化	と理解			、わが国の伝統と文化 界に貢献し得る人材を		
新設	设学部等の目的		す成要請の				え、韓国の言語や文化 科(韓国語専攻)の入		
親	所設学部等の名称	平阪	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	開設時期及 び開設年次	所 在 地		
	卜国語学部 【Faculty of Foreign anguages】	年	年次 人	人		年 月 第 年次			
Er	英米語学科 【Department of nglish】	4 40	0 2年次 10 3年次 40	1,710	学士 (英語·地域文化) 【Bachelor of Arts in English and Area Studies】	昭和62年4月 第1年次	千葉県千葉市美浜区 若葉1丁目4番1号		
新設学部等の概要	アジア言語学科 【Department of Asian anguages】	4 19 (168		804 (692)		令和3年4月 第1年次	同上		
	イベロアメリカ言語学科 【Department of panish and ortuguese】	4 12	8 3年次 6	524	【Bachelor of Arts in Thai and Area Studies】 学士 (スペイン語・地域文化) 【Bachelor of Arts in Spanish and Area Studies】 学士 (ポルウガル語・地域文化) 【Bachelor of Arts in Portuguese, Brazilian	平成24年4月 第1年次	同上		
	国際コミュニケーション学科 【Department of nternational ommunication】	4 19	7 2年次 15 3年次 15	863	部 Area Studies] 学士 (国際コミュニケーション) 【Bachelor of Arts in International Communication】	平成13年4月 第1年次	同上		

		m il	921 (893)	2年次 25 3年次 71								
変 (定 員	量者内における 更 状 況 の 移 行 ,) 変 更 等)	外国語学部 英米語学科 グローバル・! グローバル	リベラル	アーツ学	部		令和2年4	月届出予	·定)		
教育課程	新	設学部等の名称	講義	開設す 演習	3	目の総数 実習		計	卒	業要件単位		
			一 科目の 名 称	_	科目	— 科		科目教員等		_	単位 兼任	
教	新		の 名 M : :語学科		教授 人 11	准教授 人 4	講師 人 9	助教 人 0	計 人 24	助手 、 人 0	教員等 人 303	
		ŢŶ.	 ?言語学科		(11)	(4) 6	(9) 15	(0)	(24)	(0)	(303)	
員			ロアメリカ言語学科		(12) 5 (5)	(6) 6 (6)	(15) 8 (8)	(0) 0 (0)	(33) 19 (19)	(0) (0)	(281) 265 (265)	
組	設	国際	ミュニケーション学科	ŀ	11 (11)	10 (10)	3 (3)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	290 (290)	
		ク゛ローハ゛ル・リヘ゛ラルアー: ク゛ロ・	ツ学部 ーバル・リベラルアーツュ	学科	5 (5)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	109	※令和2年4月設置 届出予定
織	分		計		44 (44)	30 (30)	40 (40)	0 (0)	114 (114)	0 (0)	(-)	
	既	English Language	Institute(英語教育	育研究機関)	— (—)	— (—)	67 (67)	(-)	67 (67)	(-)	- (-)	
0		体育・スポーツも	ニンター		1 (1)	— (—)	- (-)	- (-)	1 (1)	— (—)	- (-)	
	設	言語教育研究所			1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	— (—)	— (—)	
概		キャリア教育セン	ター		2 (2)	— (—)	- (-)	(-)	2 (2)	— (—)	— (—)	
	分		計		4 (4)	- (-)	67 (67)	(-)	71 (71)	— (—)	— (—)	
要		合	計		48 (48)	30 (30)	107 (107)	0 (0)	185 (185)	0 (0)	(-)	
		職	種		専	任	人	兼任	人	計	人	
教		事務	職	員		146 146)		51 (51)		197 (197		
員以外の		技術	職	員		4 (4)		1 (1)		5 (5)	ı	
の職員の		図 書館 質	厚 門 職	員		3 (3)		3 (3)		6 (6)	ı	
の概要		その他	の職	員		0 (0)		0 (0)		0 (0)	1	
		m n	†			153 153)		55 (55)		208 (208		
校		区 分	専	用	共	用	学	用する他 校等の専	用	計		
地		校 舎 敷 地 運 動 場 用 地		680 m ² 223 m ²			m² m²		0 m² 0 m²		680 m² 223 m²	
뽀		小 計	67,	903 m²		0	m²		0 m²	67,	903 m²	
等		その他	30,	938 m²		0	m²	($0 m^2$	30,	938 m²	

.,					841 m²		0 m	2		0	m²	98, 841 m²			
					Ę	Į.	用	共	用		共用する 学校等の			計	
		校	舎			42	2, 083 m ²		0 m	_	子仅守0	7年 用 0	m²	42, 083 m²	
					(42,	083 m²)	(0 m²)	(0 m²)	(42, 083 m²)	
			講義室			演習	室	実懸	美習室	情報	報処理学	学習施設	野 語学	学習施設	
教室	官等		:	116室			0室		2室				室		大学全体。
								K a h si	<u> </u>	(補助職」			職員5人)	
専	任	教	員 研 究	室			新設学部	幸の名を全体	<u>, </u>			<u>室</u> 15	数		
					図書			雑誌			4F1 174- 2			1	
	新記	没学?	部等の名称	(う)	ち外国		[うちタ	小国書 〕	電子ジャ		一倪腮リ		機械・器具		
図				1	38, 000	₩		種				点	点		
書		大组	学全体	(5	3,000		720 [[470]	6,630 [6,		1,	900	0	0	
· 設			1		[35, 000] 2, 000]		(720 [470))	(6, 63 ([6, 625		(1,	900)	0	0	
備				1	38, 000		720 [470]	6, 630 [6,		1,	900	0	0	
			計	(1	53, 000 <u>)</u> 135, 000)		-	(6, 63	-			0		
					2, 000])	(720 [470))	([6, 625	j))	(1,	900)	0	0	
		図書	館			面積	3,820	m²	閲覧座/ 350周			収	納 可能		
	休 <u>育</u> 館 面積		3, 020	111		•	外のスフ	】 ポーツħ	を設の概要)	大学全体。				
	,	体育館 3,22		3, 223	m²	トレーニンク				テニスコート5	面				
	区 分 開設前		年度	第1年	次 第2	年次 第3	8年次	第4	年次	第5年次	第6年次				
	経費 教員1人当り研究		究費等	300	千円	300₹	-円 3	00千円 :	800千月	円 30	00千円	一 千円	一 千円		
		の見 漬り	共同研究		5,000	千円	5,000千	5,0	00千円 5,0	000千F	円 5,00	00千円	一 千円		大学全体。
	1	惧り	図書購入		40,000					000千F		00千円	一 千円		図書費には電子 ジャーナル・
経費 見積			設備購入		70,000					00千		00千円	一 千円		データベースの 運用コスト及び
及び	維			弗.	1年次		第2年次	. 男	3年次	弗 4	年次	弗 5	5年次	第6年次	整備費を含む。
持方の概	法要	半月	E1人当り						,300千円		800千円				
			納付金	1,	420千日	月 (2	1,300千 2年次編入:		次編入生) ,300千円		編入生) 800千円	_	- 千円	一 千円	
							1,500千	円 (3年		3年次	編入生) 800千円				
									, 500 [7]	1, 0	000 [7]				
		学生	E納付金以外	の維持	寺方法の	概要	要 私立	大学等経	常経費補助	金、韓	维収入	等			
	大	学	の名		田外語:		L /								
	学	部	等の名	称年	業 入限 定	学員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号		定 員 超過率	開設 年度		在 地	
				_	年	人	年次	人			倍				
	外国	語学	部				人				1. 11		千葉県	千葉市美浜	
	, ,													丁目4番1号	
	英	米部	· 学科	4	4	00	2年次	1,710	学士	11.5	1.06	昭和62年	连度		
							10 3年次		(英語·地域文	化)					
							40								
既	7:	ゾア言	語学科	4	1	68	3年次	692	学士		1.14	平成24年	连度		
設大							10		中国語·地域文 学士	化)					
学等									(韓国語・地域文学士	化)					
の									(インドネシア語・地域	文化)					
状況									学士 (ペトナム語・地域3	(化)					
									学士 (タイ語・地域文						
									₩ 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	,/					
					-					•			-		

	イベロアメリカ言語学科 国際コミュニケーション学科	4	128	3年次 6 2年次 15 3年次 15	524 863	学士 (スペイン語・地域文化) 学士 (ポルトガル語・地域文化) 学士 (国際コミュニクーション)		平成24年度 平成13年度			
	大学の名称	你 神田夕	卜 語大学:	大学院							
	学部等の名称	作 作 作 限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員超過率	開設 年度	所	在 地	
既		年	人	年次人	人		倍				
設大学等	言語科学研究科			,			0.75		千葉県千三区芸葉17	葉市美浜 - 目4番1号	
等の	英語学専攻	2	8	_	16	修士 (文学)	1.00	平成4年度	四月末口	HIBIO	
状況	日本語学専攻	2	8	_	16	修士 (文学)	0.65	平成4年度			
	言語科学専攻	3	2	_	6	博士 (言語学)	0. 12	平成6年度			
ļ	対属施設の概要	該当な	: L								

(1)	1 NC -t	教 育	課	程		等		の		概		要	更	3/1-2	口平工来規模	arrive
(外国	語字音	『アジア言語学科) 			単位		授	業形	態]	専任	教員等	等配置	Ē		
	日分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准	講	助	助	備	考
				修	択	由	義	習	習	授	教 授	師	教	手		
		Freshman English (a) (CSK) Freshman English (b) (CSK)	1前 1後	2			0					6 6				
		総合英語 I (a) 総合英語 I (b)	1前 1後	1			0								兼6 兼6	
		Sophomore English (a) (CSK) Sophomore English (b) (CSK)	2前 2後 2 	2			0					4			¥-c	
	中	総合英語 II (a) 総合英語 II (b) English for Multicultural Communication	2前 2後	1			0								兼6 兼6	
	国語	English for Multicultural Communication 時事英語 I 時事英語 II	3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	8	2 2		0								兼14 兼7 兼3	
	韓	ビジネス英語 I ビジネス英語 I ビジネス英語 II	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	† †	2 2		0								兼5 兼3	
	国語	Effective Language Learning Course 1 Effective Language Learning Course 2	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	·······	1		0								兼5 兼1	
	専攻	Effective Learning Module 1 Effective Learning Module 2	1・2・3・4前後 1・2・3・4前後	†	1		0								兼1 兼1	メディア メディア
		TOEIC基礎 TOEIC600演習	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後		1 1			0							兼3 兼3	
		TOEIC650演習 TOEIC730演習	1・2・3・4前後 1・2・3・4前後		1 2			0							兼3 兼2	
並		TOEIC860演習 検定試験(英語)	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後		2			0							兼2 兼1	
英語科		小計(23科目) Freshman English I (ML)	- 1前	20	21	0	0	_		0	0	6	0	0	兼28	_
目	イン	Freshman English II (ML) アカデミック英語 I	1後 1前	2			0					6 3				
	ドネ	アカデミック英語Ⅱ Sophomore English I (ML) Sophomore English II (ML)	1後 2前 2後	2 2 2			0					3 4				
	シア語	Media English I (ML) Media English II (ML)	2後 2前 2後	2 2			0					4 4 4				
	専攻	English for Multicultural Communication 時事英語 I	3·4前後 1·2·3·4前後	8	2		0								兼14 兼7	
	· ~	時事英語 Ⅱ ビジネス英語 Ⅰ	1・2・3・4前後 1・2・3・4前後		2 2		Ŏ O								兼3 兼5	
	トナ	ビジネス英語 Ⅱ Language Lab(ML)	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後		2 1		0					1			兼3	
	お語	Oral Communication Effective Language Learning Course 1	1・2・3・4前後 1・2・3・4前後		1 1		0								兼1 兼5	
	専攻・	Effective Language Learning Course 2 Effective Learning Module 1	1・2・3・4前後		1		0								兼1 兼1	メディア
	タイ	Effective Learning Module 2 TOEIC基礎	1・2・3・4前後	ļ	1		0	0							兼1 兼3	メディア
	語専	TOEIC600演習 TOEIC650演習 TOEIC730演習	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	ļ	1			0							兼3 兼3	
	攻	TOEIC730廣自 TOEIC860演習 小計(24科目)	1・2・3・4前後	24	1 2 2 21	0	ļ 	0		0	0	10	0	0	兼2 兼2 兼34	
		中国語総合 I (a) 中国語総合 I (b)	1前 1後	3	<i>-</i> 11		0			1	2	1 1			Alvor	
		中国語作文 I (a) 中国語作文 I (b)	1前 1後	1			Ö				1		ļ			
		中国語会話 I (a) 中国語会話 I (b)	1前 1後	2			0				1 1	1 1				
	中国	中国語総合 Ⅱ-1 (a) 中国語総合 Ⅱ-1 (b)	2前 2後	2 2			0			1		1 1				
	語専	中国語総合 Ⅱ-2 (a) 中国語総合 Ⅱ-2 (b)	2前 2後	1			0				2	ļ	ļ			
	攻	中国語作文 Ⅱ (a) 中国語作文 Ⅱ (b)	2前 2後	1			0		ļ		1 1 1	1	ļ			
		中国語会話 Ⅱ (a) 中国語会話 Ⅱ (b)	2前 2後 2前	1 1			0				1	1	ļ		並1	
		LL中国語 (a) LL中国語 (b) 中国文学講読 I (a)	2前 2後 3•4前後	1	9		0		 	 		1	ļ		兼1 兼1	
		中国文字講就 I (a) 中国文学講読 I (b)	3•4前後 3•4前後	İ	2		0	<u> </u>	ļ !	l		1	<u> </u>			

(外国	語学部	教育アジア言語学科)	課	程		等		の		概		罗		7 /44	日本工業規格A4縦型
		У У раны 1 117			単位	数	授	業形	態	j	専任	教員等	等配置	Ē	
科区	分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備考
		中国文学講読 Ⅱ (a) 中国文学講読 Ⅱ (b)	3•4前後 3•4前後	115	2	Щ	我 〇 〇	P	Ħ	1文	1又	hid	叙	于	兼1 兼1
		時事中国語 I (a) 時事中国語 I (b)	3•4前後 3•4前後		2 2		Ö O			1 1					2052
		時事中国語 II (a) 時事中国語 II (b) 中国語翻訳法 I (a)	3•4前後 3•4前後 3•4前後		2 2		000			1					兼1
	中国	中国語翻訳法 I (b) 中国語翻訳法 II (a)	3•4前後 3•4前後		2		0				1				兼1
	語専攻	中国語翻訳法 II (b) 中国語討論・スピーチ I (a) 中国語討論・スピーチ I (b)	3•4前後 3•4前後 3•4前後		2 2 2 2 2 2 2 2 2		0				1				兼1 兼1
	3	中国語討論・スピーチ II (a) 中国語討論・スピーチ II (b)	3•4前後 3•4前後		2		0								兼1 兼1
		中国語表現法 I (a) 中国語表現法 I (b) 中国語表現法 II (a)	3·4前後 3·4前後 3·4前後	<u></u>	2 2 2 2		0				1				兼1 兼1
地		中国語表現法 II (b) 小計(36科目) 韓国語基礎 I	3·4前後 一 1前	24	2 40	0	0	_		2	1 1 2 1	2	0	0	兼4 一
域 言		韓国語基礎 Ⅱ 韓国語基礎 Ⅲ 韓国語基礎 Ⅳ	1後 2前	6 6			Ö		 	2 3 3	1	1 1			兼1 兼1
語科目		韓国語口頭表現 I	2後 3•4前 3•4後	6	2 2		0			3 1 1		1			兼1
	韓	韓国語口頭表現 Ⅱ 韓国語通訳法 Ⅰ 韓国語通訳法 Ⅱ	3•4前 3•4後		2		0								兼1 兼1
	国語専	韓国語翻訳法 I 韓国語翻訳法 II 時事韓国語 I	3•4前 3•4後 3•4前	ļ	2 2 2		0			1					兼1 兼1
	攻	時事韓国語 Ⅱ 韓国語講読 Ⅰ 韓国語講読 Ⅱ	3•4後 3•4前		2		0			1	1				
		韓国語対話文 I 韓国語対話文 Ⅱ	3·4後 3·4前 3·4後 3·4前		2 2 2 2 2 2		0				1 1				
		韓国語上級会話 I 韓国語上級会話 II 小計(18科目)	3•4前 3•4後 一	24	2 2 28	0	0			2	1	1 1 2	0	0	兼3 —
	インド	インドネシア語基礎 I インドネシア語基礎 Ⅱ インドネシア語基礎 Ⅲ	1前 1後	5 5			0			1 1	1 1	2 2			兼1 兼1
	トネシア	インドネシア語基礎 Ⅲ インドネシア語基礎 Ⅳ インドネシア語総合	2前 2後 3•4前後	5 5 8			0			1 1 1	1 1 1	2 2 2			兼1 兼1 兼1
	語専攻	インドネシア語応用 I インドネシア語応用 II 小計(7科目)	3•4前後 3•4前後 —		2	0	0				1		0	0	
	ベト	ベトナム語基礎 I ベトナム語基礎 II	- 1前 1後 2前	28 5 5	4	0	0			1 2 2 2	1	2 2 2	0	0	兼1 — 兼1 兼1
	ナム	ベトナム語基礎 Ⅲ ベトナム語基礎 Ⅳ	2前 2後 3•4前後	5 5 5 8			0			2 2 1	ļ	2 2 2 2 1	ļ		兼1 兼1
	語専攻	ベトナム語総合 ベトナム語応用 I ベトナム語応用 I	3•4前後 3•4前後		2		0							^	¥1
	タ	小計(7科目) タイ語基礎 I タイ語基礎 II	- 1前 1後	28 5 5	4	0	0			2 2 2	0	2 2 2	0	0	兼1 — 兼1 兼1
	イ 語	タイ語基礎 Ⅲ タイ語基礎 Ⅳ タイ語総合	2前 2後 3•4前後	5 5 8			0			2 2 2		1 1 2	ļ		兼1 兼1
	専攻	タイ語総合 タイ語応用 I タイ語応用 II ルま (7科 日)	3•4前後 3•4前後		2 2		0			1	0		0		
		小計(7科目) 中国語 I (a) 中国語 I (b)	- 1·2·3·4前 1·2·3·4後	28	4	0 2 2 2	0			1 1	0	3 1 1	0	0	兼1 — 兼 7 兼 7
		スペイン語 I (a) スペイン語 I (b) 韓国語 I (a)	1·2·3·4前 1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2 2 2	0				1				兼 11 兼 11 兼 7

(外国語学語	教育 アジア言語学科)	課	程		等		の		概		多	更	7/1-4	口平工来規模	
01 DHD 1 H	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			単位	数	授	業形	態	:	専任	教員等	等配置	Ē		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准教	講	助	助	備	考
			修	択	由	義	習	習	授	授	師	教	手	· ·	
	韓国語 I (b) フランス語 I (a)	1・2・3・4後 1・2・3・4前	ļ		2 2	0		ļ	ļ	1	 	ļ	ļ	兼 7 兼 4	
	フランス語 I (b)	1・2・3・4後			2	0								兼 4 兼 2 兼 2	
	ドイツ語 I (a) ドイツ語 I (b)	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2 2	0				ļ	ļ	ļ		兼 2 兼 2	
	ロシア語 I (a)	1・2・3・4前			2	\circ								兼 1	
	ロシア語 I (b) イタリア語 I (a)	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2 2	000								兼 1 兼 3	
	イタリア語 I (b)	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0								兼 3 兼 2	
	アラビア語 I (a) アラビア語 I (b)	1·2·3·4前 1·2·3·4後 1·2·3·4前			2 2 2	0								兼 2	
	ポルトガル語 I (a) ポルトガル語 I (b)	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2				ļ	ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1	
	ベトナム語 I (a)	1・2・3・4前			2 2	0					1			兼 1	
	ベトナム語 I (b) インドネシア語 I (a)	1·2·3·4後 1·2·3·4前	 		2 2	0		ļ	 	 	1	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	インドネシア語 I (b)	1・2・3・4後	İ		2 2	0		 		ļ	1	ļ	ļ	兼 1	
	タイ語 I (a) タイ語 I (b)	1・2・3・4前 1・2・3・4後	ļ		2 2	0		ļ	ļ	 	1	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1 兼 5 兼 5 兼 3 兼 3	
	中国語Ⅱ(a)	2•3•4前	ļ		1	0		ļ		ļ	-	ļ		兼 5	
	中国語 II (b) スペイン語 II (a)	2·3·4後 2·3·4前			1 1	Ö			ļ		ļ	ļ		兼 5 兼 3	
選	スペイン語 II(b)	2・3・4後			1 1 1	Ō O								兼 3	
択 外	韓国語 II (a) 韓国語 II (b)	2·3·4前 2·3·4後			1 1	0				ļ	1	ļ	ļ	兼 2 兼 2	
国語	フランス語 I I (a)	2•3•4前			1 1	0								兼 3 兼 3	
科	フランス語 II(b) ドイツ語 II(a)	2·3·4後 2·3·4前			1	0			ļ	ļ	ļ			兼 1	
目	ドイツ語 II(b) ロシア語 II(a)	2•3•4後			1	0					ļ			兼 1 兼 1	
	ロシア語 I (b)	2·3·4前 2·3·4後			1 1	Ö					ļ			兼 1	
	イタリア語Ⅱ(a) イタリア語Ⅱ(b)	2·3·4前 2·3·4後			1 1	0				ļ	 	ļ		兼 1 兼 1	
	アラビア語 II (a)	2•3•4前			1	0					 			兼 1	
	アラビア語 II(b) ポルトガル語 II(a)	2·3·4後 2·3·4前			1 1	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	ポルトガル語 I (b)	2•3•4後			1 1						 			兼 1 兼 1	
	ベトナム語 II(a) ベトナム語 II(b)	2·3·4前 2·3·4後			1 1	0			ļ	ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1	
	インドネシア語 II (a)	2•3•4前			1	0					1			AIX I	
	インドネシア語 II(b) タイ語 II(a)	2·3·4後 2·3·4前			1 1	0			ļ	ļ	1	ļ			
	タイ語 II (b)	2•3•4後			1	0					1				
	中国語Ⅲ(a) 中国語Ⅲ(b)	3•4前 3•4後			1 1	0			ļ	ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1	
	スペイン語Ⅲ(a)	3•4前			1	0								兼 1	
	スペイン語Ⅲ(b) 韓国語Ⅲ(a)	3•4後 3•4前			1 1	0					ļ	ļ		兼 1	
	韓国語Ⅲ(b) フランス語Ⅲ(a)	3•4後 3•4前			1	0					[兼 1	
	フランス語 Ⅲ (b)	3•4後			1 1	0					ļ			兼 1	
	ドイツ語Ⅲ(a) ドイツ語Ⅲ(b)	3•4前 3•4後	ļ		1 1 1	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	イタリア語Ⅲ(a)	3•4前			1	0		ļ	 	ļ	 	ļ	ļ	兼 1	
	イタリア語Ⅲ(b) 小計(60科目)	3·4後 —	0	0	1 36	0	_		0	1	4	0	0	兼 1 兼 51	_
	基礎演習 発展基礎演習	1前 1•2•3•4後	2	,			0	<u>.</u>	3	1	3			兼 15	
導	発展基礎演習 情報基礎 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	 		2 1 1 1 1	 	0	ļ	 	 	 	 	 	兼 1 兼 1	メディア
入科	情報基礎Ⅱ	1・2・3・4後	!		1		0	 			 	 	ļ	兼 1	ノブ ゴァ メディア メディア
目	日本語表現力基礎 本を読む	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	ļ		1 1	ļ	0	ļ	2	1	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 9	メディア
	小計(6科目)	-	2	0	6		_		3	1	3	0	0	兼 16	
	体育・スポーツ 体育・スポーツ II	1・2・3・4前後 1・2・3・4前後	 	1 1		 		00	ļ	 	l	 	ļ	兼 7 兼 7	
	歴史学 I	1•2•3•4前	ļ	2		0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 3	
ļ	歴史学Ⅱ	1•2•3•4後	1	2	<u> </u>	0	l	Il	ll	1	l	I	I	兼 3	<u> </u>

(外国語学部	教育 アジア言語学科)	課	程		等		の		概		萝	更	.,,,,	口平工未規作	
				単位	近数	授	業形	態	J	専任	教員等	等配置	Ē		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准教	講	助	助	備	考
	lic N/ w		修	択	由	義	習	習	授	授	師	教	手		
	哲学 I 哲学 II	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2		0					ļ	ļ		兼 2 兼 2	
	倫理学 I	1•2•3•4前	ļ	2		0								兼 2	
	倫理学 I 宗教学 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ	2		0	ļ				1			兼 1 兼 1	
	宗教学Ⅱ	1・2・3・4後	İ	2		O								兼 1	
	文学 I 文学 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2 2		0					1	ļ		兼 1	
	美術史学 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後	İ	2		0					1				
	美術史学Ⅱ	1・2・3・4後		2	<u></u>	0	ļ		ļ	1		ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	言語学 I 言語学 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	İ	2		0				1 1				兼 1	
	社会学 I 社会学 II	1•2•3•4前	ļ	2		0								兼 2	
	社会学 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	<u> </u>	2	İ	0			 		ļ	<u> </u>		兼 2 兼 2	
教	法学Ⅱ	1•2•3•4後	Į		<u> </u>	0	ļ	ļ			ļ	ļ		兼 2	
養 科	憲法Ⅱ 憲法Ⅱ	1•2•3•4前 1•2•3•4後	 	2	 	0	ļ	ļ	ļ	l	ļ	ļ	 	兼 3 兼 3	
Ħ	政治学 I	1•2•3•4前	ļ	2 2 2 2 2 2		0					ļ	ļ		兼 1	
	政治学 I 経済学 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前後		2	 	0	 	ļ	 	ļ	 	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1	
	経済学Ⅱ	1•2•3•4前後	İ	2										兼 1	
	心理学 I 心理学 II	1•2•3•4前 1•2•3•4後	ļ	2 2 2		0					ļ	ļ		兼 1 兼 1 兼 2	
	教育学	1・2・3・4後	ļ	2		0								兼 1	
	経営学 I	1・2・3・4前	Į	2		0						ļ		兼 1 兼 1 兼 1	
	経営学Ⅱ 統計学 I	1•2•3•4後 1•2•3•4前		2 2		0	ļ		ļ			ļ	ļ	兼 1	
	統計学Ⅱ	1・2・3・4後		2		0								兼 1	
	生物学 I 生物学 II	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2		0			ļ			 	ļ	兼 1 兼 1	
	化学 I 化学 I	1•2•3•4前		2 2		0								兼 1	
	化字Ⅱ 物理学Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ	2		0	ļ				ļ			兼 1 兼 1	
	物理学Ⅱ	1·2·3·4前 1·2·3·4後	İ	2		Ö								兼 1	
	自然科学概論 I 自然科学概論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ	2		0	ļ				ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	小計(41科目)	- T Z J T K	0	80	0		_		0	1	2	0	0	兼 32	
研究入門	アジア研究入門	1 1·2·3·4前後	2		1	0			2					兼 1 兼 4	
	英語学概論 英語音声学	1・2・3・4前後	 	ļ	4	0	ļ							兼 3	
	Outline of English Phonetics	1・2・3・4前後	ļ		4	0					ļ			兼 1	
	英語音韻論 英語統語論 I	1·2·3·4前 1·2·3·4前	 		4	0	ļ				ļ	ļ		兼 1 兼 2	
	英語統語論Ⅱ	2・3・4後	ļ		4	0								兼 1	
	英語意味論 現代英文法	2·3·4後 1·2·3·4前後	 	 	4	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	 	兼 1 兼 4	
研	英語習得法	1・2・3・4後			4	\circ								兼 1	
究 科	Ways of Learning English 第二言語習得研究	1・2・3・4前後 2・3・4前後	ļ		4	0	ļ		ļ					兼 2 兼 3	
目	Issues in Second Language Acquisition	2・3・4前後			4	0								兼 1	
言	英語談話分析 Introduction to Discourse Analysis	2•3•4前 2•3•4前	 	ļ	4 4 4	0	ļ	ļ		ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 2	
語	英語史	2・3・4前	İ	ļ	4	0					 	ļ		兼 1	
研 究	古期中期英語 教育英文法基礎	2·3·4後 2·3·4前後	ļ	ļ	4 2	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 2	
分野	外国語評価法	2·3·4前	İ	 	2	0	·····			 	ļ	ļ		兼 1	
野	TESOL(英語教授法)海外研修	2・3・4前 1・2・3・4休	ļ	ļ	4	0			ļ		ļ	ļ		兼 1 兼 1	『古仁田 ##
	英語語法研究	2・3・4前	 	ļ	4	Ö	ļ	ļ	ļ	l	ļ	ļ	ļ		隔年開講
	Introduction to English Sentence Structures	1・2・3・4前後	ļ	 	2	0	ļ	ļ	ļ	ļ	 	ļ	ļ	兼 1	
	英語構文研究	2•3•4前		 	4	0	 	ļ	ļ	ļ	 	 	 	兼 1	
	Introduction to Language and Communication	1・2・3・4前後	ļ	 	2	0	 	<u> </u>	ļ	ļ	 	<u> </u>	ļ	兼 1	
	Issues in Applied Linguistics Topics in Sociolinguistics	2·3·4後 2·3·4後	ļ	ļ	4	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	日英語対照研究	2・3・4版	 		4	0	 	ļ	 	ļ	 	 	 	兼 1 兼 1	

(外国語学	教育	課	程		等		の		概		罗	更		口平工未規模	
				単位	数	授	業形	態		専任	教員等	等配置	Ē.		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備	考
	認知発達と英語教育 児童英語教育論	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	115	1/	4 4	我	Ħ	Ħ	1又	1又	шh	秋	于	兼 1 兼 1	
	児童英語指導法	2・3・4前後 2・3・4前後			4 4 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
	児童英語教育実習(船橋) 児童英語教育実習(沖縄) 児童英語教育実習(沖縄) 児童英語海外実習 中国語学概論 I 中国語学概論 I 中国語文法論 I	3・4通 2・3・4休 2・3・4休			2 2 2			000						兼 1 兼 1 兼 1	
	中国語学概論 I 中国語学概論 I	2·3·4休 1·2·3·4前 1·2·3·4後		2 2		0				1 1				205 ±	
	中国語文法論 I 中国語文法論 II 中国語語彙論 I	2·3·4前 2·3·4後 2·3·4前			2 2 2	0			1	1					
	中国語語彙論Ⅱ 中国語音韻論Ⅰ	2•3•4後 2•3•4前			2 2 2	0			1					兼 1	隔年開講
	中国語音韻論Ⅱ 中国語音声学Ⅱ 中国語音声学Ⅲ	2·3·4後 2·3·4前 2·3·4後			2	0								兼 1 兼 1 兼 1	隔年開講 隔年開講 厚年問講
	中国語史 I 中国語史 II	2・3・4前			2 2 2 2	0				1					隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講
	日中比較言語 I 日中比較言語 I 広東語 I	2·3·4後 3·4前 3·4後 3·4前			2 2 2	0				1 1				* 1	隔年開講 隔年開講
	広東語Ⅱ 福建語Ⅰ	3・4街 3・4後 3・4前			2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	福建語Ⅱ 韓国語学概論Ⅰ	3·4後 2·3·4前		2	2	0				1				兼 1	
研	韓国語学概論Ⅱ 韓国語文法論Ⅰ 韓国語文法論Ⅱ	2·3·4後 2·3·4前 2·3·4後	ļ 1	2 2 2		0			1	1					
究 科 目	日韓対照言語研究 I	2·3·4前 2·3·4後			2 2	0								兼 1 兼 1	
言	自共分派自由的7.7.1 韓国語学特講 I 韓国語学特講 II 韓国語社会言語学 I	2·3·4前 2·3·4後 2·3·4前			2 2	0			1	1					
語 研 究	無偏而了可能 韓国語社会言語学 I 韓国語社会言語学 II 韓国語文章表現法 韓国語意味論	2·3·4後 2·3·4前			2 2 2 2	0			1 1						隔年開講
分 野	韓国語意味論 韓国語史 I 韓国語史 II	2·3·4後 2·3·4前 2·3·4後			2 2 2 2	0			1 1 1						隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講
	東南アジア言語概論 I 東南アジア言語概論 II	2·3·4前 2·3·4後			2 2	0			1						[FITS 1713 HT
	スペイン語学概論 I スペイン語学概論 II スペイン語音声学 I	2·3·4前 2·3·4後 2·3·4前			2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
	スペイン語音声学Ⅱ スペイン語史 I	2•3•4後 2•3•4前			2 2	0								兼 1 兼 1	隔年開講
	スペイン語史Ⅱ アメリカスペイン語特殊研究 I アメリカスペイン語特殊研究 Ⅱ	2·3·4後 3·4前 3·4後	ļ		2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	隔年開講
	日西語対照研究 I 日西語対照研究 II	2•3•4前 2•3•4後			2 2	0								兼 1 兼 1	
	商業スペイン語 I 商業スペイン語 II ポルトガル語学概論 I	2·3·4前 2·3·4後 2·3·4前	ļ		2 2	0			ļ			ļ		兼 1 兼 1 兼 1	
	ポルトガル語学概論Ⅱ The Languages of Japan I	2·3·4後 1·2·3·4前後	ļ		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0							ļ	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	The Languages of Japan II 日本語学概論 日本語学 I	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4後休	ļ		4				ļ				ļ	兼 1 兼 1 華 ?	
	日本語学Ⅱ 日本語学特論	1·2·3·4前休 1·2·3·4前	<u></u>		4 4 4	0			 					兼 2 兼 1	
	日本語教育概論 日本語教授法	2・3・4前後 2・3・4前後			4 2 4	0								兼 1 兼 2	
	日本語教育実習 日本語表現法 I 日本語表現法 II	3·4前後 1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		4 2 2 2	0		0				ļ		兼 3 兼 1 兼 1	
	社会言語学 I	2•3•4前	İ	<u> </u>	4	Ö	<u> </u>	<u> </u>	l	<u> </u>	1	1	<u> </u>	兼 1	

(外国語学音	教育 アジア言語学科)	課	程		等		の		概		妻	更	7/1-4	口平上未放	THE ENDOLLY
				単位	数	授	業形	態		専任	数員等	等配置	Ē.		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実		准教	講	助	助	偱	拷
	社会言語学Ⅱ	2•3•4後	修	択	由 4	義	習	習	授	授	師	教	手	兼 1	1
	心理言語学	2•3•4休			4	0								兼 1 兼 1	
	応用言語学 意味·語用論	2•3•4後 2•3•4前			4	0						ļ		兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	言語学特別研究	1・2・3・4前			4	000								兼 1	
	言語哲学Ⅰ 言語哲学Ⅱ 西洋古典語概論Ⅰ	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0 0 0								兼 1 兼 1 兼 1	
	西洋古典語概論 I 西洋古典語概論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2 2	0								兼 1 兼 1	
	小計(102科目)	_	0	12	266	0			5	3	0	0	0	兼 55	
	Public Speaking Debate	1·2·3·4後 1·2·3·4前			4	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 2	
	Small Group Communication	1・2・3・4後			4	0								兼 1 兼 1	
	日米コミュニケーション論 英語オーラルインタープリテーション	2·3·4前 2·3·4後			4	0				ļ		ļ		兼 1 兼 1	
	英語オーラルインターブリテーション 英語説得コミュニケーション論 日英翻訳法 I	1・2・3・4前			4	0								兼 1	
	日英翻訳法 I 日英翻訳法 II	1·2·3·4後 2·3·4前			4	0		ļ]	ļ	 	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 3 兼 3 兼 3 兼 1 兼 1 兼 1	+
	英日翻訳法I	1・2・3・4前			4	Ö								兼 1	
	英日翻訳法Ⅱ 英語通訳法Ⅰ	2•3•4後 1•2•3•4前後			4	0				ļ		ļ		兼 1 兼 3	
	英語通訳法 Ⅱ	1・2・3・4前後			4	0								兼 3	
	英語通訳法Ⅲ 英語通訳法Ⅳ	2•3•4前 2•3•4後			4	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	英語映像翻訳法	2•3•4前 2•3•4前			4									兼 1	
	コミュニティー英語通訳法 Theories of Translation and Interpreting	2・3・4後			4	0								兼 1	
	通訳・翻訳理論(英語) ビジネス中国語 I (a)	2・3・4後			4	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
研	ビジネス中国語 I (b)	3•4前 3•4後			2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
究 科	ビジネス中国語 II (a) ビジネス中国語 II (b)	3·4前 3·4後			2	\cup				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
Ħ	中国語通訳法 I (a)	3•4前			2 2	0								兼 1 兼 1	
(7	中国語通訳法 I (b) 中国語通訳法 II (a)	3·4後 3·4前			2 2 2 2	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
37 2	中国語通訳法Ⅱ(b)	3•4後			2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
=	韓国語映像翻訳法 I 韓国語映像翻訳法 II	2•3•4前 2•3•4後			2	0						ļ		兼 <u>1</u> 兼 1	
ケー	スペイン語圏マス・Eミュニケーション論 I	3•4前			2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
シ	スペイン語圏マス・ロミュニケーション論 Ⅱ スペイン語スピーチ・ロミュニケーション I	3•4後 3•4前				0								兼 1	
ョン	スペイン語スピーチ・EξュニケーションⅡ スペイン語通訳法 I	3•4後 3•4休			2 2 2	0					ļ			兼 1	
研	スペイン語翻訳法 I	2・3・4前			2	0								兼 1 兼 1	
究 分	スペイン語翻訳法 II スペイン語映像翻訳法 I	2•3•4後 3•4前			2	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
野)	スペイン語映像翻訳法Ⅱ	3•4後			2									兼 1 兼 1 兼 1	
	コミュニケーション論 I コミュニケーション論 II	1·2·3·4前後 1·2·3·4後			2	0				ļ		ļ		兼 6 兼 3 兼 7	
	異文化コミュニケーション論 I	2•3•4前後			2	0								兼 7	
	異文化コミュニケーション論 Ⅱ 組織コミュニケーション論 I	2•3•4後 2•3•4前			2 2	0				ļ	ļ	ļ		兼 4 兼 2 兼 2	
	組織コミュニケーション論 Ⅱ	2•3•4後			2	Ō				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 2	
	メディア・コミュニケーション表現 I メディア・コミュニケーション表現 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後		l l	2	0			ļ	l	 	ļ L	ļ	兼 1	<u> </u>
	メディア・コミュニケーション表現 Ⅱ デジタル・メディアとコミュニケーション Ⅰ デジタル・メディアとコミュニケーション Ⅱ	1・2・3・4前			2	0			ļ	ļ	[ļ	ļ	兼 1	
	メディア文化論 Ι	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0	 			ļ	 	ļ	ļ	兼 1	
	メディア文化論 Ⅱ 非言語コミュニケーション論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ	ļ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0 0 0	ļ	 	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 3 兼 1	·
	非言語コミュニケーション論 II 対人コミュニケーション論	1・2・3・4後			2	Ŏ				ļ	 	ļ		兼 1	†
	対人コミュニケーション論 Leadership Communication I	1•2•3•4前後 3•4前			2	0		ļ	 	ļ	 	ļ	ļ	兼 2 兼 1	-
	Leadership Communication II	3•4後			2	0				ļ	 	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1	
	国際ビジネス・ロミュニケーション論 I 国際ビジネス・ロミュニケーション論 II	2•3•4前 2•3•4後			2 2	0			ļ	 	ļ	 	ļ	兼 1 兼 1	
	日本語プレゼンテーション	1•2•3•4前後			4	Ö		[]	l	I	[I	I	兼 1 兼 2	1

]紕	日本工業規模	各A4純型)
(从国钰学	教 育 部 アジア言語学科)	課	程		等		の		概	1	萝	更			
(外国韶子	前リンテ言語子代)			単位	数	授	業形	態		専任	教員等	等配置	ť		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准教	講	助	助	備	考
			修	択	由	義	習	習	授	授	師	教	手		•
	日本語ディベート 日本語スモールグループ・ロミュニケーション	1・2・3・4前後 1・2・3・4前後			4 4 2 2 2	0								兼 2 兼 3	
	コミュニケーション論特講 I コミュニケーション論特講 II	2·3·4前 2·3·4後			2	0				ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1 兼 1	••••••
	レトリカルコミュニケーション論	1・2・3・4後	<u> </u>		2								 	兼 1	
研	多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2 2 2	0	ļ					ļ	ļ	兼 1	
究	通訳・翻訳への招待	1・2・3・4後	<u> </u>		2	0							 	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
科 目	日中通訳法 I 日中通訳法 II	2•3•4前 2•3•4後	ļ	ļ	4	\circ				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	日韓·韓日通訳法 I	2•3•4前			4 2	000							 	兼 1 兼 1	
コミ	日韓・韓日通訳法Ⅱ デジタル・メディアと社会 I	2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2 2 2 2	0	ļ					ļ	ļ	兼 1	
ユ	デジタル・メディアと社会 Ⅱ	1・2・3・4後	<u> </u>		2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
ニ ケ	ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2	0	ļ					ļ	ļ	兼 1 華 1	
1	Media and Japanese Society	1・2・3・4前後	<u> </u>		2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1 兼 3	
シ ョ	メディアリテラシー メディア研究法 I	2・3・4後 1・2・3・4前	ļ		2	0	ļ					ļ	ļ	兼 1	
ン	メディア研究法 Ⅱ	1・2・3・4後	<u> </u>		2	0								兼 3	
研 究	ウェブデザイン I ウェブデザイン Π	2•3•4前 2•3•4後	ļ		2	0						ļ	 	兼 2	
分	ウェブデザイン II メディア表現論 I	1・2・3・4前	<u> </u>		2	0								兼 1	
野	メディア表現論 I ソフトウェアデザイン I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2	Ö						ļ		兼 1	
	フフトウェアデザイン I ソフトウェアデザイン I	1・2・3・4削			2	0							ļ 	兼 1	
	ソフトウェアデザイン II グラフィックデザイン I グラフィックデザイン II	2·3·4前 2·3·4後	ļ		2	Ö								兼 1	
	プログラミング I	2·3·4版 2·3·4前	<u> </u>		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0							ļ	兼 3 兼 2 兼 2 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	プログラミング I 小計(87科目)	2•3•4後 —	0	0	2 220	0	_		0	0	0	0	0	兼 1 兼 68	_
	英文学研究 I	2•3•4前	U	U		0			U	U	U	U	U	兼 1	
	英文学研究Ⅱ 米文学研究Ⅰ	2•3•4後 2•3•4前	ļ		2	0	 			ļ		ļ	ļ	兼 1	
	米文学研究Ⅱ	2•3•4後	<u> </u>		2	0								兼 1 兼 1	
	米国文化論 I 米国文化論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2	0				ļ	ļ	ļ	 	兼 1 兼 1 兼 1	
	米国文化原書講読 I	3•4前	<u> </u>		2 2 2 2 2 2 2 2 2	0								兼 1	
	米国文化原書講読Ⅱ 中国思想概論 I	3・4後 1・2・3・4前	ļ	2	2	0				ļ	ļ	ļ	 	兼 1 兼 1	
	中国思想概論Ⅱ	1・2・3・4後	<u> </u>			0								兼 1	
研	中国文化概論 I 中国文化概論 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ	2		0	 			ļ		ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1	
究	中国文学概論 I	1・2・3・4前		2 2 2		0								兼 1	
科 目	中国文学概論Ⅱ 中国文学史Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ	2	9	0						ļ	 	兼 1 兼 1 兼 1	
_	中国文学史Ⅱ	1・2・3・4後			2 2	0								兼 1	
総合	中国古典講読 I 中国古典講読 II	3•4前 3•4後 3•4前	ļ	2 2		0	 			ļ	1 1	ļ	ļ		
文	中国近世文学研究 I	3・4前		۷	2	0					11			兼 1	
化 研	中国近世文学研究Ⅱ 中国近代文学研究 I	3·4後 2·3·4前	ļ		2	0	 			ļ		ļ	ļ	兼 1 華 1	隔年開講
究	中国近代文学研究Ⅱ	2・3・4後	<u> </u>		2 2 2 2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	隔年開講
分 野	中国現代文学研究 I 中国現代文学研究 Ⅱ	2•3•4前 2•3•4後	ļ		2	\circ	 			ļ		ļ	ļ	兼 1 華 1	隔年開講 隔年開講 隔年開講
2)	韓国文化概論 I	1・2・3・4前	†	2	<u>-</u>	0	ļ		1		 	ļ	 	∆N. 1	11171 円711 円
	韓国文化概論Ⅱ 韓国の宗教・社会 I	1·2·3·4後 2·3·4前	ļ	2 2 2	<u> </u>	0	ļ	ļ	1	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	
	韓国の宗教・社会Ⅱ	2•3•4後		2		0	ļ		1	ļ	ļ	ļ	ļ		
	韓国文化特定研究 I 韓国文化特定研究 Ⅱ	2•3•4前 2•3•4後	ļ	ļ	2	0	ļ		1	ļ	ļ	ļ	ļ		
	韓国映像文化論 I	2•3•4前		ļ	2 2 2 2	0			1	<u> </u>	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	韓国映像文化論Ⅱ 韓国現代文学研究 I	2・3・4後	ļ	ļ	2	0	ļ		ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	韓国現代文学研究Ⅱ	3•4前 3•4後	<u> </u>	ļ	2 2	0				<u> </u>	ļ	ļ	 	兼 1 兼 1 兼 1	
	インドネシアの文化・芸術	2•3•4前	ļ	2		0				ļ	1	ļ	ļ	兼 1	
	インドネシアの民族・地理	2•3•4後	J	2	<u> </u>	\cup	L	l	ll	1	<u> </u>	L	l	L	L

(外国語学音	教育 アジア言語学科)	課	程		等		の		概		要	更	3/124	H 1 1 - 1 - 1	C/9L	哈A4桃空)
V1 🖂 🖽 1 🗜	P / V / E HE 1 111/			単位	数	授	業形	態]	専任	教員等	等配置	£			
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准	講	助	助		備	考
			修	択	由	義	習	習	授	教授	師	教	手			
	ベトナムの文化・芸術 ベトナムの民族・地理	2•3•4前 2•3•4後		2		0				1				兼	1	
	タイの文化・芸術 タイの民族・地理	2·3·4前 2·3·4後		2		0					1			兼	 1	
	東南アジアの宗教と文化 I 東南アジアの宗教と文化 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0			1	1 1	2 2			兼 兼 兼	1	
	スペイン文学史 I スペイン文学史 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	Ö				<u></u>				兼	1	
	スペイン文化研究 I スペイン文化研究 I スペイン文化研究 I	2・3・4前			2 2	0								兼	1	
	現代スペイン文学 I 現代スペイン文学 I 現代スペイン文学 II	2·3·4前 2·3·4後 2·3·4前 2·3·4後			2									兼	1	
	現代ラテンアメリカ文学 I 現代ラテンアメリカ文学 I 現代ラテンアメリカ文学 II	2•3•4前			2	0								兼兼	1	
	5月、ファンアンアステロ ラテンアメリカ文学特殊研究 I ラテンアメリカ文学特殊研究 II	2·3·4後 3·4前			2 2	0								兼兼	1	隔年開講
	ファンテスリガス学行殊研究 II ラテンアメリカの文化と文学 スペイン美術史 I	3·4後 3·4前	ļ		2 2 2	0								兼 兼 兼	1 1	隔年開講
	スペイン美術史Ⅱ	2·3·4前 2·3·4後			2	0								兼	1	
	ブラジルの文化・芸術 ブラジルの宗教・社会	2·3·4前 2·3·4後			2 2 2	0								兼兼	1 1	
	日本文化論 I 日本文化論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2 2 2 2	0								兼 兼 兼	2 1	
	日本近代思想史 I 日本近代思想史 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0								兼兼	1 1	
	日本倫理思想史 I 日本倫理思想史 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0								兼 兼 兼	1 1	
	日本の宗教 I 日本の宗教 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2 2	0								兼兼	1 1	
	日本美術史 I 日本美術史 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0								兼	1 1	
研	日本芸能史 I 日本芸能史 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0								兼 兼	2 1	
究 科	日本文学論 I 日本文学論 I	1・2・3・4前			2 2	0								兼 兼	1	
目	日本大衆文化論 Tourism and Local Cultures of Japan	1·2·3·4後 1·2·3·4前 1·2·3·4後			2	0								兼	1	
総合	Japanese Religions The Literatures of Japan	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後			2 2 2	0								兼 兼 兼	1	
文 化	Japanese Popular Cultures 民族と文化 I (a)	1・2・3・4前後			2	0								兼	1	
研究	民族と文化 I (b) 民族と文化 II (a)	1·2·3·4前 1·2·3·4後 1·2·3·4前	-		2 2 2	0								兼 兼 兼	1	
分野	氏族と文化 II (a) 民族と文化 II (b) 文化について考える	1・2・3・4後			2 2 2	0								兼兼	1	±1 = .2=
<u> </u>	比較文明論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0								兼 1 兼	1	オムニバス
	比較文明論Ⅱ 比較思想Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2 2 2 2	0								兼 兼 兼	1 1	
	比較思想Ⅱ 比較文学概論Ⅰ	1·2·3·4後 2·3·4前	ļ		2 2 2	0								兼	1	
	比較文学概論Ⅱ 日英比較文化論 I	2・3・4後 1・2・3・4前			2	0								兼兼兼	1	
	日英比較文化論Ⅱ 日米比較文化論Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2 2 2	0								兼兼兼	1 1	
	日米比較文化論Ⅱ 日米比較教育論	2·3·4前 2·3·4後 1·2·3·46 1·2·3·46 1·2·3·46 1·2·3·46			2	0		ļ						兼	1	
	民族・宗教問題研究 キリスト教文化論 I	1・2・3・4前	<u> </u>	ļ	2 2	0		ļ	ļ				ļ	兼 兼 兼	1 1	
	キリスト教文化論 I イスラム文化論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0						ļ		兼兼	1 1	
	イスラム文化論Ⅱ 文化心理学 I	1·2·3·4後 2·3·4前			2 2 2	0								果 .	l	
	文化心理学 I 文化心理学 II スポーツ文化論 I	2・3・4後 1・2・3・4前			2 2	0						ļ		兼	1 1	
	スポーツ文化論 Ⅱ 文化人類学概論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0								兼	1	
	文化人類学概論Ⅱ	1・2・3・4後	1	<u> </u>	2 2	Ö	<u> </u>	l	l			İ	1	兼 兼	1	<u> </u>

外国語学	教育 育 アジア言語学科)	課	程		等		0)		概		萝	更			
				単位	数	授	業形	態		専任	教員等	等配置	Ē		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准教	講	助	助	備	考
	文化人類学研究 I	1•2•3•4前	修	択	2	義	習	習	授 1	授	師	教	手	兼 3	
	文化人類学研究Ⅱ 身体運動文化論	1·2·3·4後 1·2·3·4後			2 2	0			1					兼 3 兼 1	
	健康科学論	1・2・3・4前後			2 2 2	0								兼 1 兼 1	
	人権論 ジェンダー論	1·2·3·4後 1·2·3·4後			2 2	0			ļ <u>.</u>	ļ		ļ		兼 2	
	ジェンダー論 アート・マネジメント 児童文化論	1·2·3·4前 1·2·3·4前			2 4	0								兼 1 兼 1	
	演劇 実技 」 I	1・2・3・4前	ļ		1			0						兼 1	
	演劇「実技」 Ⅱ 小計(113科目)	1·2·3·4後 一	0	36	190		_		2	1	5	0	0	兼 1 兼 46	_
	Topics in Oceanian Studies Topics in Canadian Studies	1·2·3·4後 1·2·3·4後	ļ		2 2	00						ļ		兼 1 兼 1	
	英国文化実地研究	1・2・3・4休	ļ	ļ	4	0	ļ			ļ	ļ	ļ		兼 1	!
	米国文化実地研究 オセアニア文化実地研究	1·2·3·4休 1·2·3·4休	<u> </u>	<u> </u>	4	0	ļ		ļ	<u> </u>	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	<u> </u>
	カナダ文化実地研究 マレーシア文化実地研究(英語)	1·2·3·4休 1·2·3·4休	ļ	ļ	4 4	0	ļ			ļ	ļ			兼 1 兼 1	
	英国史概論 I	1・2・3・4前	!	ļ		0	ļ			ļ		ļ		兼 1	ļ
	英国史概論Ⅱ History of the United States Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2 2 2	0								兼 1 兼 1	
	History of the United States II 米国史概論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0								兼 1	
	米国史概論Ⅱ	1・2・3・4後	ļ		2 2 2 2	0								兼 1 兼 1	
	米国政治論 I 米国政治論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	0	ļ		ļ	ļ		ļ		兼 1 兼 1 兼 1	
	米国外交論 I 米国外交論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2	\cup								兼 1	
	米国経済論 I	1・2・3・4前	ļ		2 2	0								兼 1 兼 1	
	米国経済論Ⅱ 米国社会論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前		ļ	2 2	0	ļ			ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 2	<u> </u>
研	米国社会論 II 英米法 I	1・2・3・4後			2 2	0								兼 2 兼 1	
究 科	英米法Ⅱ	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2	0								兼 1	
目	米国政治·外交研究特論 I 米国政治·外交研究特論 Ⅱ	2·3·4前 2·3·4後		ļ	2	0	ļ			ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1	<u> </u>
地	米国政治·外交研究特論Ⅱ 米国社会史研究特論Ⅰ 米国社会中研究特論Ⅰ	2•3•4前	ļ		2	0								兼 1	
域	米国社会史研究特論 Ⅱ 米国社会原書講読 I	2•3•4後 3•4前	ļ		2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
玉	米国社会原書講読Ⅱ 日米関係論Ⅰ	3·4後 1·2·3·4前			2 2	0			ļ	ļ		ļ		兼 1 兼 1	<u> </u>
際 研	日米関係論Ⅱ アジア研究入門	1・2・3・4後			2	Ö			0	3	3			兼 1	+1-
究 分	中国社会事情 I	1·2·3·4前 1·2·3·4前	2			0			8	3	3			兼 1	オムニ
野)	中国社会事情Ⅱ 中国史概論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	2	2	<u> </u>	0	ļ	ļ	1	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	中国史概論Ⅱ 中国現代史Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	Į	2 2 2 2		0	ļ			ļ	ļ			兼 1 兼 1	I
	中国現代史Ⅱ	1・2・3・4後	ļ	2		0	ļ			ļ	ļ			兼 1	<u> </u>
	中国経済概論 I 中国経済概論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	 	2	<u></u>	0	ļ	ļ	ļ	 	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	-
	中国政治外交概論 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ	2 2 2		0	ļ			ļ				兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	-
	中国政治外交概論 II 中国社会研究 I	2・3・4前	İ		2	0	ļ		1 1		ļ	ļ		無 ↓	<u> </u>
	中国社会研究Ⅱ 中国経済研究 I	2•3•4後 2•3•4前	 	 	2 2 2	0	ļ	ļ	1	ļ	 	 	 	兼 1	
	中国経済研究Ⅱ 中国政治外交研究 I	2·3·4後 2·3·4前	ļ	ļ		Ö O	ļ			ļ	ļ			兼 1	隔年開
	中国政治外交研究Ⅱ	2・3・4後	ļ	ļ	2 2 2 2 2 2	0	ļ			ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	隔年開 隔年開
	海外華人論 I 海外華人論 II	2·3·4前 2·3·4後	 	ļ	2	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	隔年開 隔年開
	日中関係論 I	1・2・3・4前	ļ	ļ		0	ļ			ļ	ļ			兼 1 兼 1	
	日中関係論Ⅱ 韓国史概論Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	<u> </u>	2	2	0	ļ			ļ	ļ	ļ		兼 1 兼 1 兼 1	<u> </u>
	韓国史概論Ⅱ 日韓関係史Ⅰ	1·2·3·4後 2·3·4前	ļ	2 2		0	ļ			ļ	ļ		ļ	兼 1 兼 1	ļ
	日韓関係史Ⅱ	2・3・4後	<u> </u>	2	<u> </u>	0	<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ļ	兼 1	<u> </u>

(外国語学語	教育 育 ポアジア言語学科)	課	程		等		の		概		妻	 更	1/124	日本工業規模	日714州(土)
				単位	数	授	業形	態		専任	教員等	等配置	Ē		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演羽	実		准教授	講師	助数	助壬	備	考
区研究科目(地域・国際研究分野)	韓国政治論 I 韓国政治論 I 韓国政治論 I 韓国経済論 I 韓国経済論 I 韓国経済論 I 韓国近代史 I 韓国近代史 I 韓国史特講 I 中東京 I 東南アジア政治経済 I 東南アジア政治経済 I 東南アジア研究入門 I 東南アジア研究入門 I 東南アジア研究入門 I 東南アジア研究入門 I 東南アジア社会論 I 東南アジア大会論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア政治経済論 I 東南アジア政カの法と文化 I イベロアメリカ研究 I 現代イベリア研究 I 現代イベリア研究 I 現代イベリア研究 I 現代ラテンアメリカの法と文化 I イベロアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I ラテンアメリカ政治論 I 東京 I 東京 I 東京 I 東京 I 国際関係 I 国際関係 I 国際関係 I 国際関係 I 国際関係 I 国際関係 I 国際関係 I 国際関係 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際接済 I 国際 I 国際 I 国際 I 国際 I 国際 I 国際 I 国際 I 国	2・3・44前 2・3・46 2・3・46 2・3・46 2・3・46 2・3・46 1・2・3	2 2 2 2 2 2 3 4 4 4 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	度 	E	講	(中	天 習	教 授			数	切	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	「

	#L *	≐ ⊞	1.11		<i>k</i> *		<i>T</i>		4011				計社	日本工業規格	SA4純空
外国語学	教 育 窓 アジア言語学科)	課	程		等		0)		概	1	岁	更			
/IBII 1	10 / V C C C C C C C C C			単位		授	業形	態		専任教員等配置		Ē			
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准教	講	助	助	備	考
	Edithry 222 Now Mr. V	1 2 2 124	修	択	由	義	習	習	授	授	師	教	手	36 a 1	
	国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2 2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	国際マーケティング論 I 国際マーケティング論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2	0				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	国際協力論 I	1・2・3・4前			2	Ō							 	兼 1	
	国際協力論 II 国際平和論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2	0						ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	国際平和論Ⅱ	1•2•3•4後			2 2 2 2	Ö								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	国際開発論 I 国際開発論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2	0						ļ	ļ	<u>兼 1</u> 兼 1	
	The History of Modern Japan The History of Premodern Japan	1・2・3・4前後			2 2	0								兼 1 兼 1	
	International Relations: apan in the Asian Context	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	İ		2	0							ļ	兼 1 兼 1	
	Japanese Politics 日本近代史	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後	ļ		2 2 2 2	0						ļ		兼 1 兼 1 兼 1	
	日本現代史	1・2・3・4前後			2	0							 	兼 1	
	日本政治論 I 日本政治論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2 2 2	0					ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1 兼 1	
	日本経済論 I	1•2•3•4前			2	0								兼 1	
	日本経済論 I 日本社会論 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0						ļ	ļ	兼 1 兼 1	
研	日本社会論Ⅱ	1•2•3•4後			2	0								兼 1	
究	日本外交史 I 日本外交史 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ		2 2	0						ļ	ļ	兼 1 兼 1	
科目	東アジア政治経済論 I	1・2・3・4前			2	0								兼 2	
$\overline{}$	東アジア政治経済論Ⅱ ヨーロッパ政治経済論Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2	0				ļ		ļ	ļ	兼 2 兼 1	
地 域	ヨーロッパ政治経済論Ⅱ	1・2・3・4後	ļ		2	0								兼 1	
• 国	アフリカ研究入門 I アフリカ研究入門 II	1・2・3・4前 1・2・3・4後	ļ		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 2 兼 2 兼 1 兼 1 兼 1	
際	地域研究 社会思想史 I	2•3•4前後 1•2•3•4前	ļ		2	0	ļ					ļ	ļ	兼 3 兼 1	オムニバ 隔年開記 隔年開記 隔年開記 隔年開記
研 究	社会思想史Ⅱ	1・2・3・4後			2	0							 	兼 1	隔年開記
分	現代国家論 I 現代国家論 Ⅱ	1·2·3·4前 1·2·3·4後			2	\cup				ļ		ļ		兼 1 兼 1	隔年開記
野	社会調査法 I	1・2・3・4前			2	0							 	兼 1 兼 1 兼 1	1714 1 12141
	社会調査法Ⅱ 環境科学 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	Ö				ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	環境科学Ⅱ	1・2・3・4後			2	0								兼 1 兼 1	
	企業研究 I 企業研究 II	2·3·4前 2·3·4後			_	0					ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	簿記会計 I 簿記会計 II	2•3•4前 2•3•4後	ļ		2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
	国際経営論 I	1・2・3・4前			2	0								兼 1	
	国際経営論 II マーケティングリサーチ	1•2•3•4後 3•4前	ļ		2	Ö						ļ	 	兼 1	
	アントレプレナーシップ論 企業行動論 I	3•4後	<u> </u>		2	0							 	兼 1 兼 1 兼 1 兼 2 兼 2 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	企業行動論 I 企業行動論 Ⅱ	3•4前 3•4後			2	0				ļ		ļ		兼 2 兼 2	
	企業財務 I	1・2・3・4前			2	Ō							 	兼 1	
	企業財務Ⅱ 民法概論Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前			2 2	0	ļ			ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
	民法概論Ⅱ	1・2・3・4後			2	Ö								兼 1	
	商法概論 I 商法概論 II	1·2·3·4前 1·2·3·4後	 		2	000						ļ		<u>兼 1</u> 兼 1	
	米国契約法	1・2・3・4前			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									兼 1	
	法と国際ビジネス 小計(180科目)	1·2·3·4後 —	12	48	310	0	_		8	5	5	0	0	兼 1 兼 109	
	英文学史 I 英文学史 I 米文学史 I 米文学史 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後	ļ			0					ļ	ļ		兼 1	
研 究		1・2・3・4前	<u> </u>		2	0	ļ			<u> </u>	ļ	ļ	 	兼 1 兼 1 兼 1	
科	米文学史Ⅱ Survey of American Literature	1·2·3·4後 1·2·3·4後	ļ		2	0				ļ				兼 1 華 1	
目 共	英文学講義 I	1・2・3・4前			2 2 2 2 2 2 2	Ö	ļ			ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1 兼 1	
通	英文学講義Ⅱ 米文学講義Ⅰ	1·2·3·4後 1·2·3·4前	ļ		2	0				ļ				兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	木文字講義 I 米文学講義 II	1・2・3・4削	 	ļ	2 2	0	ļ		ļ	 	ļ	 	ļ 	兼 1	

(外国語学	教 育部アジア言語学科)	課	程		等		の		概		罗		1 /14/	日本工業規格	1114MC <u>-E.</u> /
	HEY Y PARE 1 117			単位	数	授	業形	態]	専任	教員等	等配置	ť		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	備	考
	Themes in American Literature 英国研究入門 I	1·2·3·4後 1·2·3·4前	113	1/\	2 2 2	0	自	日	17	1又	bih	叙	于	兼 1 兼 1	
研 究 科	英国研究入門Ⅱ 米国研究入門Ⅱ 米国研究入門Ⅱ	1·2·3·4後 1·2·3·4前 1·2·3·4後			2 2 2	0								兼 1 兼 3 兼 3	
目 共 通	オセアニア研究入門 I オセアニア研究入門 II カナダ研究入門 I	1·2·3·4前 1·2·3·4後 1·2·3·4前			2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
777	カナダ研究入門Ⅱ 小計(18科目)	1·2·3·4後 —	12	0	2 36	Ö	_	···········	0	0	0	0	0	兼 1 兼 4	_
研究演	研究演習	3•4通			4		0		7	5	3			兼 42	
習卒	小計(1科目)	_	0	0	4		_		7	5	3	0	0	_	_
業研究	卒業研究 小計(1科目)	4通	0	_	4		O		7	5	3	0	0	兼 42	
	キャリアデザインキャリア開発		0	0	4 2 1	0		0	7	5	3	0	0	兼 4 兼 6	
	ビジネス・インターンシップ I ビジネス・インターンシップ II 学習支援活動ポランティア	2·3·4前 2·3·4後 1·2·3·4前後			2 2		0	0						兼 2 兼 2	
	学習支援活動ボランティア 外国語学習における個別学習指導論 国際ボランティア体験 海外実地研修(ビジネス)	1·2·3·4前後 1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 2 2	0		0						兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	海外裏地研修(英語) 海外裏地研修(中国語) 海外裏地研修(韓国語)	1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 1 1 1 1	000								兼 1 兼 1	
	海外実地研修(スペイン語) 海外実地研修(ポルトガル語)	1·2·3·4休 1·2·3·4休 1·2·3·4休				0								兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	海外実地研修(インドネシア語) 海外実地研修(ベトナム語) 海外実地研修(タイ語)	1·2·3·4休 1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 1 1	0								兼 1 兼 1 兼 1	
	日本語総合講座Ⅱ 日本語総合講座Ⅳ 日本語総合講座Ⅴ	1·2·3·4前 1·2·3·4後 1·2·3·4後			2 2 2	0								兼 1 兼 1 兼 1	
	日本語表現演習トライ・中国語	2·3·4後 1·2·3·4休			2	Ō	0			1				兼 1	集中
自由	トフイ・スペイン語 トライ・韓国語 トライ・フランス語	1·2·3·4休 1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 1	0								兼 2 兼 3 兼 1	集中 集中 集中
選択科	トライ・ドイン語 トライ・イタリア語 トライ・ロシア語	1·2·3·4休 1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 1 1	0								兼 1 兼 2 兼 1	集中 集中 集中
目	トライ・アラビア語 トライ・ベトナム語 トライ・インドネシア語	1·2·3·4休 1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 1 1	0					1			兼 1	集中 集中 集中 集中
	トライ・ポルトガル語 トライ・タイ語 トライ・ことばと文化	1·2·3·4休 1·2·3·4休 1·2·3·4休			1 1	0			1					兼 1 兼 1	集中 集中 集中
	検定試験 (英語) 検定試験 (中国語)	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後			1 2 2 2			000						兼 1 兼 1	
	検定試験 (韓国語) 検定試験 (インドネシア語) 検定試験 (スペイン語)	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後			2 1			000						兼 1 兼 1 兼 1	
	検定試験 (ポルトガル語) 検定試験 (アラビア語) 検定試験 (イタリア語)	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後			1 1 1			0						兼 1 兼 1	
	検定試験(ドイツ語) 検定試験(日本語) 検定試験(フランス語)	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後			1 2 1			000						兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	
	TOEIC基礎 TOEIC 600演習 TOEIC 650演習	1·2·3·4前後 1·2·3·4前後 1·2·3·4前後			1 1		0							兼 3 兼 3	
	TOEIC 650演習	1・2・3・4前後	<u> </u>	ļ	1 2	 	0		l	 		ļ	 	兼 3 兼 2	

	教 育	課	程		等		\mathcal{O}		概		妻	更			
(外国語学部	部 アジア言語学科) 	<u> </u>			vier.		- NI 4	file			w = .			1	
1) [単位	.数	授	業形	態		専任	教員等	等配置	萱.		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実	教	准教	講	助	助	備考	;
			修	択	由	義	習	習	授	授	師	教	手		
	TOEIC 860演習	1・2・3・4前後			2		0							兼 2	
	小計(49科目)	_	0	0	65		_		1	1	2	0	0	兼12	_
	教育原理	1・2前後			2	0	ļ			ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	教師論	1・2前後	ļ		2	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 2	
	教育社会学	2・3・4前後			2	0	 	ļ		ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	教育心理学	2•3前後			2	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
	特別支援教育	2•3前後			1	0	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	兼 2	
	教育課程論	2・3・4前後			2	0	ļ	ļ		ļ		ļ	ļ	兼 1	
教	道徳教育の指導法	2・3前後			2	0	ļ	ļ		ļ		ļ	ļ	兼 1	
職	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2	0	ļ	ļ		ļ		ļ	ļ	兼 1	
に	教育方法の理論と実践	2・3・4前後	ļ		2	0	ļ	ļ		ļ	ļ		ļ	兼 1	
関	生徒·指導進路指導論	2・3・4前後		ļ	2	0	ļ			ļ	ļ	ļ	ļ	兼 1	
す	教育相談 教育事前事後実習	2・3・4前後	ļ		2	0	ļ			ļ	ļ		ļ	兼 1	
る		3後	ł		2	ļ	ļ	0	ļ	ł	·····	ļ	ł	兼 2	
科	教育実践実習 I 教育実践実習 II	4通	ł		2	ļ	ļ		ļ	ł	·····	ļ	ł	兼 4	
目	教職実践演習(中•高)	4通 4後	ł		2	ļ	ļ	0	ļ	ł	·····	ļ	ł	兼 4 兼 5	
	介護等体験実習	3通	∤		2	ļ	ļ	0		 	ļ			兼 4	
	万 陵 守 体 駅 系 自	3囲 3前	ł		1		ļ	0	ļ	ł	·····	ļ	ł	来 4	
	英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅱ	3門	ł		2	0	ļ	······	ļ	ł	·····	ļ	ł	兼 3 兼 3	
	英語科教育法 Ⅲ	3後 3前	ł		2	0	ļ	······	ļ	ł	·····	ļ	ł	兼 1	
	英語科教育法IV	3後	 		2 2	0	ļ	····	·····	 	ļ	 		兼 1	
	小計(20科目)	3位	0	0	38		_		0	0	0	0	0	兼 9	
	合計(801科目)	_	_	298	1175		_		9	8	15		0	兼 281	
	日前 (6017年日)		204	430	1110			l -	Э	О	10	U	0	Æ 201	
	学位又は称号	学士(中国語・対化、インドネシブ地域文化、タイ	ア語・:	地域ご	女化、ベ			学	位又は	は学和	単の分	分野		文学関係	
	卒業要件及び											授業	· 纟期間	等	
	TAXIIAO	WI-74 II-						1	学年	の学	期区		~/ // // //	2学期	
											業期	•	1	15週	
	別単位数(下記)を修得し、124単位以	上修得すること。									業時	-		90分	
	〈中国語専攻・韓国語専攻〉								m) p)X	.0712	-K-111	HJ		30),	
	語科目22単位、地域言語科目40単位、導入科目2単位、教養科目10単位、専攻指定研究 18単位、コース指定研究科目・研究演習・卒業研究24単位、自由選択科目8単位を修得す														
	コース指定研究科目・研究演習・卒業の	H究24単位、目目	日選抄	付料目	8甲位を	修得	する								
こと。	夕东市市 (3)上)东市市 b /年市市	. <													
	ア語専攻・ベトナム語専攻・タイ語専攻		D 10	H /	古なや	ر	オロエリ								
	単位、地域言語科目30単位、導入科目														
	コース指定研究科目・研究演習・卒業の	T先24単位、目目	出選孙	付け	22里位?	ど修作	于9								
ること。 (履修登録)	単位数の上限:24単位(1~3年次の前期	朗・後期)、30単位	立 (4年	F次))											

学校法人佐野学園 届出に関わる組織の移行表

神田外語大学			
外国語学部			
英米語学科	400	2年次	1,710
2010 III 1 11	100	10	1, 110
		3年次	
		40	
アジア言語学科	168	3年次	692
/ グ/ 日間子付	100	10	032
イベロアメリカ言語学科	198	3年次	524
11、ロググラ双百品子付	120	6	024
国際 - こ こ 、 ご 学科	107		000
国際コミュニケーション学科	197	- 1 2 .	863
		15	
		3年次	
		15	
		a H 1/	
		2年次	
		25	
計	893	3年次	3, 789
		71	
神田外語大学大学院			
言語科学研究科			
英語学専攻(M)	8	-	16
日本語学専攻(M)	8	-	16
言語科学専攻(D)	2	_	6
計	18		38
神田外語学院			
昼間部2年制課程			
グローバルコミュニケーション科	80	-	160
英語専攻科	560	-	1, 120
留学科	140	-	280
アジア/ヨーロッパ言語科	200	-	400
児童英語教育科	60	-	120
国際ビジネスキャリア科	120	-	240
国際観光科	60	_	120
国際ホテル科	60	-	120
国際エアライン科	140	-	280
昼間部1年制課程			
英語基礎養成科	40	_	40
英語コミュニケーション専科	40	_	40
児童英語教育専科	10	_	10
国際エアライン専科	10	_	10
<u> </u>	1,520		
			2.940
FI.	1, 520		2, 940

神田外語大学				
押田外語人子 外国語学部				
		0 1-1-1		+P*= (+ **)
英米語学科	<u>340</u>		1,470	定員変更(△60)
		10		
		3年次		
		40		
アジア言語学科	196	3年次	804	定員変更(28)
		10		
イベロアメリカ言語学科	128	3年次	524	
		6		
国際コミュニケーション学科	197	2年次	863	
国际 (二) (二)	101	15	000	
		3年次		
		15		
グローバル・リベラルアーツ学部		10		労却の乳果(足山)
	CO		940	学部の設置(届出)
<u>グローバル・リベラルアーツ学科</u>	<u>60</u>	_	240	
-		0/T: V/H		=
		2年次		
		25		
計	921	3年次	3, 901	
		71		
神田外語大学大学院				
言語科学研究科				
英語学専攻(M)	8	-	16	
日本語学専攻(M)	8	-	16	
言語科学専攻(D)	2	-	6	_
計	18		38	•
神田外語学院				
昼間部2年制課程				
グローバルコミュニケーション科	80	_		
英語専攻科	560	_	1, 120	
留学科	140	_	280	
アジア/ヨーロッパ言語科	200	_	400	
児童英語教育科	60	_	120	
国際ビジネスキャリア科	120	_	240	
国際観光科	60	_		
国際ホテル科	60	_	120	
国際エアライン科	140		280	
国际エテライン科 昼間部1年制課程	140	_	200	
	40		40	
英語基礎養成科	40	_	40	
英語コミュニケーション専科	40	-	40	
児童英語教育専科	10	_	10	
国際エアライン専科	10	_	10	=
計	1,520		2, 940	

大学所在地を示す広域地図



[大学所在地] 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

交通

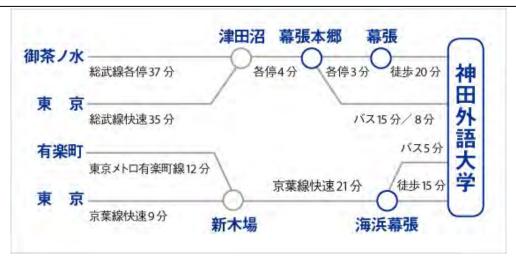
国内外への情報発信基地として、幕張は交通至便な地にあります。

様々なルートでアクセスできますが、最寄駅は2か所。JR 京葉線海浜幕張駅は、東京駅より葛西臨海公園駅、東京ディズニーランドのある舞浜駅などの観光スポットを通過して、快速で30分。その北口から徒歩の場合約15分、京成バスをご利用の場合は同じく北口の3番バス乗り場から約5分ほどで神田外大に到着します。

JR 総武線・京成電鉄ご利用の場合は、幕張駅南口下車徒歩約 20 分。なお、JR 幕張本郷駅南口 6 番バス乗り場からも京成バス(幕張学園循環線約 15 分、コロンブスシティ線約 8 分)を利用して、大学前まで来ることができます。

また、高速道路も整備されており、千葉方面から大学に来られる場合は、東関東自動車道・湾岸千葉 IC で、東京方面から来られる方は、湾岸習志野 IC をご利用いただくと便利です。 ※オープンキャンパス、その他催し物等にお越しいただく際には、本学の駐車場をご利用いただけません。ご理解・ご了承の程、お願い申し上げます。

交通アクセス



幕張本郷駅から

幕 21 系統:15 分/幕 22 系統:8 分

幕 21 系統市町村アカデミー・神田外語大学方面幕張学園循環「神田外語大学下車」

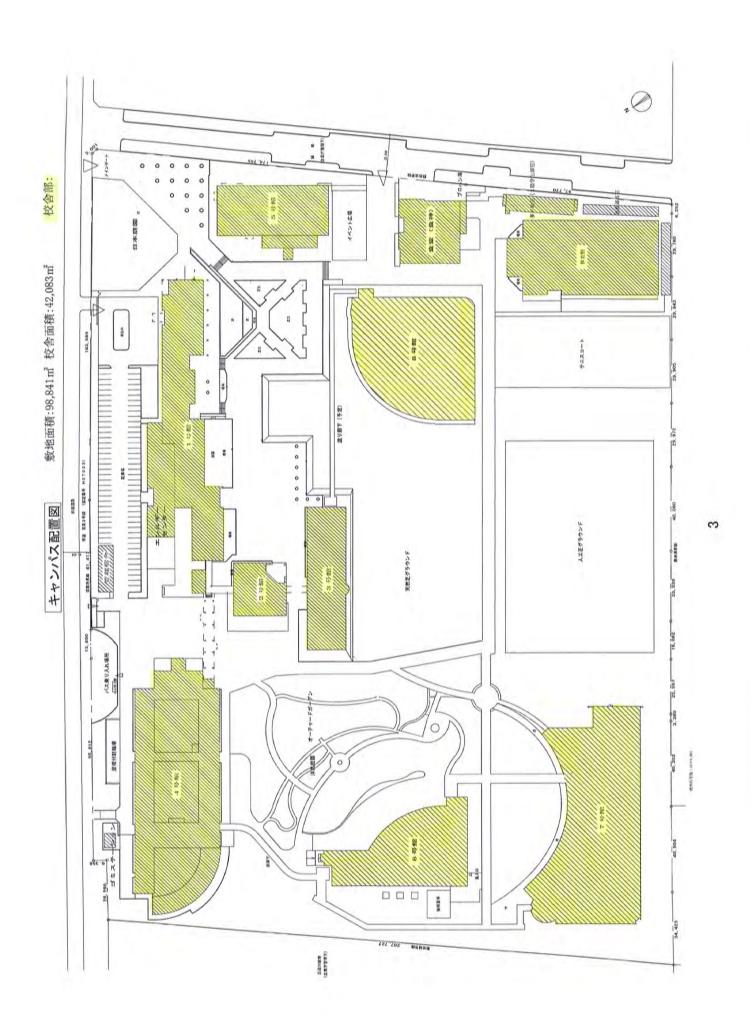
幕 22 系統コロンブスシティ経由海浜幕張駅行「神田外語大学」下車

海浜幕張駅から

幕 22 系統神田外語大学・コロンブスシティ経由幕張本郷駅行「神田外語大学」下車

大学周辺地図





神田外語大学 学則

第1章 総則

(目的)

第1条 神田外語大学(以下「本学」という。)は、広く一般知識を授け、深く専門学術を 教授研究するとともに、わが国の伝統と文化を究明し、諸外国の文化を理解し、国際社会 の一員として世界に貢献し得る人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

- 第1条の2 本学の教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、 本学における教育活動の状況並びに研究について、自ら点検及び評価を行う。
- 2 前項の点検及び評価の実施に必要な事項は別に定める。

(教育研究活動等の情報公表)

- 第1条の3 本学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものと する。
- (1) 大学の教育研究上の目的に関すること
- (2) 教育研究上の基本組織に関すること
- (3) 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
- (4)入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
- (5)授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること
- (6) 学修 の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関すること
- (7) 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
- (8) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
- (9) 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
- (10) その他教育上の目的に応じた学生が修得すべき知識及び能力に関する情報等
- 2 前項の情報の公表は、本学の刊行物やホームページへの掲載等により行って、広く周知 を図る。
- 第2章 学部・学科・学生定員及び修業年限並びに大学院

(学部・学科・学生定員)

第2条 本学に次の学部を置く。

外国語学部

2 前項の学部に置く学科及び入学定員を次のように定める。

学部	学 科	入学定員		3年次編 入学定員	収容定員
外国語学	英米語学	400	10	40	1,710

部	科				
	アジア言	196	0	10	804
	語学科				
	イベロア	128	0	6	524
	メリカ言				
	語学科				
	国際コミ	197	15	15	863
	ュニケー ション学				
	ション学				
	科				
	計	921	25	71	3,901

- 3 各学科の教育研究目的を次のとおり定める。
- (1) 英米語学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の英語運用能力を身につけさせると共に言語としての英語及び英語圏の様々な事柄に対する知識を教授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的とする。
 - (2) アジア言語学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の専攻地域言語(中国語、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語)の運用能力を身につけさせると共に英語運用能力養成にも力を注ぎ、また、言語としての専攻地域言語及び同言語圏の様々な事柄に対する知識を教授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的とする。
 - (3) イベロアメリカ言語学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の専攻地域言語(スペイン語、ポルトガル語)の運用能力を身につけさせると共に英語運用能力養成にも力を注ぎ、また、言語としての専攻地域言語及び同言語圏の様々な事柄に対する知識を教授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的とする。
- (4) 国際コミュニケーション学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の 英語運用能力を身につけさせると共に I T関連の運用能力養成にも務め、豊かな教養 を有し真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材 の養成を目的とする。

(修業年限及び在学年限)

- 第3条 本学の修業年限は4年とする。
- 2 学生は8年をこえて在学することはできない。ただし1年次及び2年次の在学についてはそれぞれ2年をこえることができない。
- 3 第14条第1項より入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の 倍に相当する年数をこえて在学することはできない。 (大学院)

- 第3条の2 本学に大学院を置く。
- 2 大学院に関する規則は別に定める。
- 第3章 学年・学期及び休業日

(学年)

第4条 本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第5条 学年を、次の2学期に分ける。

前期

4月1日から9月15日まで

後期

- 9月16日から翌年3月31日まで
- 2 前項に定める各学期の授業期間は、学部の事情により、前半及び後半に分けることができる。

(休業日)

- 第6条 休業日は次のように定める。
- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 創立記念日(10月18日)
- (4) 春季

休業日

- (5) 夏季休業日
- (6) 冬季休業日
- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めたときは、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

(授業日数)

第7条 授業日数は、定期試験の日数を含め、年間35週、210日を原則とする。

第4章 入学・休学・退学及び転科

(入学時期)

第8条 本学の入学時期は、毎学年の初めとする。

(入学資格)

- 第9条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
- (1) 高等学校卒業者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文

部科学大臣が指定した者

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (7) その他本学において、相当の年令に達している者で高等学校を卒業した者と同等以上 の学力があると認められた者

(入学志願手続)

- 第10条 本学に入学を志願する者は、大学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。
- 2 入学手続の時期、方法及び書類等については別に定める。

(入学者の選考)

- 第11条 本学は、入学志願者に対し、選考の 上 、教授会の議を経て、学長が合格者を決 定する。
- 2 入学選考において合格に影響を与えるような重大な事情があった場合は、合格を取り 消すことがある。
- 3 入学者の選考方法については、別に定める。

(入学手続)

- 第12条 入学選考の結果、合格した者は、指定の期日までに入学金、授業料、その他の費用及び所定の書類を提出しなければならない。
- 2 入学手続の時期、方法及び種類については別に定める。

(入学許可)

第13条 入学手続を行い、誓約書及び身元保証書を指定の期日までに提出した者に対し、 学長は入学を許可する。

(編入学及び再入学)

- 第14条 本学に編入学及び再入学を希望する者が所定の手続により志願したときは、特別の選考を行い、教授会の議を経て学長がこれを許可する。ただし編入学及び再入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。
 - (1) 大学を卒業した者
- (2) 他の大学において2年以上の課程を修了した者
- (3) 短期大学を卒業した者
- (4) 専修学校(2年以上、1,700時間以上の専門課程)を卒業した者
- (5) 本学を退学し、再入学を希望する者
- 2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業料目及び単位数の取扱い並

びに在学すべき年数については教授会の議を経て、学長がこれを決定する。

3 編入学及び再入学に必要な事項は別に定める。

(転科)

- 第15条 学生が所属学部内の他の学科への転科を希望したときは教育に支障のない限り、 選考の 上 教授会の議を経て学長がこれを許可する。
- 2 転科に必要な事項は別に定める。

(休学)

- 第16条 病気、留学又は止むを得ない事由により引続き1学期以上修学困難な者は、学長 に休学を願い出ることができる。
- 2 休学の許可 は教授会の議を経て学長が行う。
- 3 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
- 4 休学 期間は 原則として1年以内とする。 ただし、特別の事由がある場合には、 2 年を限度として、休学期間の延長を許可し、又は命ずることができる。
- 4の2 前項の規定にかかわらず、真に必要な事由がある場合には、学長は、1年をこえる休学を許可することができる。この場合の休学期間は3年を限度とし、延長は認めないものとする。
- 5 休学期間は、通算して3年をこえることができない。
- 6 休学期間 は、第3条第2項の在学期間に 算入しないものとする。
- 7 休学に必要な事項は別に定める。

(復学)

- 第17条 休学期間が満了し、又は休学期間中に休学事由が消滅した者が復学しようとするときは、学長に復学を願い出なければならない。
- 2 復学の許可は、教授会の議を経て学長が行う。
- 3 復学に必要な事項は別に定める。

(退学)

- 第18条 退学しようとする者は、学長に退学を願い出て、許可を受けなければならない。
- 2 退学に必要な事項は別に定める。

(転学)

- 第19条 他の大学に転学しようとする者は、学長に転学を願い出で許可を受けなければ ならない。
- 2 転学に必要な事項は別に定める。

(留学)

- 第20条 外国の大学での学修を希望する者は、学長に留学許可を願い出なければならない。
- 2 留学の許可は、教授会の議を経て学長が行う。

- 3 前項により許可を得て留学した期間は第30条第1項に定める在学期間に含めることができる。
- 4 第28条の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。
- 5 留学に必要な事項は別に定める。

第5章 教育課程及び履修方法等

(授業科目の区分)

- 第21条 本学において開設する授業科目の区分は、次のとおりとする。
- 1. 外国語科目
- 2. 特別演習科目
- 3. 導入科目
- 4. 教養科目
- 5. 研究科目
- 6. 研究演習
- 7. 卒業研究
- 8. 自由選択科目

(教職科目)

- 第22条 前条に 掲げる 授業科目のほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号) に定める教員の免許状を得ようとする者のために、教科及び教職に関する専門科目を開 設する。
- 2 各学科において、授与資格を得させることができる教員免許状の種類及び免許教科に 関する規則は別に定める。

(単位の計算方法)

- 第23条 各授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内及び教室外を合わせて45時間とし、次の基準により計算するものとする。
 - (1)講義については、毎週1時間15週の授業をもって1単位とする。ただし、外国語科目の講義については、毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習及び実技については、毎週3時間15週の授業をもって1単位とする。 (授業科目及び単位数)
- 第24条 本学で開設する授業科目及び単位数は 別表第1のとおりとする。
- 2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用によ り行う。
- 3 前項の授業は、60単位を限度として、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 4 前項の規定により取得した単位については、教授会の議を経て、卒業の要件となる単位

として認めることができる。

(卒業の条件)

第25条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、第24条に定める授業科目について各学科所定の教育課程に従って所定の単位以上修得しなければならない。

(研究プログラム)

第25条の2 学生は、所定の研究コースから一つを選択し、当該研究コース指定の授業科目を一定単位以上修得しなければならない。

(履修の方法)

第26条 第24条に定める授業科目は、必修及び選択科目とし、履修方法について必要な 事項は別に定める。

(単位取得の認定)

- 第27条 授業科目の履修を修了した者には、認定の上単位を与える。
- 2 単位の認定は原則として定期試験による。
- 3 単位取得認定の方法について必要な事項は別に定める。

(他大学等における授業科目の履修等)

- 第28条 教育上有益と認めるときは、他の大学等との協議に基づき、他の大学、教育研究機関、企業等との協議に基づき学生に当該他大学等の授業科目を履修させることができる。
- 2 前項により取得した単位については、教授会の議を経て60単位を限度として、卒業の 要件となる単位として認めることができる。
- 3 他大学等における授業科目履修等について必要な事項は別に定める。

(成績の評価)

- 第29条 各授業科目の成績は、A+、A、B、C及びFの5種に分け、A+、A、B、C の成績を合格とする。
- 2 前項のほか、学生が他大学等で修得した授業科目、単位を認定する場合には、その成績 を「P」と表記し、合格とすることができる。

第6章 卒業及び学位の授与

(卒業の認定)

第30条 本学に4年(第14条の規定により入学した者については、同条第2項により定められた在学すべき年数)以上在学し、第25条に定める単位を修得した者に対し、教授会の議を経て、学長は卒業を認定する。

(学位の授与)

- 第31条 卒業を認定された者に対し、学士の学位を授与する。
- 2 学位には、専攻分野の名称を付記するものとする。
- 3 前項の専攻分野の名称は、次のとおりとする。

英語・地域文化

中国語・地域文化

韓国語・地域文化

インドネシア語・地域文化

ベトナム語・地域文化

タイ語・地域文化

スペイン語・地域文化

ポルトガル語・地域文化

国際コミュニケーション

第7章 学費

(入学検定料等)

- 第32条 入学検定料、入学金及び授業料その他の諸費用は、 別表第2のとおりとする。
- 2 入学金及び授業料その他の諸費用は、指定期間内に納入しなければならない。
- 3 編入学、再入学の者については別に定める。
- 4 学費の減免及び免除等の特例については別に定める。

(休学の場合の費用)

第33条 第16条の規定による休学期間中の者については、該当学期の学納金を免除し、 在籍料として1学期間に対して5万円を徴収する。

(退学・転学の場合の費用)

第34条 退学もしくは転学した者、除籍された者、または停学中の者も本章に定める費用 を全納しなければならない。

(納入金の不還付)

第35条 既に納入した費用については、理由の如何にかかわらず返却しないものとする。

第8章 職員組織

(教育職員)

第36条 本学に次の教育職員を置く。

教授、准教授、講師及び助教。

2 教育職員は、学生を教授し、その研究を指導し、研究に従事する。

(一般職員)

第37条 本学に次の一般職員を置く。

事務職員、技術 職員。

2 一般職員は、教務、学生事務、総務、経理、施設管理その他の業務 をつかさどる。 (行政職員)

第38条 本学に次の行政職員を置く。

学長、事務局長、学長室長、総務部長、教務部長、広報部長、学事部長、企画部長、大学改革室長、IR推進室長、教育ソリューション推進室長

- 2 学長は、本大学を代表し、校務をつかさどり学校法人佐野学園寄附行為施行細則に定められた職務を行う。
- 3 事務局長は、学長を補佐し、大学の事務を掌理し統轄する。
- 3の2 (削除)
- 4 第1項の行政職員は、事務局長を補佐し、当該部署の業務を統轄する。
- 5 (削除)
- 6 (削除)
- 6の2 (削除)
- 7 (削除)
- 8 (削除)
- 9 (削除)
- 10 その他の行政職員の職責については別に定める。
- 11 この他、学長を補佐するために必要な場合には副学長を置くことができる。
- 12 学長に事故のあるときは、理事長がその代理を定める。

第9章 教授会

(教授会)

- 第39条 本学に教授会を置き、専任の教授、准教授、講師をもって組織する。
- 2 教授会に関する事項は別に定める。
- 3 (削除)
- 第40条(欠番)
- 2 (削除)
- 第41条(欠番)

第10章 科目等履修生等

(科目等履修生)

- 第42条本学において、本学学生以外の者で一又は複数の授業科目を履修し、単位修得を希望する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。
- 2 科目等履修生について必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

- 第42条の2 本学において開講する授業科目のうち特定科目を選んで聴講を希望する者があるときは、本学の研究教育に支障のない限り、教授会の議を経て学長が許可する。
- 2 聴講生について必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

- 第42条の3 大学間相互単位互換協定に基づき、本学において開講する授業科目のうち、 特定科目の履修を希望する者(「特別聴講学生」という。)があるときは、本学の教育研究 に支障のない限り、教授会の議を経て学長が許可する。
- 2 特別聴講学生について必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

- 第43条 外国人留学生(第9条第3号及び第7号に該当する外国人で、大学教育を受けるために来日した者をいい、学校教育法第1条に規定する高等学校又は、日本においてこれに相当する学校を卒業した者を除く。)については、特別に選考をし、教授会の議を経て、学長がこれを許可する。
- 2 外国人留学生につき必要な事項は、別に定める。

(帰国子女の入学について)

- 第44条 帰国子女とは、外国の教育制度に基づく正規の学校教育を受けた後、我が国に帰 国する日本国籍を有する者をいう。
- 2 帰国子女の入学について特別に選考をし、教授会の議を経て学長がこれを許可する。
- 3 帰国子女 の入学に関する事項は、別に定める。

第10章の2 研究員等

(客員研究員)

- 第44条の2 本学は特定の研究を希望する学外の研究者を、客員研究員として受け入れることができる。
- 2 客員研究員について必要な事項は、別に定める。

第11章 賞罰等

(表彰)

第45条 学長は本学学生に対して表彰に価する行為のあったときは、教授会の議を経て 表彰することができる。

(懲戒)

- 第46条 本学の教育の趣旨にそむき、学生の本分に反する行為のある学生に対して、学長 は教授会の議を経て懲戒することができる。
- 2 懲戒は、譴責、 停学及び退学とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
- (1) 学則に反し、学内の秩序をみだし、その他学生の本分にもとると認められる行為を行う者。
- (2) 学業を怠り、成業の見込みのないと認められる者。
- 4 懲戒につき必要な事項は別に定める。

(除籍)

- 第47条 次の各号の一に該当する学生は学長が除籍する。
- (1) 所定の登録手続をせず、又休学、退学の手続をしない者。
- (2) 第3条第2項または第3項に定める在学年限をこえる者。
- (3) 第16条に定める休学期間をこえても、なお復学もしくは退学しない者。
- (4) 学費納入の義務を怠った者。

第12章 附属図書館

(附属図書館)

- 第48条 本学に附属図書館を置く。
- 2 附属図書館に関する規則は別に定める。

第13章 附属研究所等

(言語教育研究所)

- 第49条 本学に言語教育研究所を置く。
- 2 言語教育研究所に関する規則は別に定める。
- 第50条(欠番)

(日本研究所)

- 第51条 本学に日本研究所を置く。
- 2 日本研究所に関する規則は別に定める。
- 第52条(欠番)

(体育・スポーツセンター)

- 第53条 本学に体育・スポーツセンターを置く。
- 2 体育・スポーツセンターに関する規則は別に定める。

(English Language Institute)

- 第54条 本学に English Language Institute (ELIと称すを置く。)
- 2 English Language Institute に関する規則は、別に定める。

(メディア教育センター)

- 第55条 本学にメディア教育センターを置く。
- 2 メディア教育センターに関する規則は、別に定める。

(キャリア教育センター)

- 第56条 本学にキャリア教育センターを置く。
- 2 キャリア教育センターに関する規則は、別に定める。

(言語教育コンサルタントセンター)

- 第57条 言語教育研究所に言語教育コンサルタントセンターを置く。
- 2 言語教育コンサルタントセンターに関する規則は別に定める。

(多言語コミュニケーションセンター)

第57条の2 本学に多言語コミュニケーションセンター(MULCと称す)を置く。

2 多言語コミュニケーションセンターに関する規則は、別に定める。

(児童英語教育研究センター)

第57条の3 本学に児童英語教育研究センターを置く。

2 児童英語教育研究センターに関する規則は、別に定める。

(グローバル・コミュニケーション研究所)

第57条の4 本学にグローバル・コミュニケーション研究所を置く。

2 グローバル・コミュニケーション研究所に関する規則は、別に定める。

(アカデミックサクセスセンター)

第57条の5 本学にアカデミックサクセスセンターを置く。

2 アカデミックサクセスセンターに関する規則は、別に定める。

(ボランティアセンター)

第57条の6 本学にボランティアセンターを置く。

2 ボランティアセンターに関する規則は、別に定める。

(グローバル推進室)

第57条の7 本学にグローバル推進室を置く。

2 グローバル推進室に関する規則は、別に定める。

(グローバル日本語センター)

第57条の8 本学にグローバル日本語センターを置く。

2 グローバル日本語センターに関する規則は、別に定める。

(言語メディア教育研究センター)

第57条の9 本学に言語メディア教育研究センターを置く。

2 言語メディア教育研究センターに関する規則は別に定める。

(Self Access Learning Center)

第57条の10 本学に Self Access Learning Center (SALC と称す) を置く。

2 Self Access Learning Center に関する規則は、別に定める。

(自立学習教育研究所)

第57条の11 本学に自立学習教育研究所を置く。

2 自立学習教育研究所に関する規則は、別に定める。

(ミレニアムハウス)

第57条の12 本学にミレニアムハウスを置く。

2 ミレニアムハウスに関する規則は、別に定める。

第14章 留学生別科

(留学生別科)

第58条 本学に留学生別科を置く。

2 留学生別科に関する規則は別に定める。

第15章 生涯教育

(神田外語キャリアカレッジ)

第59条 本学に生涯教育機関として、神田外語キャリアカレッジを置く。

2 神田外語キャリアカレッジに関する規則は、別に定める。

第16章出版局

(出版局)

第60条 本学に出版局を置く。

2 出版局に関する規則は別に定める。

第17章学生寮

第61条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関する事項は別に定める。

附則 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附則 この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項の規定にかか わらず、平成3年度から平成6年度の間の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
外国語学部	英米語学科	250
	スペイン語学科	30
	韓国語学科	30

附則

1. この学則は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、第2条第2項及び平成3年4月施行の附則にかかわらず、平成4年度から平成1 1年度の間の入学定員は次のとおりとする。

		入 学	定 員			
学 部	学 科	平成4年度	平成7年度			
		~平成6年度	~平成 11 年度			
外国語学部	英米語学科	390	340			
7个国而于印	スペイン語学科	40	30			

2. 第31条の規定は、平成4年1月23日から適用する。

附則 この学則は、平成4年5月27日から施行し、平成4年4月20日から適用する。

附則 この学則は、平成5年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び平成4年4月1日施行の附則にかかわらず、英米語学科・スペイン語学科・韓国語学科の、平成7年度から平成11年度の間の入学定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
	英米語学科	390
外国語学部	スペイン語学科	40
	韓国語学科	30

附則 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成11年5月28日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附則 この学則は、平成11年12月10日から施行する。

附則 この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項の規定にかかわらず、英米語学科・スペイン語学科・韓国語学科の平成12年度から平成16年度の間の入学定員は次のとおりとする。

学 部	外 国 語 学 部			
学 科	入 学 定 員			
年 度	英米語学科	韓国語学科		
平成 12 年度	368	40	30	
平成 13 年度	346	40	30	
平成 14 年度	324	40	30	
平成 15 年度	302	40	30	
平成 16 年度	280	40	30	

上記入学定員の変更に伴い、平成12年度から平成16年度の間の学科及び学部の収容 定員は次のとおりとする。

学 部	外 国 語 学 部				
学科	収 容 定 員				
	英米語	スペイン語	韓国語	中国語	学 部
年 度	学 科	学 科	学 科	学 科	計
平成 12 年度	1,538	160	120	240	2,058
平成 13 年度	1,494	160	120	240	2,014
平成 14 年度	1,428	160	120	240	1,948

平成 15 年度	1,340	160	120	240	1,860
平成 16 年度	1,252	160	120	240	1,772

附則 この学則は平成13年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項の規定にかかわらず、英米語学科・スペイン語学科・韓国語学科の平成13年度から平成16年度の間の入学定員は次のとおりとする。

学 部	外 国 語 学 部				
学科	入 学 定 員				
年 度	英米語学科 スペイン語学科 韓国語				
平成 13 年度	346	40	30		
平成 14 年度	324	40	30		
平成 15 年度	302	40	30		
平成 16 年度	280	40	30		

上記の入学定員より、平成13年度から平成16年度の間の各学科及び学部全体の収容 定員は次のとおりとする。

学 部	外 国 語 学 部						
学科		収容定員					
	英米語	中国語	スペイン	韓国語	国際コミュ	国際言	
	学科	学科	語学科	学 科	ニケーション	語文化	学部計
年 度		子件	苗子件	子们	学科	学科	
平成 13 年度	1,534	240	160	120	100	80	2,234
平成 14 年度	1,508	240	160	120	200	160	2,388
平成 15 年度	1,420	240	160	120	315	245	2,500
平成 16 年度	1,332	240	160	120	430	330	2,612

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成13年5月29日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

附則 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成14年3月27日から施行し、平成13年10月1日から適用する。

附則 この学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項の規定にかか

わらず、英米語学科の平成14年度及び平成15年度の入学定員は次のとおりとする。

学部	外国語学部
学科	入学定員
年度	英米語学科

平成 14 年度	319
平成 15 年度	297

上記の入学定員より、平成14年度から平成20年度の間の各学科及び学部全体の収容 定員は次のとおりとする。

7,000									
学 部		外 国 語 学 部							
学科			収	容 定	員				
	# 17.≆±	山口部	スペイン	抽回部	国際バュ	国際言			
	英米語	中国語		韓国語	ニケーション	語文化	学部計		
年 度	学 科	学 科	語学科	学 科	学科	学科			
平成 14 年度	1,503	240	170	115	200	160	2,388		
平成 15 年度	1,410	240	180	110	315	245	2,500		
平成 16 年度	1,317	240	190	105	430	330	2,612		
平成 17 年度	1,246	240	200	100	430	330	2,546		
平成 18 年度	1,202	240	200	100	430	330	2,502		
平成 19 年度	1,180	240	200	100	430	330	2,480		
平成 20 年度	1,180	240	200	100	430	330	2,480		

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成16年4月1日から施行する。第2条第2項の規定により、平成16年度から平成20年度の間の各学科及び学部全体の収容定員は次のとおりとする。

	1								
学 部	外 国 語 学 部								
学 科		収 容 定 員							
	英米語	中国語	スペイン	抽口部	国際バュ	国際言			
	学科			韓国語 学 科	ニケーション	語文化	学部計		
年 度	子科	学 科	語学科	子科	学科	学科			
平成 16 年度	1,326	231	190	105	430	330	2,612		
平成 17 年度	1,264	222	200	100	430	330	2,546		
平成 18 年度	1,229	213	200	100	430	330	2,502		
平成 19 年度	1,216	204	200	100	430	330	2,480		
平成 20 年度	1,216	204	200	100	430	330	2,480		

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成17年4月1日から施行する。第2条第2項の規定により、平成17年度から平成20年度の間の各学科及び学部全体の収容定員は次のとおりとする。

|--|

学科		収容定員							
	英米語	中国語	スペイン	韓国語	国際コミュ	国際言			
	学科	学 科	語学科	学 科	ニケーション	語文化	学部計		
年 度		子作	莳子 作	子们	学科	学科			
平成 17 年度	1,380	222	200	100	430	330	2,662		
平成 18 年度	1,461	213	200	100	430	330	2,734		
平成 19 年度	1,564	204	200	100	430	330	2,828		
平成 20 年度	1,680	204	200	100	430	330	2,944		

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成18年4月1日から施行する。第2条第2項の規定により、平成18年度から平成21年度の間の各学科及び学部全体の収容定員は次のとおりとする。

学 部		外 国 語 学 部							
学科		収 容 定 員							
	英米語	中国語	スペイン	韓国語	国際コミュ	国際言			
	学科	学科	語学科	学科	ニケーション	語文化	学部計		
年 度	子 行	子 行	四子行	子 行	学科	学科			
平成 18 年度	1,461	213	200	100	490	320	2,784		
平成 19 年度	1,564	204	200	100	550	310	2,928		
平成 20 年度	1,680	204	200	100	610	300	3,094		
平成 21 年度	1,680	204	200	100	670	290	3,144		

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成20年4月1日から施行する。第2条第2項の規定により、平成2 0年度から平成23年度の間の各学科及び学部全体の収容定員は次のとおりとする。

学 部	外 国 語 学 部							
学 科		収 容 定 員						
	本小型	4日報	フ ペイン/	語回話	国際バュ	国際言		
	英米語 学 科	中国語	スペイン	韓国語 学 科	ニケーション	語文化	学部計	
年 度	子件	子件	学 科 語学科	子什	学科	学科		
平成 20 年度	1,690	204	200	100	625	295	3,114	
平成 21 年度	1,700	204	200	100	700	280	3,184	
平成 22 年度	1,710	204	200	100	715	280	3,209	
平成 23 年度	1,710	204	200	100	715	280	3,209	

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成20年5月28日から施行し、平成20年4月1日から適用する。 附則 この学則は、平成20年9月25日から施行し、平成20年4月1日から適用する。 附則 この学則は、平成21年4月1日から施行する。第2条第2項の規定により、平成2 1年度から平成24年度の間の各学科及び学部全体の収容定員は次のとおりとする。

学 部		外 国 語 学 部								
学科		収 容 定 員								
	英米語	中国語	スペイン	韓国語	国際バュ	国際言				
	学科	学科	,	学 科	ニケーション	語文化	学部計			
年 度		子作	科 語学科		学科	学科				
平成 21 年度	1,730	204	200	100	730	290	3,254			
平成 22 年度	1,770	204	200	100	775	300	3,349			
平成 23 年度	1,800	204	200	100	805	310	3,419			
平成 24 年度	1,830	204	200	100	835	320	3,489			

収容定員には期間を付した定員及び編入学定員を含む。

附則 この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成23年9月29日から施行する。

附則

(施行期日)

第1条 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 第2条 この学則による改正前の学則に定める中国語学科、スペイン語学科、韓国語学科及 び国際言語文化学科は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、当該学科に在学 する者が在学しなくなるまでの間存続するものとする。
- 2前項の規定に基づいて存続する各学科の平成24年度及び平成25年度の編入学定員は、 次のとおりとする。

学部	学 科	3年次 編入学定員
	中国語学科	2
A 豆盆 学如	スペイン語学科	2
外国語学部	韓国語学科	2
	国際言語文化学科	0

- 3 第1項の規定に基づいて存続する各学科の教育研究目的は次のとおりとする。
- (1)中国語学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の中国語運用能力を 身につけさせると共に言語としての中国語及び中国語圏の様々な事柄に対する知識を教

授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的 とする。

- (2) スペイン語学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度のスペイン語運用能力を身につけさせると共に言語としてのスペイン語及びスペイン語圏の様々な事柄に対する知識を教授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的とする。
- (3) 韓国語学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度の韓国語運用能力を 身につけさせると共に言語としての韓国語及び韓国語圏の様々な事柄に対する知識を教 授することにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的 とする。
- (4) 国際言語文化学科は、多文化共生が求められる社会情勢のなかで、専攻地域言語(インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ブラジル・ポルトガル語)の運用能力及びそれぞれの言語 圏 に対する様々な知識 を教授すると共にもう一つの専攻語として英語運用能力養成にも力を注ぎ、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成を目的とする。
- 4 第1項の規定に基づいて存続する各学科で開設する授業科目及び単位数は、なお従前の例による。
- 5 第1項の規定に基づいて存続する各学科所定の教育課程を修了し、卒業を認定された 者に対して授与する学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

中国語・地域文化

スペイン語・地域文化

韓国語・地域文化

国際言語文化(インドネシア語・英語、ベトナム語・英語、タイ語・英語、ブラジル・ ポルトガル語・英語)

附則 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成27年4月1日他から施行する。(平成26年3月27日決議)

附則 この学則は、平成27年4月1日から施行する。(平成27年3月26日決議)

附則 この学則は、平成 27 年 5 月 26 日から施行し、平成 27年4月1 日から適用する。(平成27年5月26日決議)

附則 この学則は、平成27年6月1日から施行する。(平成27年5月26日決議)

附則 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項の規定にかかわらず、平成29年度から平成32年度の間の収容定員は次のとおりとする。

学 部	外 国 語 学 部						
学科			収容定員				
年 度	英米語学 科	アジア言語学科	イベロアメリ カ言語学科	国際コミュニケーション学科	学部計		
平成 29 年度	1,710	554	432	863	3,559		
平成 30 年度	1,710	596	460	863	3,629		
平成 31 年度	1,710	644	492	863	3,709		
平成 32 年度	1,710	692	524	863	3,789		

附則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 附則中、中国語学科、スペイン語学科、韓国語学科及び国際言語文化学科に在学する者が在学しなくなるまでの間の経過措置は、これらの学科に在学する者が在学しなくなったことから、廃止する。

附則 この学則は、平成29年6月1日から施行する。

附則 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附則 この学則は、平成30年5月25日から施行し、同年4月1日から適用する。

附則 この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附則 この学則は、令和元年12月4日から施行する。

附則

(施行期日)

第1条 この学則は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

第2条 この学則の改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和3年度から令和6年度の間の収容定員は次のとおりとする。

学部	外国語学部						
学科	英米語	アジア	イベロア	国際コ	学部計		
	学科	言語 学	メリカ言	ミュニ			
		科	語学科	ケーシ			
				ョン学			
年度				科			
令和3年度	1,710	720	524	863	3,817		
令和4年度	1,710	748	524	863	3,845		
令和5年度	1,710	776	524	863	3,873		

令和6年度	1,710	804	524	863	3,901	
-------	-------	-----	-----	-----	-------	--

別表第1 授業科目及び単位数(第24条関係)

外国語学部

別表1 (第24条関連)

		科目名	単	位	数	
			村 日 石	必修	選択必修	選択
外	英	英米語学科		•		
国	語		英語総合講座 I			
語	科		Freshman English (a)	4		
科	目		Freshman English (b)	4		
目			Foundational Literacies:	0		
			Reading & Writing (a)	2		
			Foundational Literacies:	0		
			Reading & Writing (b)	2		
			English for	0		
			Academic Purposes (a)	2		
			English for	0		
			Academic Purposes (b)	2		
			英語総合講座 Ⅱ			
			Media English (a)(英米)	2		
			Media English (b)(英米)	2		
			Academic Literacies:	2		
			Reading (a)	2		
			Academic Literacies:	2		
			Reading (b)	۷		
			Academic Literacies:	2		
			Writing (a)	2		
			Academic Literacies:	2		
			Writing (b)	۷		
			英語専門講読	4		
			英語総合講座 Ⅲ	20		
			TOEFL ITP480 演習		1	
			TOEFL ITP520 演習		1	

TOEFL iBT68 演習		TOEFL ITP550 演習		1	
Listening/Reading		TOEFL iBT68 演習		1	
Speaking/Writing		Listening/Reading		1	
Speaking/Writing		TOEFL iBT68 演習		1	
Listening/Reading		Speaking/Writing		1	
Listening/Reading TOEFL iBT80 演習 Speaking/Writing 1 1		TOEFL iBT80 演習		1	
Speaking/Writing		Listening/Reading		1	
Page Page		TOEFL iBT80 演習		1	
時事英語 II		Speaking/Writing		1	
ビジネス英語 I ビジネス英語 I ビジネス英語 I Effective Language Learning Course 1 Effective Language Learning Course 2 Effective Learning Module 1 Effective Learning Module 2 Tジア言語学科 (中国語専攻) (韓国語専攻) Freshman English (a) (CSK)		時事英語 I		2	
世ジネス英語 II 2 Effective Language Learning Course 1 1 Effective Language Learning Course 2 1 Effective Learning Module 1 1 Effective Learning Module 2 1 アジア言語学科 (中国語専攻) Freshman English (a) (CSK) 2 Freshman English (b) (CSK) 2 総合英語 I (a) 1 総合英語 I (b) 1 Sophomore English (a) (CSK) 2 Sophomore English (b) (CSK) 2 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 時事英語 I 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 I 2		時事英語 Ⅱ		2	
Effective Language Learning Course 1 Effective Language Learning Course 2 Effective Learning Module 1 Effective Learning Module 2 アジア言語学科 (中国語専攻) 「韓国語専攻」 「中国語・「中国語・「中国語・「中国語・「中国語・「中国語・「中国語・「中国語・		ビジネス英語 I		2	
Effective Language Learning Course 2 1 1		ビジネス英語 II		2	
Effective Learning Module 1 Effective Learning Module 2 アジア言語学科 (中国語専攻) Freshman English (a) (CSK) 2 総合英語 I (a) 1 総合英語 I (b) 1 Sophomore English (a) (CSK) 2 Sophomore English (b) (CSK) 2 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 時事英語 I 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 I 2		Effective Language Learning Course 1		1	
Effective Learning Module 2 1 アジア言語学科		Effective Language Learning Course 2		1	
アジア言語学科 Freshman English (a) (CSK) 2 (韓国語専攻) Freshman English (b) (CSK) 2 総合英語 I (a) 1 総合英語 I (b) 1 Sophomore English (a) (CSK) 2 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2		Effective Learning Module 1		1	
(中国語専攻) Freshman English (a) (CSK) 2		Effective Learning Module 2		1	
(韓国語専攻) Freshman English (b) (CSK) 2 総合英語 I (a) 1 総合英語 I (b) 1 Sophomore English (a) (CSK) 2 Sophomore English (b) (CSK) 2 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 時事英語 II 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 I 2 Iビジネス英語 II 2 2 2 ビジネス英語 II 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	アジア言語学科	斗			
総合英語 I (a) 1	(中国語専攻)	Freshman English (a) (CSK)	2		
総合英語 I (b) 1 Sophomore English (a) (CSK) 2 Sophomore English (b) (CSK) 2 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2	(韓国語専攻)	Freshman English (b) (CSK)	2		
Sophomore English (a) (CSK) 2 Sophomore English (b) (CSK) 2 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2		総合英語 I (a)	1		
Sophomore English (b) (CSK) 2 総合英語 II (a) 1 総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 時事英語 II 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2		総合英語 I (b)	1		
総合英語 II (a) 1		Sophomore English (a) (CSK)	2		
総合英語 II (b) 1 English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 時事英語 II 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 I 2		Sophomore English (b) (CSK)	2		
English for Multicultural Communication 8 時事英語 I 2 時事英語 II 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 I 2		総合英語Ⅱ(a)	1		
時事英語 I 2 時事英語 II 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2		総合英語 II(b)	1		
時事英語 II 2 ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2		English for Multicultural Communication	8		
ビジネス英語 I 2 ビジネス英語 II 2		時事英語 I		2	
ビジネス英語 II 2		時事英語 Ⅱ		2	
		ビジネス英語 I		2	
Effective Language Learning Course 1 1		ビジネス英語 Ⅱ		2	
		Effective Language Learning Course 1		1	
Effective Language Learning Course 2 1		Effective Language Learning Course 2		1	
Effective Learning Module 1 1		Effective Learning Module 1		1	
Effective Learning Module 2		Effective Learning Module 2		1	

		TOEIC 基礎		1		
		TOEIC600 演習		1		
		TOEIC650 演習		1		
		TOEIC730 演習		2		
		TOEIC860 演習		2		
		検定試験(英語)		2~6		
	ンドネシア 専攻)	Freshman English I (ML)	2			
(べ 攻)	トナム語専	Freshman English II (ML)	2			
(タ	イ語専攻)	アカデミック英語 I	2			
		アカデミック英語Ⅱ	2			
		Sophomore English I (ML)	2			
		Sophomore English II (ML)	2			
		Media English I (ML)	2			
		Media English II (ML)	2			
		English for Multicultural Communication	8			
		時事英語 I		2		
		時事英語 Ⅱ		2		
		ビジネス英語 I		2		
		ビジネス英語 Ⅱ		2		
		Language Lab(ML)		1		
		Oral Communication		1		
		Effective Language Learning Course 1		1		
		Effective Language Learning Course 2		1		
		Effective Learning Module 1		1		
		Effective Learning Module 2		1		
		TOEIC 基礎		1		
		TOEIC600 演習		1		
		TOEIC650 演習		1		
		TOEIC730 演習		2		
		TOEIC860 演習		2		
イ	イベロアメリカ言語学科					
(ス 攻)	ペイン語専	Freshman English (a) (CSK)	2			
攻))					

	Freshman English (b) (CSK)	2		
	総合英語 I (a)	1		
	総合英語 I (b)	1		
	Sophomore English (a) (CSK)	2		
	Sophomore English (b) (CSK)	2		
	総合英語 II (a)	1		
	総合英語Ⅱ(b)	1		
	English for Multicultural Communication	8		
	時事英語 I		2	
	時事英語 Ⅱ		2	
	ビジネス英語 Ι		2	
	ビジネス英語 Ⅱ		2	
	Effective Language Learning Course 1		1	
	Effective Language Learning Course 2		1	
	Effective Learning Module 1		1	
	Effective Learning Module 2		1	
	TOEIC 基礎		1	
	TOEIC600 演習		1	
	TOEIC650 演習		1	
	TOEIC730 演習		2	
	TOEIC860 演習		2	
	検定試験(英語)		2~6	
(ブラジル・ポル	Freshman English I (ML)	2		
トガル語専攻)	Freshman English II (ML)	2		
	アカデミック英語 I	2		
	アカデミック英語Ⅱ	2		
	Sophomore English I (ML)	2		
	Sophomore English II (ML)	2		
	Media English I (ML)	2		
	Media English II (ML)	2		
	English for Multicultural Communication	8		
	時事英語 I		2	
	時事英語 Ⅱ		2	
	ビジネス英語 I		2	
	ビジネス英語 Ⅱ		2	

	Language Lab (ML)		1	
	Oral Communication		1	
	Effective Language Learning Course 1		1	
	Effective Language Learning Course 2		1	
	Effective Learning Module 1		1	
	Effective Learning Module 2		1	
	TOEIC 基礎		1	
	TOEIC600 演習		1	
	TOEIC650 演習		1	
	TOEIC730 演習		2	
	TOEIC860 演習		2	
国際コ	ミュニケーション学科	·	•	
(国際=	ミュニケ English for International Communication	4		
ーション	v專攻) I (a)	4		
	English for International Communication	4		
	I (b)	4		
	Reading/Writing I	4		
	Reading/Writing II	4		
	English for International Communication	2		
	II (a)	2		
	English for International Communication	0		
	П (b)	2		
	Media English I	2		
	Media English II	2		
	Advanced Reading I	2		
	Advanced Reading II	2		
	English for International Communication	12		
	ш	12		
	時事英語 I		2	
	時事英語 Ⅱ		2	
	ビジネス英語 I		2	
	ビジネス英語 Ⅱ		2	
	TOEIC 基礎		1	
	TOEIC600 演習		1	
	TOEIC650 演習		1	

	TOEIC860 演習		2	
	TOEFL iBT68 演習		1	
	Listening/Reading		1	
	TOEFL iBT68 演習		1	
	Speaking/Writing		1	
	TOEFL iBT80 演習		1	
	Listening/Reading		1	
	TOEFL iBT80 演習		1	
	Speaking/Writing		1	
	Effective Language Learning Course 1		1	
	Effective Language Learning Course 2		1	
	Effective Learning Module 1		1	
	Effective Learning Module 2		1	
(国際ビジネス	English for International Communication	4		
キャリア専攻)	I (a)	4		
	English for International Communication	4		
	I (b)	4		
	Reading/Writing I	4		
	Reading/Writing II	4		
	English for International Communication	0		
	II (a)	2		
	English for International Communication	0		
	II (b)	2		
	Media English I	2		
	Media English II	2		
	Advanced Reading I	2		
	Advanced Reading II	2		
	English for International Communication			
	III (IBC)	4		
	ビジネス英語 I		2	
	ビジネス英語 Ⅱ		2	
	English for International Communication		4	
	ш		4	
	時事英語 I		2	
	時事英語 Ⅱ		2	

	•			1	
		TOEIC 基礎		1	
		TOEIC600 演習		1	
		TOEIC650 演習		1	
		TOEIC860 演習		2	
		TOEFL iBT68 演習		1	
		Listening/Reading		1	
		TOEFL iBT68 演習		1	
		Speaking/Writing		1	
		TOEFL iBT80 演習		1	
		Listening/Reading		1	
		TOEFL iBT80 演習		1	
		Speaking/Writing		1	
		Effective Language Learning Course 1		1	
		Effective Language Learning Course 2		1	
		Effective Learning Module 1		1	
		Effective Learning Module 2		1	
	留(留学生のみ対	- 1.37 Mb Pul Ma 200			
	学 象)	日本語特別演習	2		
	生	日本語チュートリアル Ι		1	
	履	日本語チュートリアル II		1	
	修	日本語総合講座 I ~V		各 2	
	可	日本語表現演習		2	
	能	ビジネス日本語 Ⅰ・Ⅱ		各 2	
	科	Guided Independent Study I	1		
	目	Guided Independent Study II	1		
		Intermediate English I	2		
		Intermediate English II	2		
		Academic Writing I	2		
		Academic Writing II	2		
		Basic English I		4	
		Basic English II		4	
		Guided Independent Study III		1	
		Guided Independent Study IV		1	
		Oral Communication I (EIS)		2	
		Oral Communication II (EIS)		2	
1 1	I			1	1

	Communicative Grammar I (EIS)		2	
	Communicative Grammar II (EIS)		2	
(留学生履修可	English for International Communication	4		
能)	I (a)	4		
	English for International Communication	4		
	I (b)	4		
	Reading/Writing I	4		
	Reading/Writing II	4		
	English for International Communication			0
	II (a)			2
	English for International Communication			0
	II (b)			2
	Media English I			2
	Media English II			2
	Advanced Reading I			2
	Advanced Reading II			2
	English for International Communication			4
	Ш			4
	時事英語 I			2
	時事英語 Ⅱ			2
	ビジネス英語 I			2
	ビジネス英語 Ⅱ			2
	Effective Language Learning Course 1			1
	Effective Language Learning Course 2			1
	Effective Learning Module 1			1
	Effective Learning Module 2			1
	TOEFL ITP480 演習			1
	TOEFL ITP520 演習			1
	TOEFL ITP550 演習			1
	TOEFL iBT68 演習			1
	Listening/Reading			1
	TOEFL iBT68 演習			1
	Speaking/Writing			1
	TOEFL iBT80 演習			1
	Listening/Reading			1

		TOEFL iBT80 演習			_
		Speaking/Writing			1
		TOEIC 基礎			1
		TOEIC600 演習			1
		TOEIC650 演習			1
		TOEIC730 演習			2
		TOEIC860 演習			2
		検定試験(英語)			2~4
地	アジア言語学科	<u>.</u> ት	1	•	
域	(中国語専攻)	中国語総合 I (a)	3		
言		中国語総合 I (b)	3		
語		中国語作文 I (a)	1		
科		中国語作文 I (b)	1		
目		中国語会話 I (a)	2		
		中国語会話 I (b)	2		
		中国語総合 II-1 (a)	2		
		中国語総合 II-1(b)	2		
		中国語総合 II-2(a)	1		
		中国語総合 II-2(b)	1		
		中国語作文 II (a)	1		
		中国語作文 II (b)	1		
		中国語会話 II (a)	1		
		中国語会話 II (b)	1		
		LL 中国語 (a)	1		
		LL 中国語 (b)	1		
		中国文学講読 I (a)		2	
		中国文学講読 I (b)		2	
		中国文学講読 II (a)		2	
		中国文学講読 II (b)		2	
		時事中国語 I (a)		2	
		時事中国語 I (b)		2	
		時事中国語 II (a)		2	
		時事中国語 Ⅱ (b)		2	
		中国語翻訳法 I (a)		2	
		中国語翻訳法 I (b)		2	

	中国語翻訳法 II (a)		2
	中国語翻訳法 II (b)		2
	中国語討論・スピーチ I (a)		2
	中国語討論・スピーチ I (b)		2
	中国語討論・スピーチ Ⅱ (a)		2
	中国語討論・スピーチ Ⅱ (b)		2
	中国語表現法 I (a)		2
	中国語表現法 I (b)		2
	中国語表現法 Ⅱ (a)		2
	中国語表現法 Ⅱ (b)		2
(韓国語専攻)	韓国語基礎 I	6	
	韓国語基礎 Ⅱ	6	
	韓国語基礎 Ⅲ	6	
	韓国語基礎 IV	6	
	韓国語口頭表現 I		2
	韓国語口頭表現 Ⅱ		2
	韓国語通訳法 I		2
	韓国語通訳法Ⅱ		2
	韓国語翻訳法 I		2
	韓国語翻訳法Ⅱ		2
	時事韓国語 I		2
	時事韓国語 Ⅱ		2
	韓国語講読 I		2
	韓国語講読 Ⅱ		2
	韓国語対話文 I		2
	韓国語対話文 Ⅱ		2
	韓国語上級会話 I		2
	韓国語上級会話Ⅱ		2
(インドネシア 語専攻)	インドネシア語基礎 I	5	
	インドネシア語基礎 Ⅱ	5	
	インドネシア語基礎 Ⅲ	5	
	インドネシア語基礎 IV	5	
	インドネシア語総合	8	
	インドネシア語応用 I	2	

	インドネシア語応用 Ⅱ	2		
(ベトナム語専 攻)	ベトナム語基礎 Ι	5		
	ベトナム語基礎 Ⅱ	5		
	ベトナム語基礎 Ⅲ	5		
	ベトナム語基礎 IV	5		
	ベトナム語総合	8		
	ベトナム語応用 I	2		
	ベトナム語応用Ⅱ	2		
(タイ語専攻)	タイ語基礎 Ι	5		
	タイ語基礎 Ⅱ	5		
	タイ語基礎 Ⅲ	5		
	タイ語基礎 IV	5		
	タイ語総合	8		
	タイ語応用 I	2		
	タイ語応用 Ⅱ	2		
イベロアメリカ	言語学科			
(スペイン語専 攻)	スペイン語基礎 I (a)	6		
	スペイン語基礎 I (b)	6		
	スペイン語基礎 II (a)	6		
	スペイン語基礎 II (b)	6		
	スペイン語研究 Ι		4	
	スペイン語研究 Ⅱ		4	
	スペイン語研究 Ⅲ		4	
	スペイン語研究 IV		4	
	スペイン語研究 V		4	
	ポルトガル語特講 I			
	ポルトガル語特講Ⅱ			
	ポルトガル語特講Ⅲ			
	ポルトガル語特講IV			,
	ポルトガル語基礎会話 I	2		
(ブラジル・ポル	ポルトガル語基礎会話 Ⅱ	2		
トガル語専攻)	ポルトガル語基礎会話 Ⅲ	2		
i	ポルトガル語基礎会話 IV	2		1

	ポルトガル語基礎文法 I	2		
	ポルトガル語基礎文法Ⅱ	2		
	ポルトガル語基礎文法Ⅲ	1		
	ポルトガル語基礎文法IV	1		
	ポルトガル語基礎講読 I	1		
	ポルトガル語基礎講読Ⅱ	1		
	ポルトガル語基礎講読Ⅲ	1		
	ポルトガル語基礎講読IV	1		
	ポルトガル語応用 I	2		
	ポルトガル語応用Ⅱ	2		
	ポルトガル語総合		2	
	スペイン語特講 I		2	
	スペイン語特講Ⅱ		2	
	スペイン語特講Ⅲ		2	
	スペイン語特講IV		2	
選	中国語 I (a)		2	
択	中国語 I (b)		2	
外	中国語 II (a)			1~2
国	中国語 II (b)			1~2
語	中国語 Ⅲ (a)			1~4
科	中国語 Ⅲ (b)			1~4
目	韓国語 I (a)		2	
	韓国語 I (b)		2	
	韓国語 II (a)			1~2
	韓国語 II (b)			1~2
	韓国語 Ⅲ (a)			1~4
	韓国語 Ⅲ (b)			1~4
	インドネシア語 I (a)		2	
	インドネシア語 I (b)		2	
	インドネシア語 II (a)			1~2
	インドネシア語 II (b)			1~2
	ベトナム語 I (a)		2	
	ベトナム語 I (b)		2	
	ベトナム語 Ⅱ (a)			1~2
	ベトナム語 Ⅱ (b)			1~2

タイ語	I (a)	2	
タイ語	I (b)	2	
タイ語	Π (a)		1~2
タイ語	[[(b)		1~2
スペイン	語 I (a)	2	
スペイン	語 I (b)	2	
スペイン	語 II (a)		1~2
スペイン	語 II (b)		1~2
スペイン	語 III (a)		1~4
スペイン	語 Ⅲ (b)		1~4
ポルトカ	ル語 I (a)	2	
ポルトカ	ル語 I (b)	2	
ポルトカ	ル語 II (a)		1~2
ポルトカ	ル語 II (b)		1~2
アラビア	語 I (a)	2	
アラビア	語 I (b)	2	
アラビア	語 II (a)		1~2
アラビア	語 II (b)		1~2
イタリア	語 I (a)	2	
イタリア	語 I (b)	2	
イタリア	語 II (a)		1~2
イタリア	語 II (b)		1~2
イタリア	語 Ⅲ (a)		1~4
イタリア	語 Ⅲ (b)		1~4
ドイツ語	I (a)	2	
ドイツ語	I (b)	2	
ドイツ語	II (a)		1~2
ドイツ語	II (b)		1~2
ドイツ語	III (a)		1~4
ドイツ語	Ⅲ (b)		1~4
フランス	語 I (a)	2	
フランス	語 I (b)	2	
フランス	語 II (a)		1~2
フランス	語 II (b)		1~2
フランス	語 Ⅲ (a)		1~4

			フランス語 Ⅲ (b)			1~4
			ロシア語 I (a)		2	
			ロシア語 I (b)		2	
			ロシア語 II (a)			1~2
			ロシア語 II (b)			1~2
特	国際	ミコニューケー	ション学科	-	•	1
別			国際コミュニケーション入門	2		
演	(国際	祭コミュニケ	情報リテラシー演習 I	2		
習	ーシ	ョン専攻)	情報リテラシー演習 Ⅱ	2		
科			TOEIC 演習(IC)	2		
目	(国)	際ビジネス	情報リテラシー演習 I	2		
·	キャ	リア専攻)	情報リテラシー演習 Ⅱ	2		
·			ビジネスリサーチ演習 I	2		
·			ビジネスリサーチ演習 Ⅱ	2		
·			キャリア研究基礎	2		
			企業インターンシップ I	2		
			企業インターンシップ Ⅱ	2		
·			TOEIC 演習(IC)	2		
	留学	生対象	国際コミュニケーション入門	2		
·			情報リテラシー演習 I	2		
ŀ			情報リテラシー演習 Ⅱ	2		
導			基礎演習	2		
入			発展基礎演習			2
科			情報基礎 I			1
目			情報基礎 Ⅱ			1
			日本語表現力基礎			1
·			本を読む			1
教			体育・スポーツ			1
養			体育・スポーツⅡ			1
科			歴史学 I			2
目			歴史学 Ⅱ			2
			哲学 I			2
			哲学 Ⅱ			2
}			倫理学 I			2
}			倫理学 II			2
1				1	ı	I.

		宗教学 I		2
		宗教学 Ⅱ		2
		文学 I		2
		文学 Ⅱ		2
		美術史学 I		2
		美術史学 Ⅱ		2
		言語学 I		2
		言語学 Ⅱ		2
		社会学 I		2
		社会学 Ⅱ		2
		法学 I		2
		法学 Ⅱ		2
		政治学 I	 	2
		政治学 Ⅱ		2
		経済学 I		2
		経済学 Ⅱ		2
		心理学 I		2
		心理学 Ⅱ		2
		教育学		2
		経営学 I		2
		経営学 II		2
		統計学 I		2
		統計学 Ⅱ		2
		生物学 I		2
		生物学 Ⅱ		2
		化学 I		2
		化学 II		2
		物理学 I		2
		物理学 Ⅱ	 	2
		自然科学概論 I		2
		自然科学概論 Ⅱ		2
	研究科目			
研共	(総合文化研究	英文学史 I		2
究 通	分野)	英文学史Ⅱ		2
科 開		米文学史 I		2
1	•			

目 設		米文学史Ⅱ			2
; 		Survey of American Literature			2
		英文学講義 I			2
		英文学講義Ⅱ			2
		米文学講義 I			2
		米文学講義Ⅱ			2
		Themes in American Literature			2
	(地域·国際研	英国研究入門 I			2
	究分野)	英国研究入門Ⅱ			2
		米国研究入門 I			2
		米国研究入門Ⅱ			2
		オセアニア研究入門 I			2
		オセアニア研究入門Ⅱ			2
		カナダ研究入門 I			2
		カナダ研究入門Ⅱ			2
研	英米語学科				
究	(言語研究分	英語学概論	4		
科	野)	英語音声学		4	
目		Outline of English Phonetics		4	
		英語音韻論		4	
		英語統語論 I		4	
		英語統語論Ⅱ			4
		英語意味論			4
		現代英文法		4	
		英語習得法		4	
		Ways of Learning English		4	
		第二言語習得研究		4	
		Issues in Second Language Acquisition		4	
		英語談話分析		4	
		Introduction to Discourse Analysis		4	
		英語史			4
		古期中期英語			4
		教育英文法基礎			2
		外国語評価法			2
		TESOL(英語教授法)海外研修		4	

英語語法研究		4
Introduction to English Sentence	2	
Structures	2	
英語構文研究		4
Introduction to Language and	2	
Communication	2	
Issues in Applied Linguistics	4	
Topics in Sociolinguistics	4	
日英語対照研究		4
認知発達と英語教育		4
児童英語教育論		4
児童英語指導法		4
児童英語教育カリキュラムデザイン		4
児童英語教育実習(船橋)		2
児童英語教育実習(沖縄)		2
児童英語海外実習		2
中国語学概論 I		2
中国語学概論Ⅱ		2
中国語文法論 I		2
中国語文法論Ⅱ		2
中国語語彙論 I		2
中国語語彙論Ⅱ		2
中国語音韻論 I		2
中国語音韻論Ⅱ		2
中国語音声学 I		2
中国語音声学Ⅱ		2
中国語史 I		2
中国語史Ⅱ		2
日中比較言語 I		2
日中比較言語Ⅱ		2
広東語 I		2
広東語Ⅱ		2
福建語 I		2
福建語Ⅱ		2
韓国語学概論 I		2

	韓国語学概論Ⅱ		2
	韓国語文法論 I		2
	韓国語文法論Ⅱ		2
	日韓対照言語研究 I		2
	日韓対照言語研究Ⅱ		2
	韓国語学特講 I		2
	韓国語学特講Ⅱ		2
	韓国語社会言語学 I		2
	韓国語社会言語学Ⅱ		2
	韓国語文章表現法		2
	韓国語意味論		2
	韓国語史 I		2
	韓国語史Ⅱ		2
	東南アジア言語概論 I		2
	東南アジア言語概論Ⅱ		2
	スペイン語学概論 I		2
	スペイン語学概論Ⅱ		2
	スペイン語音声学 I		2
	スペイン語音声学Ⅱ		2
	スペイン語史 I		2
	スペイン語史Ⅱ		2
	アメリカスペイン語特殊研究 I		2
	アメリカスペイン語特殊研究 Ⅱ		2
	日西語対照研究 I		2
	日西語対照研究Ⅱ		2
	商業スペイン語 I		2
	商業スペイン語Ⅱ		2
	ポルトガル語学概論 I		2
	ポルトガル語学概論Ⅱ		2
	The Languages of Japan I		2
	The Languages of Japan II		2
	日本語学概論		4
	日本語学I		4
	日本語学Ⅱ		4
	日本語学特論		4
•	•	•	

1	Í				
		日本語教育概論			2
		日本語教授法			4
		日本語教育実習			2
		日本語表現法 I			2
		日本語表現法Ⅱ			2
		社会言語学 I			4
		社会言語学Ⅱ			4
		心理言語学			4
		応用言語学			4
		意味•語用論			4
		言語学特別研究			4
		言語哲学 I			2
		言語哲学Ⅱ			2
		西洋古典語概論 I			2
		西洋古典語概論Ⅱ			2
		Public Speaking		4	
	(コミュニケーシ	Debate		4	
	ョン研究分野)	Small Group Communication		4	
		日米コミュニケーション論			4
		英語オーラルインタープリテーション			4
		英語説得コミュニケーション論			4
		日英翻訳法 I			4
		日英翻訳法Ⅱ			4
		英日翻訳法 I		4	
		英日翻訳法Ⅱ			4
		英語通訳法 I		4	
		英語通訳法 II			4
		英語通訳法Ⅲ			4
		英語通訳法IV			4
		英語映像翻訳法			4
		コミュニティー英語通訳法			4
		Theories of Translation and Interpreting		4	
		通訳·翻訳理論(英語)		4	
		通訳演習(a)			2
		通訳演習(b)			2
I	I		_1	<u>l</u>	

翻訳演習(a)	2
翻訳演習(b)	2
ビジネス中国語 I (a)	2
ビジネス中国語 I (b)	2
ビジネス中国語 II (a)	2
ビジネス中国語 II (b)	2
中国語通訳法 I (a)	2
中国語通訳法 I (b)	2
中国語通訳法Ⅱ(a)	2
中国語通訳法Ⅱ(b)	2
韓国語映像翻訳法 I	2
韓国語映像翻訳法Ⅱ	2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I	2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論Ⅱ	2
スペイン語スピーチ・コミュニケーション I	2
スペイン語スピーチ・コミュニケーション Ⅱ	2
スペイン語通訳法 I	2
スペイン語翻訳法 I	2
スペイン語翻訳法Ⅱ	2
スペイン語映像翻訳法 I	2
スペイン語映像翻訳法Ⅱ	2
コミュニケーション論 I	2
コミュニケーション論Ⅱ	2
異文化コミュニケーション論 I	2
異文化コミュニケーション論Ⅱ	2
組織コミュニケーション論 I	2
組織コミュニケーション論 Ⅱ	2
メディア・コミュニケーション表現 I	2
メディア・コミュニケーション表現Ⅱ	2
デジタル・メディアとコミュニケーション I	2
デジタル・メディアとコミュニケーションⅡ	2
メディア文化論 I	2
メディア文化論Ⅱ	2
非言語コミュニケーション論 I	2
非言語コミュニケーション論Ⅱ	2

対人コミュニケーション論 Leadership Communication I 国際ビジネス・コミュニケーション論 I 国際ビジネス・コミュニケーション論 II 日本語プレゼンテーション 日本語アイベート 日本語スモールグループ・コミュニケーション コミュニケーション論特講 I コミュニケーション論論等 多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 一時・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー メディア研究法 I	2
Leadership Communication II 国際ビジネス・コミュニケーション論 II 日本語プレゼンテーション 日本語ディベート 日本語スモールグループ・コミュニケーション ンコミュニケーション論特講 II レトリカルコミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 I 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	_
国際ビジネス・コミュニケーション論 I 国際ビジネス・コミュニケーション論 II 日本語プレゼンテーション 日本語ディベート 日本語スモールグループ・コミュニケーショ ン コミュニケーション論特講 I フトリカルコミュニケーション論 多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 I 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 「デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
国際ビジネス・コミュニケーション論 II 日本語プレゼンテーション 日本語ディベート 日本語スモールグループ・コミュニケーショ ン コミュニケーション論特講 I コミュニケーション論特講 I レトリカルコミュニケーション論 多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 I 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日中通訳法 I 日中・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 「ジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
日本語プレゼンテーション 日本語ディベート 日本語スモールグループ・コミュニケーショ ン コミュニケーション論特講 II ロミュニケーション論特講 II レトリカルコミュニケーション論 多文化社会コミュニケーション論 II 適訳・翻訳への招待 日中通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II 「ジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
日本語ディベート 日本語スモールグループ・コミュニケーショ ン コミュニケーション論特講 II コミュニケーション論特講 II レトリカルコミュニケーション論 多文化社会コミュニケーション論 II 適訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 「デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
日本語スモールグループ・コミュニケーショ ン コミュニケーション論特講 I コミュニケーション論特講 I レトリカルコミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 I 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 「デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	4
ンコミュニケーション論特講 I コミュニケーション論論 I 多文化社会コミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	4
コミュニケーション論特講 II コミュニケーション論論 II レトリカルコミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	4
コミュニケーション論所講 II レトリカルコミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日中連訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I デジタル・メディアと社会 I ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	4
レトリカルコミュニケーション論 I 多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 一時・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
多文化社会コミュニケーション論 II 通訳・翻訳への招待 日中通訳法 II 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
通訳・翻訳への招待 日中通訳法 II 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
日中通訳法 I 日韓・韓日通訳法 I 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
日中通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
日韓・韓日通訳法 II 日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	4
日韓・韓日通訳法 II デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	4
デジタル・メディアと社会 I デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
デジタル・メディアと社会 II ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
ジャーナリズム論 II Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
Media and Japanese Society メディアリテラシー	2
メディアリテラシー	2
	2
メディア研究法 I	2
	2
メディア研究法Ⅱ	2
ウェブデザイン I	2
ウェブデザインⅡ	2
メディア表現論 I	2
メディア表現論Ⅱ	2
ソフトウェアデザイン I	2
ソフトウェアデザインⅡ	2
グラフィックデザイン I	2
グラフィックデザイン Ⅱ	2

	プログラミング Ι		2
	プログラミング Ⅱ		2
(総合文化研究	英文学研究 I		2
分野)	英文学研究Ⅱ		2
	米文学研究 I		2
	米文学研究Ⅱ		2
	米国文化論 I	2	
	米国文化論Ⅱ	2	
	米国文化原書講読 I		2
	米国文化原書講読Ⅱ		2
	中国思想概論 I		2
	中国思想概論Ⅱ		2
	中国文化概論I		2
	中国文化概論Ⅱ		2
	中国文学概論I		2
	中国文学概論Ⅱ		2
	中国文学史I		2
	中国文学史Ⅱ		2
	中国古典講読 I		2
	中国古典講読Ⅱ		2
	中国近世文学研究 I		2
	中国近世文学研究Ⅱ		2
	中国近代文学研究 I		2
	中国近代文学研究Ⅱ		2
	中国現代文学研究 I		2
	中国現代文学研究Ⅱ		2
	韓国文化概論 I		2
	韓国文化概論Ⅱ		2
	韓国の宗教・社会 I		2
	韓国の宗教・社会Ⅱ		2
	韓国文化特定研究 I		2
	韓国文化特定研究Ⅱ		2
	韓国映像文化論 I		2
	韓国映像文化論Ⅱ		2

韓国現代文学研究Ⅱ	2
インドネシアの文化・芸術	2
インドネシアの民族・地理	2
ベトナムの文化・芸術	2
ベトナムの民族・地理	2
タイの文化・芸術	2
タイの民族・地理	2
東南アジアの宗教と文化 I	2
東南アジアの宗教と文化Ⅱ	2
スペイン文学史 I	2
スペイン文学史Ⅱ	2
スペイン文化研究 I	2
スペイン文化研究Ⅱ	2
現代スペイン文学 I	2
現代スペイン文学Ⅱ	2
現代ラテンアメリカ文学 I	2
現代ラテンアメリカ文学Ⅱ	2
ラテンアメリカ文学特殊研究 I	2
ラテンアメリカ文学特殊研究 Ⅱ	2
ラテンアメリカの文化と文学	2
スペイン美術史 I	2
スペイン美術史Ⅱ	2
ブラジルの文化・芸術	2
ブラジルの宗教・社会	2
日本文化論 I	2
日本文化論Ⅱ	2
日本近代思想史 I	2
日本近代思想史Ⅱ	2
日本倫理思想史 I	2
日本倫理思想史Ⅱ	2
日本の宗教 I	2
日本の宗教Ⅱ	2
日本美術史 I	2
日本美術史Ⅱ	2
日本芸能史 I	2

日本芸能史Ⅱ		2
日本文学論 I		2
日本文学論Ⅱ		2
日本大衆文化論		2
Tourism and Local Cultures of Japan		2
Japanese Religions		2
The Literatures of Japan	2	
Japanese Popular Cultures	2	
民族と文化 I (a)		2
民族と文化 I (b)		2
民族と文化Ⅱ(a)		2
民族と文化Ⅱ(b)		2
文化について考える		2
比較文明論 I		2
比較文明論Ⅱ		2
比較思想 I		2
比較思想Ⅱ		2
比較文学概論 I		2
比較文学概論Ⅱ		2
日英比較文化論 I	2	
日英比較文化論Ⅱ	2	
日米比較文化論 I	2	
日米比較文化論Ⅱ	2	
日米比較教育論		2
民族•宗教問題研究		2
キリスト教文化論 I		2
キリスト教文化論 Ⅱ		2
イスラム文化論 I		2
イスラム文化論 Ⅱ		2
文化心理学 I		2
文化心理学Ⅱ		2
スポーツ文化論 I		2
スポーツ文化論 Ⅱ		2
文化人類学概論 I		2
文化人類学概論Ⅱ		2

	文化人類学研究 I		2
	文化人類学研究Ⅱ		2
	身体運動文化論		2
	健康科学論		2
	人権論		2
	ジェンダー論		2
	アート・マネジメント		2
	児童文化論		4
	演劇「実技」I		1
	演劇「実技」Ⅱ		1
(地域·国際研	Topics in Oceanian Studies	2	
究分野)	Topics in Canadian Studies	2	
	英国文化実地研究	4	
	米国文化実地研究	4	
	オセアニア文化実地研究	4	
	カナダ文化実地研究	4	
	マレーシア文化実地研究(英語)	4	
	英国史概論 I	2	
	英国史概論Ⅱ	2	
	History of the United States I	2	
	History of the United States II	2	
	米国史概論 I	2	
	米国史概論Ⅱ	2	
	米国政治論 I	2	
	米国政治論Ⅱ	2	
	米国外交論 I	2	
	米国外交論Ⅱ	2	
	米国経済論 I	2	
	米国経済論Ⅱ	2	
	米国社会論 I	2	
	米国社会論Ⅱ	2	
	英米法 I		2
	英米法Ⅱ		2
	业国动治. 从大研究性头 I		2
	米国政治·外交研究特論 I	ŀ	

	米国社会史研究特論 I		2
	米国社会史研究特論Ⅱ		2
	米国社会原書講読 I		2
	米国社会原書講読Ⅱ		2
·	日米関係論 I		2
	日米関係論Ⅱ		2
	アジア研究入門		2
	中国社会事情 I		2
	中国社会事情Ⅱ		2
	中国史概論 I		2
·	中国史概論Ⅱ		2
	中国現代史 I		2
	中国現代史Ⅱ		2
·	中国経済概論 I		2
·	中国経済概論Ⅱ		2
·	中国政治外交概論I		2
·	中国政治外交概論Ⅱ		2
·	中国社会研究 I		2
	中国社会研究Ⅱ		2
·	中国経済研究 I		2
	中国経済研究Ⅱ		2
	中国政治外交研究 I		2
	中国政治外交研究Ⅱ		2
	海外華人論 I		2
	海外華人論Ⅱ		2
	日中関係論 I		2
	日中関係論Ⅱ		2
	韓国史概論 I		2
	韓国史概論Ⅱ		2
	日韓関係史 I		2
	日韓関係史Ⅱ		2
	韓国政治論 I		2
	韓国政治論Ⅱ		2
	韓国経済論I		2
	韓国経済論Ⅱ		2

#国近代史 I			
韓国史特諾 I 2 インドネシアの歴史 2 インドネシアの歴史 2 インドネシアの原治・経済 I 2 インドネシアの政治・経済 I 2 ベトナム研究入門 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 I 2 タイ研究入門 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア 対発の入門 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 M 経済 I 2 東南アジア 東 M 経済 I 2 イベリア 東 M 部 I 2 現代イベリア 東 M I 2 現代イベリア 研究 I 2 イベリア リカの法と文化 I 2 イベロア メリカの法と文化 I 2		韓国近代史I	2
韓国史特護Ⅱ 2 インドネシアの歴史 2 インドネシアの歴史 2 インドネシアの政治・経済 I 2 インドネシアの政治・経済 I 2 ベトナム研究入門 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 I 2 タイの完教・社会 2 タイの変人・経済 II 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア・研究入門 I 2 東南アジア・社会論 I 2 東南アジア・対会会論 I 2 東南アジア・政治経済論 I 2 イベリア・メリカ・経済 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベリア・契機論 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2		韓国近代史Ⅱ	2
インドネシア研究入門 2 インドネシアの原教・社会 2 インドネシアの政治・経済 I 2 ベトナム研究入門 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ダイ研究入門 2 タイ研究入門 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 マペロア 財務 II 2 現代イベリア研究 I 2 イベロア メリカの法と文化 I 2		韓国史特講 I	2
インドネシアの歴史 2 インドネシアの政治・経済 I 2 インドネシアの政治・経済 I 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ダイ研究入門 2 タイ研究入門 2 タイの変力・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア 皮 I 2 東南アジア 皮 I 2 東南アジア 大会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政府発 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2		韓国史特講Ⅱ	2
インドネシアの家教・社会 2 インドネシアの政治・経済 I 2 ベトナム研究入門 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 I 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの変治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 マペロアメリカ研究入門 2 イベロアメリカ研究入門 2 現代イペリア研究 I 2 現代イペリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		インドネシア研究入門	2
インドネシアの政治・経済 I 2 インドネシアの政治・経済 II 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 I 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア政治経済 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究人門 2 イベリア 更観論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		インドネシアの歴史	2
インドネシアの政治・経済Ⅱ 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済Ⅱ 2 ベトナムの政治・経済Ⅱ 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの歌治・経済Ⅱ 2 東イの政治・経済Ⅱ 2 東南アジア研究入門Ⅱ 2 東南アジア研究入門Ⅱ 2 東南アジア研究入門Ⅱ 2 東南アジア大日会論Ⅰ 2 東南アジア大日会論Ⅱ 2 東南アジア政治経済論Ⅱ 2 東南アジア政治経済論Ⅱ 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅰ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅱ 2		インドネシアの宗教・社会	2
ベトナム研究入門 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 II 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア 東 I 2 東南アジア 東 II 2 東南アジア 大社会論 I 2 東南アジア 大社会論 II 2 東南アジア 政治経済論 I 2 本南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		インドネシアの政治・経済 I	2
ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 II 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの歌か・社会 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア東 I 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア 東概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		インドネシアの政治・経済Ⅱ	2
ベトナムの宗教・社会 2 ベトナムの政治・経済 II 2 タイ研究入門 2 タイの変力・経済 II 2 タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア東 II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		ベトナム研究入門	2
ベトナムの政治・経済 I 2 ダイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの歌か・社会 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア中 II 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2		ベトナムの歴史	2
ベトナムの政治・経済 II 2 タイの歴史 2 タイの歴史 2 タイの歌治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2		ベトナムの宗教・社会	2
タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア東 I 2 東南アジア東 II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		ベトナムの政治・経済 I	2
タイの歴史 2 タイの宗教・社会 2 タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア史 II 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		ベトナムの政治・経済Ⅱ	2
タイの宗教・社会 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア史 I 2 東南アジア史 II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		タイ研究入門	2
タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア中 I 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		タイの歴史	2
タイの政治・経済Ⅱ 2 東南アジア研究入門Ⅱ 2 東南アジア中Ⅱ 2 東南アジア中Ⅲ 2 東南アジア社会論Ⅱ 2 東南アジア社会論Ⅱ 2 東南アジア政治経済論Ⅱ 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅰ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅱ 2		タイの宗教・社会	2
東南アジア研究入門 II 2 東南アジア史 I 2 東南アジア史 II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		タイの政治・経済 I	2
東南アジア研究入門II 2 東南アジア史II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		タイの政治・経済Ⅱ	2
東南アジア史 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア研究入門 I	2
東南アジア史II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア研究入門Ⅱ	2
東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 オベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア史 I	2
東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア史Ⅱ	2
東南アジア政治経済論 II 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 II 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア社会論 I	2
東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア社会論Ⅱ	2
イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア政治経済論 I	2
イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		東南アジア政治経済論Ⅱ	2
イベリア史概論 II 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		イベロアメリカ研究入門	2
現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3		イベリア史概論 I	2
現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		イベリア史概論Ⅱ	2
イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2		現代イベリア研究 I	2
イベロアメリカの法と文化Ⅱ 2		現代イベリア研究Ⅱ	2
		イベロアメリカの法と文化 I	2
ラテンアメリカ史概論 I 2		イベロアメリカの法と文化Ⅱ	2
		ラテンアメリカ史概論 I	2

フテンアメリカ史	•		
現代ラテンアメリカ政治論 1 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ経済論 I 2 ラテンアメリカ経済論 I 2 メキシコ研究 I 2 メキシコ研究 I 2 ブラジル研究人門 2 ブラジルの反族・地理 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 国際社会済 I 2 国際開係史 I 2 国際開係 B 2 国際開係 B 2 国際経済論 I 2		ラテンアメリカ史概論 Ⅱ	2
ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ経済論 I 2 ラテンアメリカ経済論 II 2 メキシコ研究 I 2 メキシコ研究 I 2 ブラジルの死人門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ボルトガル 語園の 世界 2 国際開係史 I 2 国際開係 B I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際機構論 I 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際 クティング論 I 2 国際協力論 I 2		現代ラテンアメリカ研究 I	2
ラテンアメリカ経済論 I 2 ラテンアメリカ経済論 II 2 メキシコ研究 II 2 ブラジル研究入門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政告・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 国際関係・経済 I 2 国際関係 P I 2 国際関係 B I 2 国際関係 B I 2 国際 H 会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 I 2 国際接済論 I 2 国際機構論 I 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2		現代ラテンアメリカ研究Ⅱ	2
ラテンアメリカ経済論Ⅱ 2 メキシコ研究Ⅰ 2 メキシコ研究Ⅰ 2 ブラジル研究入門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係 i 2 国際開係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際機構論 I 2 国際機構論 I 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際 がカ論 I 2 国際協力論 I 2		ラテンアメリカ政治論 I	2
ファンアメリカ経済論Ⅱ 2 メキシコ研究Ⅱ 2 ブラジル研究入門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政治・経済Ⅱ 2 ボルトガル部圏の世界 2 国際関係史 I 2 国際関係申 I 2 国際関係論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際接接論 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際 ビジネス法 I 2 国際 マーケティング論 I 2 国際 ネーケティング論 I 2 国際 協力論 I 2 国際 協力論 I 2		ラテンアメリカ政治論 Ⅱ	2
メキシコ研究 I 2 メキシコ研究 II 2 ブラジル研究入門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 II 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係		ラテンアメリカ経済論 I	2
メキシコ研究II 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの歴史 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ボルトガル部圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際港 II 2 国際港 II 2 国際港 II 2 国際ア・ア・ア・ア・ノン II 2 国際ア・ア・ア・ア・ノン II 2 国際 方 加 I 2 国際協力論 I 2		ラテンアメリカ経済論 Ⅱ	2
ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの歴史 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ボルトガル部圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際法 II 2 国際 J 添水 法 I 2 国際 ビジネス法 I 2 国際 アーケティング論 I 2 国際 協力論 I 2 国際 協力論 I 2		メキシコ研究 I	2
ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ボルトガル 語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係 東 I 2 国際関係論 I 2 国際財務論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際接済論 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際		メキシコ研究Ⅱ	2
ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくろ 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際財务論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際 場論 I 2 国際 場論 I 2 国際 ビジネス法 I 2 国際 アーケティング論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2		ブラジル研究入門	2
ブラジルの政治・経済 I 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際接精論 I 2 国際接 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際 W 方		ブラジルの民族・地理	2
ブラジルの政治・経済 II 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際投稿論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際 W構論 I 2 国際 W テスス法 I 2 国際 マーケティング論 I 2 国際 マーケティング論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2		ブラジルの歴史	2
ボルトガル語圏の世界		ブラジルの政治・経済 I	2
国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係中 国際関係		ブラジルの政治・経済 Ⅱ	2
国際関係史 II 2 2 2 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		ポルトガル語圏の世界	2
国際関係会 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 I 2 国際法 II 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際マーケティング論 I 2 国際マーケティング論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2		国際社会が見えてくる	2
国際関係論 I		国際関係史 I	2
国際関係論Ⅱ 2 国際社会論Ⅱ 2 国際社会論Ⅱ 2 国際経済論Ⅱ 2 国際法Ⅱ 2 国際法Ⅱ 2 国際機構論Ⅱ 2 国際ビジネス法Ⅱ 2 国際ビジネス法Ⅱ 2 国際マーケティング論Ⅱ 2 国際協力論Ⅱ 2 国際協力論Ⅱ 2 国際協力論Ⅱ 2		国際関係史Ⅱ	2
国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 I 国際マーケティング論 I 国際マーケティング論 I 国際マーケティング論 I 国際協力論 I 国際協力論 I 国際協力論 I		国際関係論 I	2
国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際法 I 2 国際法 I 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 II 2 国際マーケティング論 I 2 国際 マーケティング論 II 2 国際協力論 I 2 国際協力論 II 2		国際関係論Ⅱ	2
国際経済論 I		国際社会論 I	2
国際経済論 II 2 国際法 I 2 国際法 II 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 II 2 国際マーケティング論 I 2 国際 マーケティング論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 II 2		国際社会論Ⅱ	2
国際法 I 2 国際法 II 2 国際機構論 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 II 2 国際マーケティング論 I 2 国際マーケティング論 II 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2		国際経済論 I	2
国際法 II 2 国際機構論 I 2 国際機構論 I 2 国際でジネス法 I 2 国際ビジネス法 I 2 国際アーケティング論 I 2 国際マーケティング論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 I 2		国際経済論Ⅱ	2
国際機構論 II 2 国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 II 2 国際マーケティング論 I 2 国際マーケティング論 II 2 国際協力論 I 2 国際協力論 II 2		国際法 I	2
国際機構論Ⅱ 2 国際ビジネス法Ⅱ 2 国際マーケティング論Ⅰ 2 国際マーケティング論Ⅱ 2 国際協力論Ⅰ 2 国際協力論Ⅱ 2 国際協力論Ⅱ 2		国際法Ⅱ	2
国際ビジネス法 I 2 国際ビジネス法 II 2 国際マーケティング論 I 2 国際協力論 I 2 国際協力論 II 2		国際機構論 I	2
国際ビジネス法Ⅱ 2 国際マーケティング論Ⅱ 2 国際マーケティング論Ⅱ 2 国際協力論Ⅰ 2 国際協力論Ⅱ 2		国際機構論Ⅱ	2
国際マーケティング論 I 2 国際マーケティング論 II 2 国際協力論 I 2 国際協力論 II 2		国際ビジネス法 I	2
国際マーケティング論Ⅱ 2 国際協力論Ⅰ 2 国際協力論Ⅱ 2		国際ビジネス法Ⅱ	2
国際協力論 I 2 国際協力論 II 2		国際マーケティング論 I	2
国際協力論Ⅱ 2		国際マーケティング論Ⅱ	2
		国際協力論 I	2
国際平和論 I 2		国際協力論Ⅱ	2
		国際平和論 I	2

•			
	国際平和論Ⅱ		2
	国際開発論I		2
	国際開発論Ⅱ		2
	The History of Modern Japan	2	
	The History of Premodern Japan		2
	International Relations:		2
	Japan in the Asian Context		۷
	Japanese Politics		2
	日本近代史		2
	日本現代史		2
	日本政治論 I		2
	日本政治論Ⅱ		2
	日本経済論 I		2
	日本経済論Ⅱ		2
	日本社会論 I		2
	日本社会論Ⅱ		2
	日本外交史 I		2
	日本外交史Ⅱ		2
	東アジア政治経済論 I		2
	東アジア政治経済論Ⅱ		2
	ヨーロッパ政治経済論 I		2
	ヨーロッパ政治経済論Ⅱ		2
	アフリカ研究入門 I		2
	アフリカ研究入門Ⅱ		2
	地域研究		2
	社会思想史 I		2
	社会思想史Ⅱ		2
	現代国家論 I		2
	現代国家論Ⅱ		2
	社会調査法 I		2
	社会調査法Ⅱ		2
	環境科学 I		2
	環境科学Ⅱ		2
	企業研究 I		2
	企業研究Ⅱ		2
•	,	1	

_	_	i 		
		簿記会計 I		2
		簿記会計Ⅱ		2
		国際経営論 I		2
		国際経営論Ⅱ		2
		マーケティングリサーチ		2
		アントレプレナーシップ論		2
		企業行動論 I		2
		企業行動論Ⅱ		2
		企業財務 I		2
		企業財務Ⅱ		2
		民法概論 I		2
		民法概論Ⅱ		2
		商法概論I		2
		商法概論Ⅱ		2
		米国契約法		2
		法と国際ビジネス		2
	アジア言語学科	ŀ	,	•
研	(研究入門)	アジア研究入門	2	
究	(言語研究分	사는 그는 사내 공사		4
科	野)	英語学概論		4
目		英語音声学		4
		Outline of English Phonetics		4
		英語音韻論		4
		英語統語論 I		4
		英語統語論Ⅱ		4
		英語意味論		4
		現代英文法		4
		英語習得法		4
		Ways of Learning English		4
		第二言語習得研究		4
		Issues in Second Language Acquisition		4
		英語談話分析		4
		Introduction to Discourse Analysis		4
		英語史		4
		古期中期英語		4

外国語評価法 2 TESOL(英語教授法)海外研修 4 英語許法研究 4 Introduction to English Sentence 2 Structures 英語榜文研究 Introduction to Language and Communication 2 Issues in Applied Linguistics 4 日英計対照研究 4 股童英計教所第 4 児童英計教育 4 児童英計教育 4 児童英計教育 4 児童英計教育法 4 児童英計教育 4 児童英計教育法 4 児童英計教育 2 児童英計教育 4 児童英計教育 4 児童英計教育 4 児童英計教育 2 児童英計教育 2 児童英計教育 2 児童英計教育 2 児童英計教育 2 中国計算機能 2 中国計算機能 2 中国計算機能 2 中国語文書館 2 中国語音会論 2 中国語音論 2 中国語音会論 2 中国語音論 2 中国語音論 2	教育英文法基礎		2
英語語法研究 4 Introduction to English Sentence 2 Structures 4 英語構文研究 4 Introduction to Language and Communication 2 Issues in Applied Linguistics 4 Topics in Sociolinguistics 4 日英語対照研究 4 建築語教育 4 児童英語教育論 4 児童英語教育方少キュラムデザイン 4 児童英語教育支習(総稿) 2 児童英語教育支習(総稿) 2 児童英語海外実習 2 中国語学概論 I 2 中国語学概論 I 2 中国語教論 I 2 中国語籍論 I 2 中国語音解論 I 2 中国語音音声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語 1 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 2 2 中国語 3 3 日本 2 3 日本 3 4 日本 4 4 日本 4 4 日本 4 4 日本 4 <t< td=""><td>外国語評価法</td><td></td><td>2</td></t<>	外国語評価法		2
Introduction to English Sentence Structures 英語構文研究	TESOL(英語教授法)海外研修		4
Structures 2 次	英語語法研究		4
Structures 英語様文研究 4 Introduction to Language and Communication 2 Issues in Applied Linguistics 4 Topics in Sociolinguistics 4 日英語対照研究 4 認知発達と英語教育 4 児室英語教育論 4 児室英語教育神事法 4 児室英語教育力学ュラムデザイン 4 児室英語教育東習(船橋) 2 児室英語教育東習(船橋) 2 児室英語教育東習(船橋) 2 児室英語教育東習(船橋) 2 児室英語教育大習(部橋) 2 中国語学機論 I 2 中国語学機論 I 2 中国語会議論 I 2 中国語音論 I 2 中国語音中学 I 2 中国語音中学 I 2 中国語史 I 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	Introduction to English Sentence		0
Introduction to Language and Communication 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3	Structures		2
Communication Issues in Applied Linguistics 4 Topics in Sociolinguistics 4 日英語対照研究 4 日英語対照研究 4 門童英語教育論 4 児童英語教育論 4 児童英語教育 4 児童英語教育表別 6 児童英語教育表別 6 児童英語教育表別 7 児童英語教育表別 7 児童英語教育表別 7 児童英語教育表別 7 児童英語教育表別 7 児童英語森外表別 2 児童英語海外表別 2 中国語学概論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語主教論 I 2 中国語音論論 I 2 中国語音音論論 I 2 中国語音声学 I 2 中国語音 2 中国語声 2 中国語東 I 2 中国語東 I 2 中国語東 I 2 中国語東 I 2 日中比較言語 I 2 日中比較言語 I 2 「広東語 I 2 「広東語 I 2 「「大家和話」 2 「「大家和話」 2 「「大家和話」 2 「「大家和話」 2 「「大家和話」 2 「「「大家和話」 2 「「「「「「「「「」」 2 「「「」」 「「」 「「」 「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	英語構文研究		4
Communication Issues in Applied Linguistics 4 Topics in Sociolinguistics 4 4 Topics in Sociolinguistics 4 4 4 4 4 4 4 4 4	Introduction to Language and		0
Topics in Sociolinguistics 日英語対照研究 4	Communication		2
日英語対照研究 4 認知発達と英語教育 4 児童英語教育論 4 児童英語教育論 4 児童英語教育力リキュラムデザイン 4 児童英語教育実習(船橋) 2 児童英語神外実習 2 中国語学概論 I 2 中国語学概論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語音彙論 I 2 中国語音音論 I 2 中国語音声学 I 2 中国語 p I 2 中国語 p I 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	Issues in Applied Linguistics		4
認知発達と英語教育	Topics in Sociolinguistics		4
児童英語教育論 4 児童英語教育カリキュラムデザイン 4 児童英語教育実習(船橋) 2 児童英語教育実習(船橋) 2 児童英語教育実習(料縄) 2 児童英語海外実習 2 中国語学概論 I 2 中国語学表論 I 2 中国語音彙論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音音韻論 I 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	日英語対照研究		4
児童英語指導法 4 児童英語教育力リキュラムデザイン 4 児童英語教育実習(船橋) 2 児童英語教育実習(沖縄) 2 児童英語海外実習 2 中国語学機論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語主義論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音音	認知発達と英語教育		4
児童英語教育実習(船橋) 2 児童英語教育実習(沖縄) 2 児童英語教育実習(沖縄) 2 中国語学概論 I 2 中国語学扱論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語業論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音音音 I 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語音 D I 2 中国語 D I 2 中国語史 I 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	児童英語教育論		4
児童英語教育実習(船橋) 2 児童英語教育実習(沖縄) 2 児童英語神失習 2 中国語学概論 I 2 中国語学機論 II 2 中国語文法論 II 2 中国語音彙論 I 2 中国語音彙論 I 2 中国語音離論 I 2 中国語音離論 I 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語史 I 2 中国語東京 I 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	児童英語指導法		4
児童英語教育実習(沖縄) 2 児童英語海外実習 2 中国語学概論 I 2 中国語学表論 I 2 中国語素論 I 2 中国語語彙論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音音計 I 2 中国語 p I 2 中国語 p I 2 中国語 p I 2 中国語 p I 2 中国語 p I 2 中国語 p I 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	児童英語教育カリキュラムデザイン		4
児童英語海外実習 2 中国語学概論 I 2 中国語学表論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語音彙論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音 声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語 申 I 2 中国語史 I 2 日中比較言語 I 2 I 中 L h L h	児童英語教育実習(船橋)		2
中国語学概論 I 2 中国語学機論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語語彙論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 I 2 中国語中声学 I 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2 広東語 I 2	児童英語教育実習(沖縄)		2
中国語学概論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語文法論 I 2 中国語語彙論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	児童英語海外実習		2
中国語文法論 I 2 中国語文法論 II 2 中国語語彙論 II 2 中国語音韻論 II 2 中国語音音音音 II 2 中国語音声学 II 2 中国語音声学 II 2 中国語中 I 2 中国語史 I 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	中国語学概論 I	2	
中国語文法論 II 2 中国語語彙論 II 2 中国語音韻論 II 2 中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 日中比較言語 II 2 広東語 I 2	中国語学概論Ⅱ	2	
中国語語彙論 I 2 中国語音韻論 I 2 中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	中国語文法論 I		2
中国語音彙論 I 2 中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 I 中比較言語 II 2 広東語 I 2	中国語文法論Ⅱ		2
中国語音韻論 II 2 中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 広東語 I 2	中国語語彙論 I		2
中国語音韻論 II 2 中国語音声学 I 2 中国語音声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 目中比較言語 I 2 広東語 I 2	中国語語彙論Ⅱ		2
中国語音声学 I 2 中国語音声学 II 2 中国語史 I 2 中国語史 II 2 目中比較言語 I 2 広東語 I 2	中国語音韻論 I		2
中国語音声学Ⅱ 2 中国語史Ⅱ 2 中国語史Ⅱ 2 日中比較言語Ⅰ 2 広東語Ⅰ 2 広東語Ⅰ 2	中国語音韻論Ⅱ		2
中国語史 I 2 中国語史 II 2 日中比較言語 I 2 日中比較言語 II 2 広東語 I 2	中国語音声学 I		2
中国語史II 2 日中比較言語 I 2 日中比較言語 II 2 広東語 I 2	中国語音声学Ⅱ		2
日中比較言語 I 2 日中比較言語 II 2 広東語 I 2	中国語史 I		2
日中比較言語 II 2 広東語 I 2	中国語史Ⅱ		2
広東語 I 2	日中比較言語 I		2
	日中比較言語Ⅱ		2
広東語Ⅱ 2	広東語 I		2
	広東語Ⅱ		2

福建語 I 2 2 1 福建語 I 2 2 1 福建語 I 2 2 1 4 1 1 2 1 1 2 1 4 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1			
韓国語学機論 I 2 2	福建語 I		2
韓国語学版論 I	福建語Ⅱ		2
韓国語文法論 2	韓国語学概論 I	2	
韓国語文法論II 2 日韓対照言語研究II 2 韓国語学特講 I 2 韓国語学特講 II 2 韓国語学 日韓国語社会言語学 I 2 韓国語文章表現法 2 韓国語東 II 2 韓国語東 II 2 東南アシア言語概論 I 2 東南アシア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音 所来 I 2 アリカスペイン語時來研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 高業スペイン語 I 2 市業 財産 財産 I 2 フリカスペイン語 I 2 市業財産 I 2 市場 財産 I 2 フリカスペーン語 I 2 市場 財産 I 2 市場 財産 I 2 日本 財産 I 2	韓国語学概論Ⅱ	2	
日韓対照言語研究 I 2 日韓対照言語研究 I 2 韓国語学特講 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語文章表現法 2 韓国語意味論 2 韓国語史 I 2 韓国語文 I 2 韓国語文 I 2 韓国語 文 I 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語表 I 2 スペイン語表 I 2 エスペイン語表 I 2 エスペイン語表 I 2 田西語対照研究 I 2 田田記述 I 2 田田記述 I 2 田田記述 I 2 田田記述 I 2 田田記述 I 2 田田記述 I 2 田田記述 I 2 I 2 I 2 I 2 I 3 I 3 I 3 I 3 I 3 I 4 I 3 I 4 I 4 I 5 I 5 I 5 I 6 I 7 I 7 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 7 I 7 I 8 I 8 I 7 I 7 I 8 I 8 I 8 I 8 I 8 I 8 I 8 I 8 I 8 I 8	韓国語文法論 I	2	
日韓対照音語研究Ⅱ 2 2 韓国語学特講 I 2 2 韓国語学特講 I 2 2 韓国語学特講 I 2 2 韓国語社会言語学 I 2 2 韓国語社会言語学 I 2 2 韓国語文章表現法 2 2 韓国語史 I 2 2 韓国語史 I 2 2 東南アジア言語概論 I 2 2 東南アジア言語概論 I 2 2 スペイン語学概論 I 2 2 スペイン語学概論 I 2 2 スペイン語学概論 I 2 2 スペイン語音声学 I 2 2 スペイン語音声学 I 2 2 スペイン語音声学 I 2 2 スペイン語史 I 2 2 スペイン語中 I 2 2 スペイン語中 I 2 2 スペイン語中 I 2 2 スペイン語中 I 2 2 スペイン語中 I 2 2 スペイン語中 I 2 2 アメリカスペイン語中 I 2 2 日西語対照研究 I 2 2 日西語対照研究 I 2 2 日西語対照研究 I 2 2 商業スペイン語 I 6 南業スペイン語 I 6 南業スペイン語 I 7 スルトガル語学概論 I 2 2 ホルトガル語学概論 I 2 2 The Languages of Japan I 2 2 The Languages of Japan I 2 2 The Languages of Japan I 2 2 The Languages of Japan I 2 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2	韓国語文法論Ⅱ	2	
韓国語学特講 I 2 韓国語学特講 I 2 韓国語社会言語学 II 2 韓国語文章表現法 2 韓国語文 II 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語	日韓対照言語研究 I		2
韓国語学特講Ⅱ 2 韓国語社会言語学Ⅱ 2 韓国語文章表現法 2 韓国語文Ⅱ 2 韓国語史Ⅱ 2 東南アジア言語概論Ⅱ 2 東南アジア言語概論Ⅱ 2 スペイン語学概論Ⅱ 2 スペイン語学概論Ⅱ 2 スペイン語学期Ⅱ 2 スペイン語中専学Ⅱ 2 スペイン語申則 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 西薬スペイン語Ⅱ 2 ボル・ガル部学概論Ⅱ 2 ボルトガル部学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	日韓対照言語研究Ⅱ		2
韓国語社会言語学 I 2 韓国語文章表現法 2 韓国語文 I 2 韓国語史 I 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学模論 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語中所 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	韓国語学特講 I		2
韓国語社会言語学II 2 韓国語意味論 2 韓国語史 I 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音 声学 I 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語史 I 2 アメリカスペイン語呼呼呼 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	韓国語学特講Ⅱ		2
韓国語文章表現法 2 韓国語文 I 2 韓国語文 II 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語東 JI 2 スペイン語東 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	韓国語社会言語学 I		2
韓国語史 I 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語東 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2	韓国語社会言語学Ⅱ		2
韓国語史 I 2	韓国語文章表現法		2
韓国語史Ⅱ 2 東南アジア言語概論Ⅱ 2 スペイン語学概論Ⅱ 2 スペイン語音声学Ⅱ 2 スペイン語音声学Ⅱ 2 スペイン語音声学Ⅱ 2 スペイン語申耳 2 スペイン語申Ⅱ 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 商業スペイン語Ⅱ 2 ボルトガル語学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan Ⅱ 2 The Languages of Japan Ⅱ 2	韓国語意味論		2
東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語中 II 2 スペイン語中 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 II 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2	韓国語史 I		2
東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語・大部 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	韓国語史Ⅱ		2
スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語史 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 II 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	東南アジア言語概論 I		2
スペイン語学概論 II スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語要 I 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語映 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対照研究 I 2 日本語対解論 I 2 「ホルトガル語学概論 I 2 日本語学 I 2 日本語対解語 I 2 日本語学 I 2 日本語対解語 I 2 日本語学 I 2 日本語学 I 2 日本語対解語 I 2 日本語学 I 2 日本語対解語 I 2 日本語学 I 2	東南アジア言語概論Ⅱ		2
スペイン語音声学 I 2 スペイン語ウ I 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	スペイン語学概論 I		2
スペイン語音声学Ⅱ 2 スペイン語史Ⅱ 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅰ 2 日西語対照研究Ⅰ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 商業スペイン語Ⅰ 2 ボルトガル語学概論Ⅰ 2 ボルトガル語学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan Ⅱ 2 The Languages of Japan Ⅱ 2	スペイン語学概論 Ⅱ		2
スペイン語史 I 2 スペイン語史 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 オルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	スペイン語音声学 I		2
スペイン語史 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	スペイン語音声学Ⅱ		2
アメリカスペイン語特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 II 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2	スペイン語史 I		2
アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 西業スペイン語 I 2 商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	スペイン語史Ⅱ		2
日西語対照研究 II 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	アメリカスペイン語特殊研究 I		2
日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 II 2 ボルトガル語学概論 I 2 ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2	アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ		2
商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 オルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	日西語対照研究 I		2
商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	日西語対照研究Ⅱ		2
ポルトガル語学概論 I 2 ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	商業スペイン語 I		2
ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2	商業スペイン語Ⅱ		2
The Languages of Japan II 2 The Languages of Japan II 2	ポルトガル語学概論 I		2
The Languages of Japan II 2	ポルトガル語学概論Ⅱ		2
	The Languages of Japan I		2
	The Languages of Japan II		2
日本語学概論	日本語学概論		4

日本語学I	4
日本語学Ⅱ	4
日本語学特論	4
日本語教育概論	2
日本語教授法	4
日本語教育実習	2
日本語表現法 I	2
日本語表現法Ⅱ	2
社会言語学 I	4
社会言語学Ⅱ	4
心理言語学	4
応用言語学	4
意味•語用論	4
言語学特別研究	4
言語哲学 I	2
言語哲学Ⅱ	2
西洋古典語概論 I	2
西洋古典語概論Ⅱ	2
ニケーシ Public Speaking	4
E分野) Debate	4
Small Group Communication	4
日米コミュニケーション論	4
英語オーラルインタープリテーション	4
英語説得コミュニケーション論	4
日英翻訳法 I	4
日英翻訳法Ⅱ	4
英日翻訳法 I	4
英日翻訳法Ⅱ	4
英語通訳法 I	4
英語通訳法Ⅱ	4
英語通訳法Ⅲ	4
英語通訳法IV	4
英語映像翻訳法	4
コミュニティー英語通訳法	4
The state of the s	
	日本語学 II 日本語学特論 日本語教育概論 日本語教授法 日本語教授法 日本語表現法 I 日本語表現法 I 日本語表現法 I 日本語表現法 I 社会言語学 I 心理言語学 応用言語学 応用言語学 意味・語用論 言語学特別研究 言語哲学 I 言語哲学 I 言語哲学 I 西洋古典語概論 I 西洋古典語概論 I 西洋古典語概論 I 西洋古典語概論 I 五学古典のののmunication 日米コミュニケーション 英語説得コミュニケーション論 英語オーラルインタープリテーション 英語説得コミュニケーション論 日英翻訳法 I 英田翻訳法 I 英田翻訳法 I 英田翻訳法 I 英田翻訳法 I 英田翻訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 I 英語通訳法 II

通訳・翻訳理論(英語)	4
ビジネス中国語 I (a)	2
ビジネス中国語 I (b)	2
ビジネス中国語 II (a)	2
ビジネス中国語 II (b)	2
中国語通訳法 I (a)	2
中国語通訳法 I (b)	2
中国語通訳法Ⅱ(a)	2
中国語通訳法Ⅱ(b)	2
韓国語映像翻訳法 I	2
韓国語映像翻訳法Ⅱ	2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I	2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論Ⅱ	2
スペイン語スピーチ・コミュニケーション I	2
スペイン語スピーチ・コミュニケーションⅡ	2
スペイン語通訳法 I	2
スペイン語翻訳法 I	2
スペイン語翻訳法Ⅱ	2
スペイン語映像翻訳法 I	2
スペイン語映像翻訳法Ⅱ	2
コミュニケーション論 [2
コミュニケーション論Ⅱ	2
異文化コミュニケーション論 I	2
異文化コミュニケーション論Ⅱ	2
組織コミュニケーション論 I	2
組織コミュニケーション論 Ⅱ	2
メディア・コミュニケーション表現 I	2
メディア・コミュニケーション表現Ⅱ	2
デジタル・メディアとコミュニケーション I	2
デジタル・メディアとコミュニケーションⅡ	2
メディア文化論 I	2
メディア文化論Ⅱ	2
非言語コミュニケーション論 I	2
非言語コミュニケーション論Ⅱ	2
対人コミュニケーション論	2

Leadership Communication I	2
Leadership Communication II	2
国際ビジネス・コミュニケーション論 I	2
国際ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ	2
日本語プレゼンテーション	4
日本語ディベート	4
日本語スモールグループ・コミュニケーショ	4
	4
コミュニケーション論特講 I	2
コミュニケーション論特講Ⅱ	2
レトリカルコミュニケーション論	2
多文化社会コミュニケーション論 I	2
多文化社会コミュニケーション論Ⅱ	2
通訳・翻訳への招待	2
日中通訳法I	4
日中通訳法Ⅱ	4
日韓·韓日通訳法 I	2
日韓•韓日通訳法Ⅱ	2
デジタル・メディアと社会 I	2
デジタル・メディアと社会Ⅱ	2
ジャーナリズム論 I	2
ジャーナリズム論Ⅱ	2
Media and Japanese Society	2
メディアリテラシー	2
メディア研究法 I	2
メディア研究法Ⅱ	2
ウェブデザイン I	2
ウェブデザインⅡ	2
メディア表現論 I	2
メディア表現論Ⅱ	2
ソフトウェアデザイン I	2
ソフトウェアデザインⅡ	2
グラフィックデザイン I	2
グラフィックデザインⅡ	2
プログラミング I	2

	プログラミングⅡ		2
(総合文化研究	英文学研究 I		2
分野)	英文学研究Ⅱ		2
	米文学研究 I		2
	米文学研究Ⅱ		2
	米国文化論 I		2
	米国文化論Ⅱ		2
	米国文化原書講読 I		2
	米国文化原書講読Ⅱ		2
	中国思想概論 I		2
	中国思想概論Ⅱ		2
	中国文化概論 I		2
	中国文化概論Ⅱ		2
		2	
	————————————————————————————————————	2	
	————————————————————————————————————		2
	中国文学史Ⅱ		2
		2	
	中国古典講読Ⅱ	2	
	————————————————————————————————————		2
	————————————————————————————————————		2
	————————————————————————————————————		2
	中国近代文学研究Ⅱ		2
			2
	中国現代文学研究Ⅱ		2
		2	
	韓国文化概論Ⅱ	2	
	韓国の宗教・社会 I	2	
	韓国の宗教・社会Ⅱ	2	
	□ 韓国文化特定研究 I		2
	韓国文化特定研究Ⅱ		2
	韓国映像文化論 I		2
	韓国映像文化論Ⅱ		2
	韓国現代文学研究 I		2
	韓国現代文学研究Ⅱ		2
l .			l

1			1
	インドネシアの文化・芸術	2	2
	インドネシアの民族・地理	2	2
	ベトナムの文化・芸術	2	2
	ベトナムの民族・地理	4	2
	タイの文化・芸術	2	2
	タイの民族・地理		2
	東南アジアの宗教と文化 I		2
	東南アジアの宗教と文化Ⅱ		2
	スペイン文学史 I		2
	スペイン文学史Ⅱ		2
	スペイン文化研究 I		2
	スペイン文化研究Ⅱ		2
	現代スペイン文学 I		2
	現代スペイン文学Ⅱ		2
	現代ラテンアメリカ文学 I		2
	現代ラテンアメリカ文学Ⅱ		2
	ラテンアメリカ文学特殊研究 I		2
	ラテンアメリカ文学特殊研究Ⅱ		2
	ラテンアメリカの文化と文学		2
	スペイン美術史 I		2
	スペイン美術史 Ⅱ		2
	ブラジルの文化・芸術		2
	ブラジルの宗教・社会		2
	日本文化論 I		2
	日本文化論Ⅱ		2
	日本近代思想史 I		2
	日本近代思想史Ⅱ		2
	日本倫理思想史 I		2
	日本倫理思想史Ⅱ		2
	日本の宗教 I		2
	日本の宗教Ⅱ		2
	日本美術史 I		2
	日本美術史Ⅱ		2
	日本芸能史 I		2
	日本芸能史Ⅱ		2
ı		I	l.

日本文学論 I	2
日本文学論Ⅱ	2
日本大衆文化論	2
Tourism and Local Cultures of Japan	2
Japanese Religions	2
The Literatures of Japan	2
Japanese Popular Cultures	2
民族と文化 I (a)	2
民族と文化 I (b)	2
民族と文化 II (a)	2
民族と文化Ⅱ(b)	2
文化について考える	2
比較文明論 I	2
比較文明論Ⅱ	2
比較思想 I	2
比較思想Ⅱ	2
比較文学概論 I	2
比較文学概論Ⅱ	2
日英比較文化論 I	2
日英比較文化論Ⅱ	2
日米比較文化論 I	2
日米比較文化論Ⅱ	2
日米比較教育論	2
民族·宗教問題研究	2
キリスト教文化論 I	2
キリスト教文化論Ⅱ	2
イスラム文化論 I	2
イスラム文化論Ⅱ	2
文化心理学 I	2
文化心理学Ⅱ	2
スポーツ文化論 I	2
スポーツ文化論Ⅱ	2
文化人類学概論 I	2
文化人類学概論 Ⅱ	2
文化人類学研究 I	2

		文化人類学研究Ⅱ	2
		身体運動文化論	2
		健康科学論	2
		人権論	2
		ジェンダー論	2
		アート・マネジメント	2
		児童文化論	4
		演劇「実技」I	1
		演劇「実技」Ⅱ	1
	(地域·国際研	Topics in Oceanian Studies	2
	究分野)	Topics in Canadian Studies	2
		英国文化実地研究	4
		米国文化実地研究	4
		オセアニア文化実地研究	4
		カナダ文化実地研究	4
		マレーシア文化実地研究(英語)	4
		英国史概論 I	2
		英国史概論Ⅱ	2
		History of the United States I	2
		History of the United States II	2
		米国史概論 I	2
		米国史概論Ⅱ	2
		米国政治論 I	2
		米国政治論Ⅱ	2
		米国外交論 I	2
		米国外交論Ⅱ	2
		米国経済論 I	2
		米国経済論Ⅱ	2
		米国社会論 I	2
		米国社会論Ⅱ	2
		英米法 I	2
		英米法Ⅱ	2
		米国政治·外交研究特論 I	2
		米国政治・外交研究特論 Ⅱ	2
		米国社会史研究特論 I	2
•	1		

	米国社会史研究特論Ⅱ			2
	米国社会原書講読 I			2
	米国社会原書講読Ⅱ			2
	日米関係論 I			2
	日米関係論Ⅱ			2
	アジア研究入門			2
	中国社会事情 I	2		
	中国社会事情Ⅱ	2		
	中国史概論 I		2	
	中国史概論Ⅱ		2	
	中国現代史I		2	
	中国現代史Ⅱ		2	
	中国経済概論 I		2	
	中国経済概論Ⅱ		2	
	中国政治外交概論 I		2	
	中国政治外交概論Ⅱ		2	
	中国社会研究 I			2
	中国社会研究Ⅱ			2
	中国経済研究 I			2
	中国経済研究Ⅱ			2
	中国政治外交研究 I			2
	中国政治外交研究Ⅱ			2
	海外華人論 I			2
	海外華人論Ⅱ			2
	日中関係論 I			2
	日中関係論Ⅱ			2
	韓国史概論 I		2	
	韓国史概論Ⅱ		2	
	日韓関係史 I		2	
	日韓関係史Ⅱ		2	
	韓国政治論 I			2
	韓国政治論Ⅱ			2
	韓国経済論I			2
	韓国経済論Ⅱ			2
	韓国近代史I			2
			·	·

	1	持 団に仕山 II			0
		韓国近代史Ⅱ			2
		韓国史特講Ⅰ			2
		韓国史特講Ⅱ			2
		インドネシア研究入門	2	_	
		インドネシアの歴史		2	
		インドネシアの宗教・社会		2	
		インドネシアの政治・経済 I		2	
		インドネシアの政治・経済Ⅱ		2	
		ベトナム研究入門	2		
		ベトナムの歴史		2	
		ベトナムの宗教・社会		2	
		ベトナムの政治・経済 I		2	
		ベトナムの政治・経済Ⅱ		2	
		タイ研究入門	2		
		タイの歴史		2	
		タイの宗教・社会		2	
		タイの政治・経済 I		2	
		タイの政治・経済Ⅱ		2	
		東南アジア研究入門 I			2
		東南アジア研究入門Ⅱ			2
		東南アジア史 I			2
		東南アジア史Ⅱ			2
		東南アジア社会論 I			2
		東南アジア社会論Ⅱ			2
		東南アジア政治経済論 I			2
		東南アジア政治経済論Ⅱ			2
		イベロアメリカ研究入門			2
		イベリア史概論 I			2
		イベリア史概論Ⅱ			2
		イベロアメリカの法と文化 I			2
		イベロアメリカの法と文化Ⅱ			2
		ラテンアメリカ史概論 I			2
		ラテンアメリカ史概論Ⅱ			2
		現代ラテンアメリカ研究 I			2
		現代ラテンアメリカ研究Ⅱ			2
I	Į.		l .	I	

	ラテンアメリカ政治論 I	2
	ラテンアメリカ政治論Ⅱ	2
	ラテンアメリカ経済論 I	2
	ラテンアメリカ経済論Ⅱ	2
	メキシコ研究 Ι	2
	メキシコ研究Ⅱ	2
	ブラジル研究入門	2
	ブラジルの民族・地理	2
	ブラジルの歴史	2
	ブラジルの政治・経済 I	2
	ブラジルの政治・経済 Ⅱ	2
	ポルトガル語圏の世界	2
	国際社会が見えてくる	2
	国際関係史 I	2
	国際関係史Ⅱ	2
	国際関係論 I	2
	国際関係論Ⅱ	2
	国際社会論 I	2
	国際社会論Ⅱ	2
	国際経済論I	2
	国際経済論Ⅱ	2
	国際法 I	2
	国際法Ⅱ	2
	国際機構論 I	2
	国際機構論Ⅱ	2
	国際ビジネス法 [2
	国際ビジネス法Ⅱ	2
	国際マーケティング論 I	2
	国際マーケティング論Ⅱ	2
	国際協力論 I	2
	国際協力論Ⅱ	2
	国際平和論I	2
	国際平和論Ⅱ	2
	国際開発論 I	2
	国際開発論Ⅱ	2
•		

The History of Premodern Japan 2 International Relations:	The History of Modern Japan	2
Japan in the Asian Context Japanese Politics 2 1 本近代史 2 1 本近代史 2 1 本近代史 2 1 本近代章 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1	The History of Premodern Japan	2
Japanese Politics 2 1 1 2 2 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3	International Relations:	0
日本近代史 2 日本現代史 2 日本政治論 「 2 日本政治論 「 2 日本政治論 「 2 日本政治論 「 2 日本経済論 「 2 日本経済論 「 2 日本社会論 「 2 日本社会論 「 2 日本外交史 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 日本の表記 「 2 「 2 日本の表記 「 2 日本の表	Japan in the Asian Context	2
日本現代史 2 日本政治論 2 日本政治論 2 日本政治論 2 日本政治論 2 日本経済論 2 日本経済論 2 日本社会論 2 日本社会論 2 日本外交史 2 日本外交史 2 日本外交史 2 日本外交史 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2	Japanese Politics	2
日本政治論 I 2 日本政治論 I 2 日本経済論 I 2 日本社会論 I 2 日本社会論 I 2 日本外交史 I 2 日本外交史 I 2 東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 アフリカ研究人門 I 2 アフリカ研究人門 I 2 社会思想史 I 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 社会調査法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 確認会計 I 2 傳記会計 I 2	日本近代史	2
日本政治論I 2 日本経済論I 2 日本社会論I 2 日本社会論I 2 日本社会論I 2 日本外交史I 2 東アジア政治経済論I 2 ヨーロッパ政治経済論I 2 ヨーロッパ政治経済論II 2 アフリカ研究入門I 2 地域研究 2 社会思想史I 2 社会思想史II 2 現代国家論I 2 現代国家論I 2 現代国家論I 2 社会調查法I 2 企業研学I 2 企業研究I 2 確配会計I 2 締配会計I 2	日本現代史	2
日本経済論 I 2 日本社会論 I 2 日本社会論 I 2 日本社会論 I 2 日本外交史 I 2 東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 社会調查法 I 2 社会調查法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 練配会計 I 2 練配会計 I 2	日本政治論 I	2
日本経済論Ⅱ 2 日本社会論Ⅱ 2 日本社会論Ⅱ 2 日本社会論Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 東ロッパ政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 コーロッパ政治経済論Ⅲ 2 対力研究入門Ⅱ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 環境科学Ⅱ 2 環境科学Ⅱ 2 環境科学Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 海記会計Ⅱ 2 海流会計Ⅱ 2 (海記会計Ⅱ 2 (海記会計Ⅱ 2 (河流会計Ⅱ 2 (河流会計Ⅲ 2 (河流会記)	日本政治論Ⅱ	2
日本社会論Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 アフリカ研究人門Ⅰ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 社会調查法Ⅰ 2 環境科学Ⅰ 2 企業研究Ⅰ 2 衛記会計Ⅰ 2 締記会計Ⅰ 2 締記会計Ⅰ 2	日本経済論 I	2
日本社会論Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 アフリカ研究入門Ⅱ 2 北域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 環境科学Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 牽記会計Ⅰ 2 本記会計Ⅱ 2 本記会計Ⅱ 2	日本経済論Ⅱ	2
日本外交史 II 2 東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 II 2 ヨーロッパ政治経済論 II 2 アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 II 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 建会器主 I 2 社会調查法 I 2 建介学 I 2 企業研究 I 2 維記会計 I 2 簿記会計 I 2 簿記会計 I 2	日本社会論 I	2
日本外交史Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 アフリカ研究入門Ⅱ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 環境科学Ⅰ 2 企業研究Ⅰ 2 (企業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本業研究Ⅱ 2 (本書の会計Ⅱ 2	日本社会論Ⅱ	2
東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 投代国家論 I 2 現代国家論 I 2 社会調査法 I 2 機境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 海記会計 I 2 簿記会計 I 2	日本外交史 I	2
東アジア政治経済論II 2 ヨーロッパ政治経済論II 2 ヨーロッパ政治経済論II 2 アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 社会思想史 II 2 現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調査法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	日本外交史Ⅱ	2
ヨーロッパ政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調査法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 (本計 I) 2 (本計 I) 2 (本計 I) 2	東アジア政治経済論 I	2
ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 アフリカ研究入門Ⅱ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 環境科学Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 衛記会計Ⅱ 2 簿記会計Ⅱ 2	東アジア政治経済論Ⅱ	2
アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 社会調査法 I 2 社会調査法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 牽記会計 I 2 簿記会計 II 2	ヨーロッパ政治経済論 I	2
アフリカ研究入門Ⅱ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 社会調査法Ⅰ 2 社会調査法Ⅱ 2 環境科学Ⅱ 2 企業研究Ⅰ 2 企業研究Ⅱ 2 簿記会計Ⅱ 2 簿記会計Ⅱ 2	ヨーロッパ政治経済論Ⅱ	2
地域研究 2 社会思想史 I 2 社会思想史 II 2 現代国家論 II 2 社会調查法 I 2 社会調查法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	アフリカ研究入門 I	2
社会思想史 I 2 社会思想史 II 2 現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調査法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	アフリカ研究入門 Ⅱ	2
社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 環境科学Ⅰ 2 環境科学Ⅱ 2 企業研究Ⅰ 2 牽記会計Ⅰ 2 簿記会計Ⅱ 2 簿記会計Ⅱ 2	地域研究	2
現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調査法 I 2 社会調査法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	社会思想史 I	2
現代国家論Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 社会調査法Ⅱ 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	社会思想史Ⅱ	2
社会調査法 I 2 社会調査法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	現代国家論 I	2
社会調査法Ⅱ 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 衛記会計 I 2 簿記会計 I 2	現代国家論Ⅱ	2
環境科学 I 2 環境科学 II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	社会調査法 I	2
環境科学II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	社会調査法Ⅱ	2
企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2	環境科学I	2
企業研究Ⅱ 2 簿記会計Ⅰ 2 簿記会計Ⅱ 2	環境科学Ⅱ	2
簿記会計 I簿記会計 II2章記会計 II2	企業研究 I	2
簿記会計Ⅱ 2	企業研究Ⅱ	2
	簿記会計 I	2
国際経営論 I 2	簿記会計Ⅱ	2
	国際経営論 I	2

		国際経営論Ⅱ		2
		マーケティングリサーチ		2
		アントレプレナーシップ論		2
		企業行動論 I		2
		企業行動論Ⅱ		2
		企業財務 I		2
		企業財務Ⅱ		2
		民法概論 I		2
		民法概論Ⅱ		2
		商法概論 I		2
		商法概論Ⅱ		2
		米国契約法		2
		法と国際ビジネス		2
	イベロアメリカ言	:語学科		•
研	(研究入門)	イベロアメリカ研究入門	2	
究	(言語研究分	英語学概論		4
科	野)	英語音声学		4
目		Outline of English Phonetics		4
		英語音韻論		4
		英語統語論 I		4
		英語統語論 Ⅱ		4
		英語意味論		4
		現代英文法		4
		英語習得法		4
		Ways of Learning English		4
		第二言語習得研究		4
		Issues in Second Language Acquisition		4
		英語談話分析		4
		Introduction to Discourse Analysis		4
		英語史		4
		古期中期英語		4
		教育英文法基礎		2
		外国語評価法		2
		TESOL(英語教授法)海外研修		4
		英語語法研究		4
			•	

	Introduction to English Sentence		
	Structures		2
	英語構文研究		4
	Introduction to Language and		
	Communication		2
	Issues in Applied Linguistics		4
	Topics in Sociolinguistics		4
	日英語対照研究		4
	認知発達と英語教育		4
	児童英語教育論		4
	児童英語指導法		4
	児童英語教育カリキュラムデザイン		4
	児童英語教育実習(船橋)		2
	児童英語教育実習(沖縄)		2
	児童英語海外実習		2
	中国語学概論 I		2
	中国語学概論Ⅱ		2
	中国語文法論 I		2
	中国語文法論Ⅱ		2
	中国語語彙論 I		2
	中国語語彙論Ⅱ		2
	中国語音韻論 I		2
	中国語音韻論Ⅱ		2
	中国語音声学 I		2
	中国語音声学Ⅱ		2
	中国語史 I		2
	中国語史Ⅱ		2
	日中比較言語 I		2
	日中比較言語Ⅱ		2
	広東語 I		2
	広東語Ⅱ		2
	福建語I		2
	福建語Ⅱ		2
	韓国語学概論 I		2
	韓国語学概論Ⅱ		2
•		<u> </u>	

韓国語文法論 II 2 日韓対照言語研究 I 2 日韓対照言語研究 I 2 韓国語学特講 I 2 韓国語学特講 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語文章表現法 2 韓国語文章表現法 2 韓国語史 I 2 韓国語史 I 2 韓国語史 I 2 韓国語史 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語	韓国語文法論 I		2
日韓対照言語研究 I 2 韓国語学特講 I 2 韓国語学特講 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語文章表現法 2 韓国語東 I 2 韓国語東 I 2 韓国語東 I 2 韓国語東 I 2 韓国語東 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペル語学概論 I 2 スペル語学概論 I 2 スペル語音声学 I 2 スペル語音 声学 I 2 スペル語音 声学 I 2 スペル語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペル語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 オルトガル語学概論 I 2 日本語学概論 I 2 日本語学 I 4 日本語学 I 4 日本語学時論 4			
日韓 財際言語研究 II 2 韓国語学特講 II 2 韓国語社会言語学 II 2 韓国語社会言語学 II 2 韓国語文章表現法 2 韓国語史 I 2 韓国語史 II 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語 東穿 II 2 スペイン語 東京 所究 II 2 日西語対照研究 II 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 オルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学 II 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4			
韓国語学特講 I 2 韓国語社会言語学 I 2 韓国語社会言語学 II 2 韓国語文章表現法 2 韓国語意味論 2 韓国語史 II 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音 P学 I 2 スペイン語史 I 2 スペイン語中殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学概論 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4			
韓国語社会言語学 I 2 韓国語社会言語学 II 2 韓国語文章表現法 2 韓国語文 II 2 韓国語史 II 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学 II 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語 B 声学 II 2 スペイン語史 II 2 ア リカスペイン語特殊研究 II 2 日西語対照研究 I 2 西離スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学 II 4 日本語学 II 4 日本語学 Fil 4 日本語学 Fil 4			
韓国語社会言語学 II 2 韓国語文章表現法 2 韓国語意味論 2 韓国語史 I 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学 II 2 スペイン語中 II 2 アリカスペイン語特殊研究 II 2 日西語対照研究 II 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4			
韓国語文章表現法 2 韓国語意味論 2 韓国語史 I 2 韓国語史 I 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語 p I 2 アメリカスペイン語 特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 オート E Languages of Japan I 2 日本語学 版論 4 日本語学 I 4 日本語学 F 4 日本語学 F 4 日本語学特論 4			
韓国語文章表現法 韓国語意味論			
韓国語東 I 2 韓国語東 II 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語音 声学 II 2 スペイン語 p I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 II 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学時論 4 日本語学時論 4			
韓国語史 II 2 韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音 声学 II 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4			
韓国語史 II 2 東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 I 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語史 I 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 西離 スペイン語 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学時論 4			
東南アジア言語概論 I 2 東南アジア言語概論 I 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語専 B P II 2 スペイン語史 I 2 スペイン語史 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4 日本語学特論 4			2
東南アジア言語概論 II 2 スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語史 II 2 スペイン語史 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4			2
スペイン語学概論 II 2 スペイン語音声学 I 2 スペイン語音声学 II 2 スペイン語史 I 2 スペイン語史 I 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4	東南アジア言語概論 I		2
スペイン語学概論Ⅱ 2 スペイン語音声学Ⅰ 2 スペイン語音声学Ⅱ 2 スペイン語史Ⅰ 2 スペイン語史Ⅱ 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅰ 2 日西語対照研究Ⅰ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 商業スペイン語Ⅰ 2 ボルトガル語学概論Ⅰ 2 ボルトガル語学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan Ⅱ 2 日本語学概論 4 日本語学Ⅰ 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学時論 4			2
スペイン語音声学 I 2 スペイン語音 声学 II 2 スペイン語史 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ポルトガル語学概論 I 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4 日本語学特論 4	スペイン語学概論 I	2	
スペイン語音声学Ⅱ 2 スペイン語史Ⅱ 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 商業スペイン語Ⅰ 2 ボルトガル語学概論Ⅰ 2 ボルトガル語学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan Ⅱ 2 日本語学概論 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学時論 4	スペイン語学概論 Ⅱ	2	
スペイン語史 I 2 スペイン語史 II 2 アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 成業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4	スペイン語音声学 I		2
スペイン語史Ⅱ 2 アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 日西語対照研究Ⅱ 2 商業スペイン語Ⅰ 2 ポルトガル語学概論Ⅱ 2 ボルトガル語学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学時論 4 日本語学特論 4	スペイン語音声学Ⅱ		2
アメリカスペイン語特殊研究 I 2 アメリカスペイン語特殊研究 II 2 目西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4	スペイン語史 I		2
アメリカスペイン語特殊研究 I 2 日西語対照研究 I 2 商業スペイン語 I 2 商業スペイン語 II 2 ポルトガル語学概論 I 2 プルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4	スペイン語史Ⅱ		2
日西語対照研究 I 2 日西語対照研究 II 2 商業スペイン語 I 2 ボルトガル語学概論 I 2 ボルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4 日本語学特論 4	アメリカスペイン語特殊研究 I		2
日西語対照研究Ⅱ 2 商業スペイン語Ⅱ 2 ボルトガル語学概論Ⅱ 2 ボルトガル語学概論Ⅲ 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学時論 4	アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ		2
商業スペイン語 I 2 成ルトガル語学概論 I 2 ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学特論 4	日西語対照研究 I		2
商業スペイン語Ⅱ 2 ポルトガル語学概論Ⅱ 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学Ⅱ 4 日本語学時論 4 日本語学特論 4	日西語対照研究Ⅱ		2
ポルトガル語学概論 I 2 ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4	商業スペイン語 I		2
ポルトガル語学概論 II 2 The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4	商業スペイン語Ⅱ		2
The Languages of Japan I 2 The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4	ポルトガル語学概論 I	2	
The Languages of Japan II 2 日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4	ポルトガル語学概論Ⅱ	2	
日本語学概論 4 日本語学 I 4 日本語学II 4 日本語学特論 4	The Languages of Japan I		2
日本語学 I 4 日本語学 II 4 日本語学特論 4	The Languages of Japan II		2
日本語学Ⅱ 4 日本語学特論 4	日本語学概論		4
日本語学特論 4	日本語学I		4
	日本語学Ⅱ		4
日本語教育概論 2	日本語学特論		4
	日本語教育概論		2

	日本語教授法		4
	日本語教育実習		2
	日本語表現法 I		2
	日本語表現法Ⅱ		2
	社会言語学 I		
			4
	社会言語学Ⅱ		4
	心理言語学		4
	応用言語学		4
	意味•語用論		4
	言語学特別研究		4
	言語哲学 I		2
	言語哲学Ⅱ		2
	西洋古典語概論 I		2
	西洋古典語概論Ⅱ		2
	Public Speaking		4
(コミュニケーシ	Debate		4
ョン研究分野)	Small Group Communication		4
	日米コミュニケーション論		4
	英語オーラルインタープリテーション		4
	英語説得コミュニケーション論		4
	日英翻訳法I		4
	日英翻訳法Ⅱ		4
	英日翻訳法 I		4
	英日翻訳法Ⅱ		4
	英語通訳法 I		4
	英語通訳法Ⅱ		4
	英語通訳法Ⅲ		4
	英語通訳法IV		4
	英語映像翻訳法		4
	コミュニティー英語通訳法		4
	Theories of Translation and Interpreting		4
	通訳・翻訳理論(英語)		4
	ビジネス中国語 I (a)		2
	ビジネス中国語 I (b)		2
	ビジネス中国語Ⅱ (a)		2
1			

ビジネス中国語II (b) 2 中国語通訳法 I (a) 2 中国語通訳法 II (a) 2 中国語通訳法 II (b) 2 韓国語映像翻訳法 I 2 韓国語映像翻訳法 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション ii 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
中国語通訳法 II (a) 2 中国語通訳法 II (b) 2 韓国語映像翻訳法 I 2 韓国語映像翻訳法 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 II 2 異文化コミュニケーション論 I 2
中国語通訳法 II (a) 2 中国語通訳法 II (b) 2 韓国語映像翻訳法 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 II 2 異文化コミュニケーション論 I 2
中国語通訳法 II (b) 2 韓国語映像翻訳法 II 2 森ペイン語圏マス・コミュニケーション論 I 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション I 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
韓国語映像翻訳法 I 2 韓国語映像翻訳法 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション I 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
韓国語映像翻訳法 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション ii II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論 II 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション I 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語中像翻訳法 I 2 スペイン語中の動記 I 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語スピーチ・コミュニケーション I 2 スペイン語スピーチ・コミュニケーション II 2 スペイン語通訳法 I 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 スペイン語中像翻訳法 II 2 エミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語スピーチ・コミュニケーションII 2 スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語通訳法 I 2 スペイン語郵訳法 I 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語通訳法 II 2 スペイン語翻訳法 II 2 スペイン語酬飲器 II 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語映像翻訳法 I 2 スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 異文化コミュニケーション論 I 2
スペイン語映像翻訳法 II 2 コミュニケーション論 I 2 コミュニケーション論 II 2 異文化コミュニケーション論 I 2
コミュニケーション論 I 2 コミュニケーション論 II 2 異文化コミュニケーション論 I 2
コミュニケーション論 II 2 異文化コミュニケーション論 I 2
異文化コミュニケーション論 I 2
異文化コミュニケーション論 Π 2
組織コミュニケーション論 I 2
組織コミュニケーション論Ⅱ 2
メディア・コミュニケーション表現 I 2
メディア・コミュニケーション表現Ⅱ 2
デジタル・メディアとコミュニケーション I 2
デジタル・メディアとコミュニケーションⅡ 2
メディア文化論 Ι 2
メディア文化論 Ⅱ 2
非言語コミュニケーション論 I 2
非言語コミュニケーション論Ⅱ 2
対人コミュニケーション論 2
Leadership Communication I 2
Leadership Communication II 2
国際ビジネス・コミュニケーション論 I 2

	国際ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ	2
	日本語プレゼンテーション	4
	日本語ディベート	4
	日本語スモールグループ・コミュニケーショ	4
	$ \nu $	4
	コミュニケーション論特講 I	2
	コミュニケーション論特講Ⅱ	2
	レトリカルコミュニケーション論	2
	多文化社会コミュニケーション論 I	2
	多文化社会コミュニケーション論 Ⅱ	2
	通訳・翻訳への招待	2
	日中通訳法 I	4
	日中通訳法Ⅱ	4
	日韓·韓日通訳法 I	2
	日韓•韓日通訳法Ⅱ	2
	デジタル・メディアと社会 I	2
	デジタル・メディアと社会 Ⅱ	2
	ジャーナリズム論 I	2
	ジャーナリズム論Ⅱ	2
	Media and Japanese Society	2
	メディアリテラシー	2
	メディア研究法 Ι	2
	メディア研究法 Ⅱ	2
	ウェブデザイン I	2
	ウェブデザインⅡ	2
	メディア表現論 I	2
	メディア表現論 Ⅱ	2
	ソフトウェアデザイン I	2
	ソフトウェアデザイン Ⅱ	2
	グラフィックデザイン I	2
	グラフィックデザイン Ⅱ	2
	プログラミング Ι	2
	プログラミング Ⅱ	2
(総合文化研究	英文学研究 I	2
分野)	英文学研究Ⅱ	2

	米文学研究 I		2
	米文学研究Ⅱ		2
	米国文化論 I		2
; 	米国文化論Ⅱ		2
	米国文化原書講読 I		2
	米国文化原書講読Ⅱ		2
·	中国思想概論 I		2
	中国思想概論Ⅱ		2
	中国文化概論 I		2
ļ	中国文化概論Ⅱ		2
	中国文学概論 I		2
	中国文学概論Ⅱ		2
	中国文学史 I		2
	中国文学史Ⅱ		2
	中国古典講読 I		2
	中国古典講読Ⅱ		2
; 	中国近世文学研究 I		2
	中国近世文学研究Ⅱ		2
	中国近代文学研究 I		2
	中国近代文学研究Ⅱ		2
	中国現代文学研究 I		2
	中国現代文学研究Ⅱ		2
	韓国文化概論 I		2
	韓国文化概論Ⅱ		2
	韓国の宗教・社会 I		2
	韓国の宗教・社会Ⅱ		2
	韓国文化特定研究 I		2
	韓国文化特定研究Ⅱ		2
	韓国映像文化論 I		2
	韓国映像文化論Ⅱ		2
	韓国現代文学研究 I		2
	韓国現代文学研究Ⅱ		2
	インドネシアの文化・芸術		2
	インドネシアの民族・地理		2
	ベトナムの文化・芸術		2

	ベトナムの民族・地理		2
	タイの文化・芸術		2
	タイの民族・地理		2
	東南アジアの宗教と文化 I		2
	東南アジアの宗教と文化Ⅱ		2
	スペイン文学史 I	2	
	スペイン文学史Ⅱ	2	
	スペイン文化研究 I		2
	スペイン文化研究Ⅱ		2
	現代スペイン文学 I		2
	現代スペイン文学Ⅱ		2
	現代ラテンアメリカ文学 I		2
	現代ラテンアメリカ文学Ⅱ		2
	ラテンアメリカ文学特殊研究 I		2
	ラテンアメリカ文学特殊研究Ⅱ		2
	ラテンアメリカの文化と文学		2
	スペイン美術史 I		2
	スペイン美術史Ⅱ		2
	ブラジルの文化・芸術	2	
	ブラジルの宗教・社会	2	
	日本文化論 I		2
	日本文化論Ⅱ		2
	日本近代思想史 I		2
	日本近代思想史Ⅱ		2
	日本倫理思想史 I		2
	日本倫理思想史Ⅱ		2
	日本の宗教 I		2
	日本の宗教Ⅱ		2
	日本美術史 I		2
	日本美術史Ⅱ		2
	日本芸能史 I		2
	日本芸能史Ⅱ		2
	日本文学論 I		2
l	1 1 1 2 4 Hill 2		
	日本文学論Ⅱ		2

Tourism and Local Cultures of Japan	2
Japanese Religions	2
The Literatures of Japan	2
Japanese Popular Cultures	2
民族と文化 I (a)	2
民族と文化 I (b)	2
民族と文化Ⅱ(a)	2
民族と文化 II (b)	2
文化について考える	2
比較文明論 I	2
比較文明論Ⅱ	2
比較思想 I	2
比較思想Ⅱ	2
比較文学概論 I	2
比較文学概論Ⅱ	2
日英比較文化論 I	2
日英比較文化論Ⅱ	2
日米比較文化論 I	2
日米比較文化論Ⅱ	2
日米比較教育論	2
民族·宗教問題研究	2
キリスト教文化論 I	2
キリスト教文化論Ⅱ	2
イスラム文化論 I	2
イスラム文化論 Ⅱ	2
文化心理学 I	2
文化心理学Ⅱ	2
スポーツ文化論 I	2
スポーツ文化論Ⅱ	2
文化人類学概論 I	2
文化人類学概論Ⅱ	2
文化人類学研究 I	2
文化人類学研究Ⅱ	2
身体運動文化論	2
健康科学論	2

人権論 2 ジェングー論 2 アート・マネジスト 2 児童文化論 4 演劇「実技」 I 1 試劇「実技」 II 1 「の地で国際研 1 第の子数) II 1 (地板・国際研 2 大田文化実地研究 4 オセアニア文化実地研究 4 カナタ文化実地研究 4 マレーシア文化実地研究 4 英国史観論 I 2 History of the United States I 2 米国史観論 I 2 米国史概論 I 2 米国政務論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国社会論 I 2 来送計 I 2 来送計 I 2 来国社会課 日本会研究特論 I 2 米国社会課 日本会研究特論 I 2 米国社会課 日本会研究特論 I 2 米国社会課 日本会研究特論 I 2 米国社会課 議議 I 2 米国社会課 日本会研究 (計画 I) 2 東国社会課 I 2 東国社会課 I 2 東国社会課 II 2 <tr< th=""><th></th><th></th><th></th></tr<>			
アート・マネジシト 2 児童文化論 4 演劇「実技」 I 1 (地域・国際研究 2 で分野) Topics in Oceanian Studies 2 変力化実地研究 4 米国文化実地研究 4 オーセアニア文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 英国史観論 I 2 国史観論 I 2 国内域 Bi 2 米国史観論 I 2 米国史観論 I 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国大概論 I 2 米国大機論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国路済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米出会・外交研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2		人権論	2
		ジェンダー論	2
演劇「実技」		アート・マネジメント	2
(地域・国際研		児童文化論	4
(地域・国際研究分野) Topics in Oceanian Studies 2 変句字と、実地研究 4 米国文化実地研究 4 オセアニア文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 フレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 共国史機論 I 2 米国史機論 I 2 米国史機論 I 2 米国史機論 I 2 米国交流論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 東大法 I 2 東大法 I 2 東大法 I 2 東田政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 米国社会 原研究特論 I 2 大田本会 原列 完計 I 2 大田本会 原列 完計 I 2 大田本会		演劇「実技」I	1
究分野) Topics in Canadian Studies 2 英国文化実地研究 4 水口でよりで変化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 マレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 History of the United States I 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 米国社会論 I 2 東法 I 2 英米法 I 2 東京法 I 2 東田政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会原書講読 I 2		演劇「実技」Ⅱ	1
英国文化実地研究 4 米国文化実地研究 4 オセアニア文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 マレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 横istory of the United States I 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国政治論 I 2 米国政治論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英来法 I 2 英来法 I 2 英田公論 I 2 英来法 I 2 英田公論 I 2 英田公論 I 2 英田公論 I 2 英田公論 I 2 英田公論 I 2 美国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更需要 2	(地域・国際研	Topics in Oceanian Studies	2
米国文化実地研究 4 オセアニア文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 マレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 共国史概論 I 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 美田大会論 I 2 美田大会 I 2 美田大会 II 2 美田大会 II 2 美田大会 II 2 美国政治・外交研究特論 I 2 米国社会 J、外交研究特論 I 2 米国社会 J、外域、新統 I 2 米国社会 J、外域、新統 I 2 米国社会 J、外域、新統 I 2 米国社会 J、外域、新統 I 2 米国社会 J、外域、J、外域、J、外域、J、外域、J、外域、J、外域、J、外域、J、外域	究分野)	Topics in Canadian Studies	2
オセアニア文化実地研究 4 カナダ文化実地研究 4 マレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 History of the United States I 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国外会論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会原書講託 I 2		英国文化実地研究	4
カナダ文化実地研究 4 マレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 英国史概論 I 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 米国政治·外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更新託 I 2		米国文化実地研究	4
マレーシア文化実地研究(英語) 4 英国史概論 I 2 History of the United States I 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論 II 2 米国政治論 I 2 米国外交論 II 2 米国外交論 II 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更需講読 I 2		オセアニア文化実地研究	4
英国史概論 I 2 英国史概論 II 2 History of the United States II 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 II 2 米国政治·外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会原書講託 I 2		カナダ文化実地研究	4
英国史概論Ⅱ 2 History of the United States I 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論Ⅱ 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国经済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英来法 I 2 英田政治 · 外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会 史研究特論 I 2 米国社会 史研究特論 I 2 米国社会 原書講話 I 2		マレーシア文化実地研究(英語)	4
History of the United States II 2 History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国收論 I 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英田社会論 I 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会 史研究特論 I 2 米国社会 史研究特論 I 2 米国社会 東京特論 I 2 米国社会 東講読 I 2		英国史概論 I	2
History of the United States II 2 米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英田政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会 史研究特論 II 2 米国社会 史研究特論 II 2 米国社会 東研究特論 II 2 米国社会 東研究特論 II 2		英国史概論Ⅱ	2
米国史概論 I 2 米国史概論 I 2 米国政治論 I 2 米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 II 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会原書講読 I 2		History of the United States I	2
**国史概論 II 2 **国政治論 II 2 **国外交論 I 2 **国外交論 II 2 **国経済論 I 2 **国社会論 I 2 **国社会論 II 2 英米法 I 2 英米法 I 2 **国政治・外交研究特論 I 2 **国社会史研究特論 I 2 **国社会史研究特論 I 2 **国社会更研究特論 I 2 **国社会更研究特論 I 2 **国社会原書講読 I 2		History of the United States II	2
米国政治論 II 2 米国外交論 I 2 米国外交論 II 2 米国経済論 I 2 米国経済論 II 2 米国社会論 I 2 英国社会論 II 2 英米法 I 2 英来法 II 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会 東研究特論 II 2 米国社会 原書講読 I 2		米国史概論 I	2
米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 米国政治·外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会原書講読 I 2		米国史概論Ⅱ	2
米国外交論 I 2 米国外交論 I 2 米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会原書講読 I 2		米国政治論 I	2
米国外交論 II 2 米国経済論 II 2 米国社会論 I 2 米国社会論 II 2 英米法 I 2 英米法 I 2 英米法 I 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会原書講読 I 2		米国政治論Ⅱ	2
米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 米国社会論 II 2 英米法 I 2 英米法 II 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会更研究特論 I 2 米国社会原書講読 I 2		米国外交論 I	2
米国経済論 I 2 米国社会論 I 2 米国社会論 II 2 英米法 I 2 英米法 II 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会原書講読 I 2		米国外交論Ⅱ	2
米国社会論 II 2 **大法 I 2 英米法 II 2 **大国政治・外交研究特論 I 2 **国政治・外交研究特論 II 2 **国社会史研究特論 I 2 **国社会史研究特論 II 2 **国社会更研究特論 II 2 **国社会原書講読 I 2		米国経済論 I	2
米国社会論Ⅱ 2 英米法Ⅱ 2 英米法Ⅱ 2 米国政治・外交研究特論Ⅱ 2 米国社会史研究特論Ⅱ 2 米国社会史研究特論Ⅱ 2 米国社会更研究特論Ⅱ 2 米国社会原書講読Ⅰ 2		米国経済論Ⅱ	2
英米法 I 2 英米法 II 2 米国政治·外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会原書講読 I 2		米国社会論 I	2
英米法II 2 米国政治·外交研究特論 II 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会原書講読 I 2		米国社会論Ⅱ	2
米国政治・外交研究特論 I 2 米国政治・外交研究特論 I 2 米国社会史研究特論 I 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会原書講読 I 2		英米法 I	2
米国政治・外交研究特論 II 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会史研究特論 II 2 米国社会原書講読 I 2		英米法Ⅱ	2
**国社会史研究特論 I 2 **国社会史研究特論 II 2 **国社会原書講読 I 2		米国政治·外交研究特論 I	2
**国社会史研究特論Ⅱ 2 **国社会原書講読Ⅰ 2		米国政治•外交研究特論 Ⅱ	2
米国社会原書講読 I 2		米国社会史研究特論 I	2
		米国社会史研究特論Ⅱ	2
米国社会原書講読Ⅱ 2		米国社会原書講読 I	2
		米国社会原書講読Ⅱ	2

日米関係論 I	2
日米関係論Ⅱ	2
アジア研究入門	2
中国社会事情 I	2
中国社会事情Ⅱ	2
中国史概論I	2
中国史概論Ⅱ	2
中国現代史I	2
中国現代史Ⅱ	2
中国経済概論 I	2
中国経済概論Ⅱ	2
中国政治外交概論 I	2
中国政治外交概論Ⅱ	2
中国社会研究 I	2
中国社会研究Ⅱ	2
中国経済研究 I	2
中国経済研究Ⅱ	2
中国政治外交研究 I	2
中国政治外交研究Ⅱ	2
海外華人論 I	2
海外華人論Ⅱ	2
日中関係論 I	2
日中関係論Ⅱ	2
韓国史概論I	2
韓国史概論Ⅱ	2
日韓関係史 I	2
日韓関係史Ⅱ	2
韓国政治論I	2
韓国政治論Ⅱ	2
韓国経済論I	2
韓国経済論Ⅱ	2
韓国近代史I	2
韓国近代史Ⅱ	2
韓国史特講I	2
韓国史特講Ⅱ	2
	 ·

1			ı
	インドネシア研究入門		2
	インドネシアの歴史		2
	インドネシアの宗教・社会		2
	インドネシアの政治・経済 I		2
	インドネシアの政治・経済 Ⅱ		2
	ベトナム研究入門		2
	ベトナムの歴史		2
	ベトナムの宗教・社会		2
	ベトナムの政治・経済 I		2
	ベトナムの政治・経済Ⅱ		2
	タイ研究入門		2
	タイの歴史		2
	タイの宗教・社会		2
	タイの政治・経済 I		2
	タイの政治・経済Ⅱ		2
	東南アジア研究入門 I		2
	東南アジア研究入門Ⅱ		2
	東南アジア史Ⅰ		2
	東南アジア史Ⅱ		2
	東南アジア社会論 I		2
	東南アジア社会論Ⅱ		2
	東南アジア政治経済論 I		2
	東南アジア政治経済論Ⅱ		2
	イベリア史概論 I	2	
	イベリア史概論 Ⅱ	2	
	現代イベリア研究 I		2
	現代イベリア研究Ⅱ		2
	イベロアメリカの法と文化 I		2
	イベロアメリカの法と文化Ⅱ		2
	ラテンアメリカ史概論 I	2	
	ラテンアメリカ史概論Ⅱ	2	
	現代ラテンアメリカ研究 I		2
	現代ラテンアメリカ研究Ⅱ		2
	ラテンアメリカ政治論 I		2
	ラテンアメリカ政治論Ⅱ		2
1		L	<u>I</u>

ラテンアメリカ経済論 II 2 メキシコ研究 II 2 ブラジル研究入門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの歴史 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2	
メキシコ研究 II 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの歴史 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際共会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2	
ブラジル研究入門 2 ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの歴史 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係 原財 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2	
ブラジルの民族・地理 2 ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ポルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2 国際経済論 I 2	
ブラジルの歴史 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ボルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係 B I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2	
ブラジルの政治・経済 I 2 ブラジルの政治・経済 II 2 ポルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2	
ブラジルの政治・経済 II 2 ポルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係東 II 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2	
ポルトガル語圏の世界 2 国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係論 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2	
国際社会が見えてくる 2 国際関係史 I 2 国際関係東 II 2 国際関係論 II 2 国際社会論 I 2 国際社会論 II 2 国際経済論 I 2	
国際関係史 I 2 国際関係史 II 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 I 2 国際経済論 I 2	
国際関係史Ⅱ 2 国際関係論Ⅱ 2 国際社会論Ⅰ 2 国際社会論Ⅱ 2 国際社会論Ⅱ 2 国際経済論Ⅰ 2	
国際関係論 I 2 国際関係論 I 2 国際社会論 I 2 国際社会論 II 2 国際経済論 I 2	
国際関係論 II 2 国際社会論 I 2 国際社会論 II 2 国際経済論 I 2	
国際社会論 I 2 国際社会論 II 2 国際経済論 I 2	
国際社会論Ⅱ 2 国際経済論Ⅰ 2	
国際経済論 I 2	
国際経済論Ⅱ 2	
国際法 I 2	
国際法Ⅱ 2	
国際機構論 I 2	
国際機構論 Ⅱ 2	
国際ビジネス法 I 2	
国際ビジネス法 II 2	
国際マーケティング論 I 2	
国際マーケティング論Ⅱ 2	
国際協力論 I 2	
国際協力論 II 2	
国際平和論 I 2	
国際平和論Ⅱ 2	
国際開発論 I 2	
国際開発論 Ⅱ 2	
The History of Modern Japan 2	
The History of Premodern Japan 2	

Japan in the Asian Context Japanese Politics 2 2 2 2 2 2 2 2 2	International Relations:	
日本近代史 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2	Japan in the Asian Context	2
日本現代史 日本政治論 I 日本政治論 I 日本政治論 I 日本経済論 I 日本経済論 I 日本社会論 I 日本社会論 I 日本社会論 I 日本社会論 I 日本外交史 I 日本外交史 I 日本外交史 I 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I ヨーロッパ政治経済論 I ヨーロッパ政治経済論 I フブリカ研究入門 I アリカ研究入門 I アリカ研究入門 I アリカ研究入門 I 2 社会思想史 I 担は研究 2 社会思想史 I 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 理検科学 I 2 産業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 に素明発営論 I 2 に素明経営論 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を表述 I 2 に表明を経済 I 2 に表明を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	Japanese Politics	2
日本政治論 I 2 1 日本政治論 I 2 1 日本政治論 I 2 1 日本経済論 I 2 1 日本経済論 I 2 2 日本経済論 I 2 2 日本社会論 I 2 1 日本社会論 I 2 1 日本外交史 I 2 1 日本外交史 I 2 1 東アジア政治経済論 I 2 2 東アジア政治経済論 I 2 2 1 東アジア政治経済論 I 2 2 1 東アジア政治経済論 I 2 2 1 東アジア政治経済論 I 2 2 1 東アジア政治経済論 I 2 2 1 1 日本政 所	日本近代史	2
日本政治論 I 2 2 日本経済論 I 2 2 日本経済論 I 2 2 日本経済論 I 2 2 日本社会論 I 2 日本社会論 I 2 2 日本社会論 I 2 2 日本外交史 I 2 2 日本外交史 I 2 2 日本外交史 I 2 2 東アジア政治経済論 I 2 2 東アジア政治経済論 I 2 2 アフリカ研究入門 I 2 2 アフリカ研究入門 I 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	日本現代史	2
日本経済論Ⅱ 2 2 日本経済論Ⅱ 2 2 日本社会論Ⅱ 2 2 日本社会論Ⅱ 2 2 日本社会論Ⅱ 2 2 日本社会論Ⅲ 2 2 日本外交史Ⅱ 2 2 日本外交史Ⅱ 2 2 日本外交史Ⅲ 2 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 2 フリカ研究入門Ⅱ 2 2 フリカ研究入門Ⅱ 2 2 2 社会思想史Ⅱ 2 2 社会思想史Ⅱ 2 2 社会思想史Ⅱ 2 2 現代国家論Ⅱ 2 2 現代国家論Ⅱ 2 2 環境科学Ⅱ 2 2 環境科学Ⅱ 2 2 深境科学Ⅱ 2 2 深境科学Ⅱ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	日本政治論 I	2
日本経済論Ⅱ 2 日本社会論Ⅱ 2 日本社会論Ⅱ 2 日本社会論Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 オプリカ研究人門Ⅱ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 社会思想史Ⅱ 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 建会調査法Ⅱ 2 建済科学Ⅱ 2 定業研究Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 「実済科学Ⅲ 2 「実済科学Ⅲ 2 「実済科学Ⅲ 2 「実済科学Ⅲ 2 「実済科学Ⅲ 2 「実済科学Ⅲ 2 「実済科学Ⅱ 2 「ままま記】 2 「まままま記】 2 「ままま記】 2 「ままま記】 2 「まままま記】 2 「まままま記】 2 「まままま記】 2 「まままま記】 2 「まままま記】 2 「まままま記】 2 「ままままま記】 2 「まままま記】 2 「まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	日本政治論Ⅱ	2
日本社会論 I 2 日本社会論 I 2 日本外交史 I 2 日本外交史 I 2 日本外交史 I 2 東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッハ政治経済論 I 2 ヨーロッハ政治経済論 I 2 コーロッハ政治経済論 I 2 コーロッハ政治経済論 I 2 コーロッハ政治経済論 I 2 オアリカ研究入門 I 2 大アリカ研究入門 I 2 社会思想史 I 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 報発学 I 2 保療科学 I 2 保療科学 I 2 保療科学 I 2 保療科学 I 2 全業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 富務経営論 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	日本経済論I	2
日本社会論 I 2 日本外交史 I 2 東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 アフリカ研究人門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 投会調查法 I 2 環境科学 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 簿記会計 I 2 國際経営論 I 2 国際経営論 I 2	日本経済論Ⅱ	2
日本外交史Ⅱ 2 日本外交史Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 東アジア政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅱ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 ヨーロッパ政治経済論Ⅲ 2 アフリカ研究入門Ⅱ 2 大フリカ研究入門Ⅱ 2 地域研究 2 社会思想史Ⅱ 2 社会思想史Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 現代国家論Ⅱ 2 東発科学Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 企業研究Ⅱ 2 産業研究Ⅱ 2 軍記会計Ⅱ 2 国際経営論Ⅱ 2 国際経営論Ⅱ 2 国際経営論Ⅱ 2 国際経営論Ⅱ 2	日本社会論 I	2
日本外交史Ⅱ 東アジア政治経済論 I 東アジア政治経済論 I ヨーロッパ政治経済論 I ヨーロッパ政治経済論 I ヨーロッパ政治経済論 I フフリカ研究入門 I アフリカ研究入門 I 地域研究 社会思想史 I 社会思想史 I 現代国家論 I 現代国家論 I 現代国家論 I 全 対会調査法 I 全 対会調査法 I 会・調査 I 環境科学 I 環境科学 I 定・業研究 I 企業研究 I 企業研究 I 海記会計 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 国際経営論 I 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	日本社会論Ⅱ	2
東アジア政治経済論 I 2 東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 アフリカ研究入門 I 2 北会思想史 I 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 I 2 東境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 確記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	日本外交史 I	2
東アジア政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 I 2 ヨーロッパ政治経済論 II 2 アフリカ研究入門 I 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調查法 I 2 東境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 海記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	日本外交史Ⅱ	2
ヨーロッパ政治経済論 I 2 2 2 2 2 2 2 2 2	東アジア政治経済論 I	2
ヨーロッパ政治経済論	東アジア政治経済論Ⅱ	2
アフリカ研究入門 I 2 アフリカ研究入門 II 2 地域研究 2 社会思想史 I 2 現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調査法 I 2 社会調査法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	ヨーロッパ政治経済論 I	2
アフリカ研究入門II 2 地域研究 2 社会思想史I 2 現代国家論I 2 現代国家論II 2 社会調査法I 2 環境科学 I 2 虚業研究 I 2 企業研究 I 2 海記会計 I 2 事記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	ヨーロッパ政治経済論Ⅱ	2
地域研究 2 社会思想史 I 2 社会思想史 II 2 現代国家論 I 2 社会調查法 I 2 社会調查法 I 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 衛記会計 I 2 實際経営論 I 2 国際経営論 I 2	アフリカ研究入門 I	2
社会思想史 I 2 社会思想史 II 2 現代国家論 I 2 社会調查法 I 2 社会調查法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 I 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	アフリカ研究入門Ⅱ	2
社会思想史 II 2 現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調查法 I 2 環境科学 I 2 環境科学 II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	地域研究	2
現代国家論 I 2 現代国家論 II 2 社会調査法 II 2 環境科学 I 2 環境科学 II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 II 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	社会思想史 I	2
現代国家論 II 2 社会調査法 I 2 社会調査法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	社会思想史Ⅱ	2
社会調査法 I 2 社会調査法 II 2 環境科学 I 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	現代国家論 I	2
社会調査法Ⅱ 2 環境科学 II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	現代国家論Ⅱ	2
環境科学 I 2 環境科学 II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	社会調査法 I	2
環境科学 II 2 企業研究 I 2 企業研究 II 2 簿記会計 I 2 事記会計 II 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	社会調査法Ⅱ	2
企業研究 I 2 企業研究 I 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	環境科学I	2
企業研究 II 2 簿記会計 I 2 簿記会計 II 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	環境科学Ⅱ	2
簿記会計 I 2 簿記会計 II 2 国際経営論 I 2 国際経営論 II 2	企業研究 I	2
簿記会計Ⅱ 2 国際経営論Ⅰ 2 国際経営論Ⅱ 2	企業研究Ⅱ	2
国際経営論 I 2 国際経営論 I 2	簿記会計 I	2
国際経営論 II 2	簿記会計Ⅱ	2
	国際経営論I	2
マーケティングリサーチ 2	国際経営論Ⅱ	2
	マーケティングリサーチ	2

		アントレプレナーシップ論	2
		企業行動論 I	2
		企業行動論Ⅱ	2
		企業財務 I	2
		企業財務Ⅱ	2
		民法概論I	2
		民法概論Ⅱ	2
		商法概論I	2
		商法概論Ⅱ	2
		米国契約法	2
		法と国際ビジネス	2
研	国際コミュニケー	- -ション学科	
究	(言語研究分	英語学概論	4
科	野)	英語音声学	4
目		Outline of English Phonetics	4
		英語音韻論	4
		英語統語論 I	4
		英語統語論Ⅱ	4
		英語意味論	4
		現代英文法	4
		英語習得法	4
		Ways of Learning English	4
		第二言語習得研究	4
		Issues in Second Language Acquisition	4
		英語談話分析	4
		Introduction to Discourse Analysis	4
		英語史	4
		古期中期英語	4
		教育英文法基礎	2
		外国語評価法	2
		TESOL(英語教授法)海外研修	4
		英語語法研究	4
		Introduction to English Sentence	2
		Structures	Δ

Introduction to Language and	0
Communication	2
Issues in Applied Linguistics	4
Topics in Sociolinguistics	4
日英語対照研究	4
認知発達と英語教育	4
児童英語教育論	4
児童英語指導法	4
児童英語教育カリキュラムデザイン	4
児童英語教育実習(船橋)	2
児童英語教育実習(沖縄)	2
児童英語海外実習	2
中国語学概論 I	2
中国語学概論Ⅱ	2
中国語文法論 I	2
中国語文法論Ⅱ	2
中国語語彙論 I	2
中国語語彙論Ⅱ	2
中国語音韻論 I	2
中国語音韻論Ⅱ	2
中国語音声学 I	2
中国語音声学Ⅱ	2
中国語史 I	2
中国語史Ⅱ	2
日中比較言語 I	2
日中比較言語Ⅱ	2
広東語 I	2
広東語Ⅱ	2
福建語 I	2
福建語Ⅱ	2
韓国語学概論 I	2
韓国語学概論Ⅱ	2
韓国語文法論 I	2
韓国語文法論Ⅱ	2
日韓対照言語研究 I	2

日韓対照言語研究Ⅱ	2
韓国語学特講 I	2
韓国語学特講Ⅱ	2
韓国語社会言語学 I	2
韓国語社会言語学Ⅱ	2
韓国語文章表現法	2
韓国語意味論	2
韓国語史 I	2
韓国語史Ⅱ	2
東南アジア言語概論 I	2
東南アジア言語概論Ⅱ	2
スペイン語学概論 I	2
スペイン語学概論Ⅱ	2
スペイン語音声学 I	2
スペイン語音声学Ⅱ	2
スペイン語史 I	2
スペイン語史Ⅱ	2
アメリカスペイン語特殊研究 I	2
アメリカスペイン語特殊研究Ⅱ	2
日西語対照研究 I	2
日西語対照研究Ⅱ	2
商業スペイン語 I	2
商業スペイン語Ⅱ	2
ポルトガル語学概論 I	2
ポルトガル語学概論Ⅱ	2
The Languages of Japan I	2
The Languages of Japan II	2
日本語学概論	4
日本語学 I	4
日本語学Ⅱ	4
日本語学特論	4
日本語教育概論	2
日本語教授法	4
日本語教育実習	2
日本語表現法 I	2
-	

ı		
	日本語表現法Ⅱ	2
	社会言語学 I	4
	社会言語学Ⅱ	4
	心理言語学	4
	応用言語学	4
	意味•語用論	4
	言語学特別研究	4
	言語哲学 I	2
	言語哲学Ⅱ	2
	西洋古典語概論 I	2
	西洋古典語概論Ⅱ	2
	Public Speaking	4
(コミュニケーシ	Debate	4
ョン研究分野)	Small Group Communication	4
	日米コミュニケーション論	4
	英語オーラルインタープリテーション	4
	英語説得コミュニケーション論	4
	日英翻訳法 I	4
	日英翻訳法Ⅱ	4
	英日翻訳法I	4
	英日翻訳法Ⅱ	4
	英語通訳法 I	4
	英語通訳法Ⅱ	4
	英語通訳法Ⅲ	4
	英語通訳法IV	4
	英語映像翻訳法	4
	コミュニティー英語通訳法	4
	Theories of Translation and Interpreting	4
	通訳・翻訳理論(英語)	4
	ビジネス中国語 I (a)	2
	ビジネス中国語 I (b)	2
	ビジネス中国語Ⅱ(a)	2
	ビジネス中国語Ⅱ(b)	2
	中国語通訳法 I (a)	2
	中国語通訳法 I (b)	2
I		 ı

中国語通訳法Ⅱ(a)			2
中国語通訳法Ⅱ(b)			2
韓国語映像翻訳法 I			2
韓国語映像翻訳法Ⅱ			2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論 I			2
スペイン語圏マス・コミュニケーション論Ⅱ			2
スペイン語スピーチ・コミュニケーション [2
スペイン語スピーチ・コミュニケーション Ⅱ			2
スペイン語通訳法 I			2
スペイン語通訳法 Ⅱ			2
スペイン語翻訳法 I			2
スペイン語翻訳法Ⅱ			2
スペイン語映像翻訳法 I			2
スペイン語映像翻訳法Ⅱ			2
コミュニケーション論 I	2		
コミュニケーション論 Ⅱ			2
異文化コミュニケーション論 I	2		
異文化コミュニケーション論Ⅱ			2
組織コミュニケーション論 I			2
組織コミュニケーション論 Ⅱ			2
メディア・コミュニケーション表現 [2
メディア・コミュニケーション表現 Ⅱ			2
デジタル・メディアとコミュニケーション I			2
デジタル・メディアとコミュニケーションⅡ			2
メディア文化論 Ι			2
メディア文化論 Ⅱ			2
非言語コミュニケーション論 I			2
非言語コミュニケーション論Ⅱ			2
対人コミュニケーション論			2
Leadership Communication I		2	
Leadership Communication II		2	
国際ビジネス・コミュニケーション論 I			2
国際ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ			2
日本語プレゼンテーション			4

i		1	ı
	日本語ディベート		4
	日本語スモールグループ・コミュニケーショ		4
	ン		1
	コミュニケーション論特講 I		2
	コミュニケーション論特講Ⅱ		2
	レトリカルコミュニケーション論		2
	多文化社会コミュニケーション論 I		2
	多文化社会コミュニケーション論 Ⅱ		2
	通訳・翻訳への招待		2
	日中通訳法 I		4
	日中通訳法Ⅱ		4
	日韓·韓日通訳法 I		2
	日韓•韓日通訳法Ⅱ		2
	デジタル・メディアと社会 I		2
	デジタル・メディアと社会Ⅱ		2
	ジャーナリズム論 I		2
	ジャーナリズム論Ⅱ		2
	Media and Japanese Society		2
	メディアリテラシー		2
	メディア研究法 I		2
	メディア研究法Ⅱ		2
	ウェブデザイン I		2
	ウェブデザインⅡ		2
	メディア表現論 I		2
	メディア表現論 Ⅱ		2
	ソフトウェアデザイン I		2
	ソフトウェアデザインⅡ		2
	グラフィックデザイン I		2
	グラフィックデザイン Ⅱ		2
	プログラミング I		2
	プログラミング Ⅱ		2
(総合文化研究	英文学研究 I		2
分野)	英文学研究Ⅱ		2
	米文学研究 I		2
			2

米国文化論 I	2
米国文化論Ⅱ	2
米国文化原書講読 I	2
米国文化原書講読Ⅱ	2
中国思想概論 I	2
中国思想概論Ⅱ	2
中国文化概論 I	2
中国文化概論Ⅱ	2
中国文学概論 I	2
中国文学概論Ⅱ	2
中国文学史 I	2
中国文学史Ⅱ	2
中国古典講読I	2
中国古典講読Ⅱ	2
中国近世文学研究 I	2
中国近世文学研究Ⅱ	2
中国近代文学研究 I	2
中国近代文学研究Ⅱ	2
中国現代文学研究 I	2
中国現代文学研究Ⅱ	2
韓国文化概論 I	2
韓国文化概論Ⅱ	2
韓国の宗教・社会 I	2
韓国の宗教・社会Ⅱ	2
韓国文化特定研究 I	2
韓国文化特定研究Ⅱ	2
韓国映像文化論 I	2
韓国映像文化論Ⅱ	2
韓国現代文学研究 I	2
韓国現代文学研究Ⅱ	2
インドネシアの文化・芸術	2
インドネシアの民族・地理	2
ベトナムの文化・芸術	2
ベトナムの民族・地理	2
タイの文化・芸術	2

タイの民族・地理		2
東南アジアの宗教と文化 I		2
東南アジアの宗教と文化Ⅱ		2
スペイン文学史 I		2
スペイン文学史Ⅱ		2
スペイン文化研究 I		2
スペイン文化研究 Ⅱ		2
現代スペイン文学 I		2
現代スペイン文学Ⅱ		2
現代ラテンアメリカ文学 I		2
現代ラテンアメリカ文学Ⅱ		2
ラテンアメリカ文学特殊研究 I		2
ラテンアメリカ文学特殊研究Ⅱ		2
ラテンアメリカの文化と文学		2
スペイン美術史 I		2
スペイン美術史Ⅱ		2
ブラジルの文化・芸術		2
ブラジルの宗教・社会		2
日本文化論 I	2	
日本文化論Ⅱ		2
日本近代思想史 I		2
日本近代思想史Ⅱ		2
日本倫理思想史 I		2
日本倫理思想史Ⅱ		2
日本の宗教 I		2
日本の宗教Ⅱ		2
日本美術史I		2
日本美術史Ⅱ		2
日本芸能史I		2
日本芸能史Ⅱ		2
日本文学論 I		2
日本文学論Ⅱ		2
日本大衆文化論		2
Tourism and Local Cultures of Japan		2
Japanese Religions		2

The Literatures of Japan	2
Japanese Popular Cultures	2
民族と文化 I (a)	2
民族と文化 I (b)	2
民族と文化 II (a)	2
民族と文化 II (b)	2
文化について考える	2
比較文明論 I	2
比較文明論Ⅱ	2
比較思想 I	2
比較思想Ⅱ	2
比較文学概論 I	2
比較文学概論Ⅱ	2
日英比較文化論 I	2
日英比較文化論Ⅱ	2
日米比較文化論 I	2
日米比較文化論Ⅱ	2
日米比較教育論	2
民族·宗教問題研究	2
キリスト教文化論 I	2
キリスト教文化論Ⅱ	2
イスラム文化論 I	2
イスラム文化論 Ⅱ	2
文化心理学 I	2
文化心理学Ⅱ	2
スポーツ文化論 I	2
スポーツ文化論Ⅱ	2
文化人類学概論 I	2
文化人類学概論Ⅱ	2
文化人類学研究 I	2
文化人類学研究Ⅱ	2
身体運動文化論	2
健康科学論	2
人権論	2
ジェンダー論	2

	アート・マネジメント	2
	児童文化論	4
	演劇「実技」I	1
	演劇「実技」Ⅱ	1
(地域・国際研	Topics in Oceanian Studies	2
究分野)	Topics in Canadian Studies	2
	英国文化実地研究	4
	米国文化実地研究	4
	オセアニア文化実地研究	4
	カナダ文化実地研究	4
	マレーシア文化実地研究(英語)	4
	英国史概論 I	2
	英国史概論Ⅱ	2
	History of the United States I	2
	History of the United States II	2
	米国史概論 I	2
	米国史概論Ⅱ	2
	米国政治論 I	2
	米国政治論Ⅱ	2
	米国外交論 I	2
	米国外交論Ⅱ	2
	米国経済論 I	2
	米国経済論Ⅱ	2
	米国社会論 I	2
	米国社会論Ⅱ	2
	英米法 I	2
	英米法Ⅱ	2
	米国政治·外交研究特論 I	2
	米国政治・外交研究特論Ⅱ	2
	米国社会史研究特論 I	2
	米国社会史研究特論Ⅱ	2
	米国社会原書講読 I	2
	米国社会原書講読Ⅱ	2
	日米関係論 I	2
	日米関係論Ⅱ	2

Í	į			1
		アジア研究入門		2
		中国社会事情 I		2
	_	中国社会事情Ⅱ		2
		中国史概論I		2
		中国史概論Ⅱ		2
		中国現代史 I		2
		中国現代史Ⅱ		2
		中国経済概論I		2
		中国経済概論Ⅱ		2
		中国政治外交概論 I		2
		中国政治外交概論Ⅱ		2
		中国社会研究 I		2
		中国社会研究Ⅱ		2
		中国経済研究 I		2
		中国経済研究Ⅱ		2
		中国政治外交研究 I		2
		中国政治外交研究Ⅱ		2
		海外華人論 I		2
		海外華人論Ⅱ		2
		日中関係論 I		2
		日中関係論Ⅱ		2
		韓国史概論Ⅰ		2
		韓国史概論Ⅱ		2
		日韓関係史 I		2
		日韓関係史Ⅱ		2
		韓国政治論 I		2
		韓国政治論Ⅱ		2
		韓国経済論I		2
		韓国経済論Ⅱ		2
		韓国近代史I		2
		韓国近代史Ⅱ		2
		韓国史特講 I		2
		韓国史特講Ⅱ		2
		インドネシア研究入門		2
		インドネシアの歴史		2
	<u> </u>		•	

インドネシアの政治・経済 I 2 インドネシアの政治・経済 II 2 ベトナムの歴史 2 ベトナムの政治・経済 I 2 ベトナムの政治・経済 II 2 タイの政治・経済 II 2 タイの政治・経済 II 2 タイの政治・経済 II 2 タイの政治・経済 II 2 東南アシア研究人門 I 2 東南アシア研究人門 II 2 東南アシア 文・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	インドネシアの宗教・社会	2
ペトナム研究人門 ペトナムの歴史 ペトナムの変称・社会 ペトナムの変称・社会 ペトナムの変称・経済 I ペトナムの変称・経済 I タイ研究人門 タイの歴史 タイの宗教・社会 タイの宗教・社会 タイの政治・経済 I タイの政治・経済 I 東南アジア研究人門 I 東南アジア研究人門 I 東南アジア東 I 東南アジア史 I 東南アジア大会論 I 東南アジア政治経済論 I イベリア史概論 I スペリア史機論 I 現代グテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカの法と文化 I フテンアメリカの張と文化 I フテンアメリカの張と文化 I フテンアメリカの張と文化 I フテンアメリカの張と文化 I フテンアメリカ研究 I 現代グテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカ研究 I フテンアメリカの法と文化 I フテンアメリカの強治 I フテンアメリカの治と文化 I フテンアメリカの流と文化 I フテンアメリカの対論 I フテンアメリカ政治論 I	インドネシアの政治・経済 I	2
ペトナムの歴史 2 ペトナムの政治・経済 I 2 ペトナムの政治・経済 I 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア東 I 2 東南アジア史 I 2 東南アジア 社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア 政治経済論 I 2 イペロア 以为施済済論 I 2 イペリア 史機論 I 2 現代イペリア研究 I 2 オペロア 以力の法と文化 I 2 フテンア 以力 史機論 I 2 フテンア メリカ 安機論 I 2 フテンア メリカ 研究 I 2 フテンア メリカ政治論 I 2 ラテンア メリカ政治論 I 2 ラテンア メリカ政治論 I 2	インドネシアの政治・経済Ⅱ	2
ペトナムの疾治・経済 I 2 ペトナムの政治・経済 I 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア東 I 2 東南アジア東 I 2 東南アジア東 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベアメリカ研究入門 2 イベリア 規稿論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 ラテンアメリカの法と文化 I 2 フテンアメリカの接着 I 2 現代ラテンアメリカ政治論 I 2 ラデンアメリカ政治論 I 2	ベトナム研究入門	2
ペトナムの政治・経済 I 2 タイ研究入門 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 本南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア 研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 ラテンアメリカ皮機論 I 2 現代ラテンアメリカ東機論 I 2 現代ラテンアメリカ政治論 I 2 現代ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	ベトナムの歴史	2
ペトナムの政治・経済Ⅱ 2 タイ研究入門 2 タイの環境・社会 2 タイの政治・経済Ⅱ 2 東南アジア研究入門Ⅱ 2 東南アジア研究入門Ⅱ 2 東南アジア史Ⅱ 2 東南アジア社会論Ⅱ 2 東南アジア社会論Ⅱ 2 東南アジア政治経済論Ⅱ 2 本向アジア政治経済論Ⅱ 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア更概論Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ映機論Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ研究Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ政治論Ⅱ 2 ラデンアメリカ政治論Ⅱ 2 ラデンアメリカ政治論Ⅱ 2	ベトナムの宗教・社会	2
タイ研究人門 2 タイの歴史 2 タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア東 I 2 東南アジア東 I 2 東南アジア 文 I 2 東南アジア 大 I 2 東南アジア 大 I 2 東南アジア 政 A 経済論 I 2 東南アジア 政 A 経済論 I 2 東南アジア 政 A 経済論 I 2 イベロア メリカ研究人門 2 イベリア 研究 I 2 現代イベリア 研究 I 2 イベロア メリカの法と文化 I 2 ラテンア メリカ 史 概論 I 2 現代ラテンア メリカ 研究 I 2 現代ラテンア メリカ 研究 I 2 現代ラテンア メリカ 研究 I 2 ラテンア メリカ 政 治論 I 2 ラテンア メリカ 政 治論 I 2	ベトナムの政治・経済 I	2
タイの歴史 2 タイの変治・経済 I 2 タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア東 I 2 東南アジア 史 II 2 東南アジア 社会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア 史 概論 I 2 現代イペリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 マテンアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカの機能 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	ベトナムの政治・経済Ⅱ	2
タイの政治・経済 I 2 タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア東 I 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア 映 機論 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ更機論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラデンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	タイ研究入門	2
タイの政治・経済 I 2 東南アジア研究入門 I 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア史 I 2 東南アジア大会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 ラテンアメリカ更概論 I 2 現代ラテンアメリカ要 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ政治論 I 2 ラデンアメリカ政治論 I 2	タイの歴史	2
タイの政治・経済 II 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア研究入門 II 2 東南アジア史 II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 ラデンアメリカ映機論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	タイの宗教・社会	2
東南アジア研究入門II 2 東南アジア史II 2 東南アジア史II 2 東南アジア社会論II 2 東南アジア社会論II 2 東南アジア政治経済論II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論II 2 現代イベリア研究II 2 イベロアメリカの法と文化II 2 ラテンアメリカ更概論II 2 現代ラテンアメリカ研究II 2 現代ラテンアメリカ研究II 2 ラデンアメリカ研究II 2 ラデンアメリカ政治論II 2 ラデンアメリカ政治論II 2 ラデンアメリカ政治論II 2	タイの政治・経済 I	2
東南アジア研究入門Ⅱ 2 2 1 東南アジア史 I 2 2 1 東南アジア史 I 2 2 1 東南アジア史 II 2 2 1 東南アジア社会論 I 2 2 1 東南アジア社会論 I 2 2 1 東南アジア政治経済論 I 2 2 1 東南アジア政治経済論 I 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	タイの政治・経済Ⅱ	2
東南アジア史I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア 映概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ 史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	東南アジア研究入門 I	2
東南アジア史II 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イペリア研究 I 2 現代イペリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 オベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	東南アジア研究入門Ⅱ	2
東南アジア社会論 II 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 II 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 ラテンアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ安概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	東南アジア史 I	2
東南アジア社会論 I 2 東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	東南アジア史Ⅱ	2
東南アジア政治経済論 I 2 東南アジア政治経済論 II 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラデンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	東南アジア社会論 I	2
東南アジア政治経済論Ⅱ 2 イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅱ 2 ラテンアメリカの法と文化Ⅲ 2 ラテンアメリカ史概論Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ研究Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ研究Ⅱ 2 ラテンアメリカ研究Ⅱ 2 ラテンアメリカ政治論Ⅰ 2 ラテンアメリカ政治論Ⅱ 2	東南アジア社会論Ⅱ	2
イベロアメリカ研究入門 2 イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	東南アジア政治経済論I	2
イベリア史概論 I 2 現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	東南アジア政治経済論Ⅱ	2
オベリア史概論Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 現代イベリア研究Ⅱ 2 イベロアメリカの法と文化Ⅰ 2 ラテンアメリカ史概論Ⅰ 2 ラデンアメリカ史概論Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ研究Ⅱ 2 現代ラテンアメリカ研究Ⅱ 2 ラテンアメリカ政治論Ⅰ 2 ラテンアメリカ政治論Ⅱ 2	イベロアメリカ研究入門	2
現代イベリア研究 I 2 現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 I 2 オベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	イベリア史概論 I	2
現代イベリア研究 II 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 ラテンアメリカ 映概論 II 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	イベリア史概論Ⅱ	2
イベロアメリカの法と文化 I 2 イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 ラテンアメリカ研究 I 2 ラテンアメリカ研究 I 2 ラテンアメリカ政治論 I 2	現代イベリア研究 I	2
イベロアメリカの法と文化 II 2 ラテンアメリカ史概論 I 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	現代イベリア研究Ⅱ	2
ラテンアメリカ史概論 I 2 ラテンアメリカ映論 II 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	イベロアメリカの法と文化 I	2
ラテンアメリカ史概論 II 2 現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	イベロアメリカの法と文化Ⅱ	2
現代ラテンアメリカ研究 I 2 現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	ラテンアメリカ史概論 I	2
現代ラテンアメリカ研究 II 2 ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	ラテンアメリカ史概論Ⅱ	2
ラテンアメリカ政治論 I 2 ラテンアメリカ政治論 II 2	現代ラテンアメリカ研究 I	2
ラテンアメリカ政治論Ⅱ 2	現代ラテンアメリカ研究Ⅱ	2
	ラテンアメリカ政治論 I	2
ラテンアメリカ経済論 I 2	ラテンアメリカ政治論Ⅱ	2
	ラテンアメリカ経済論 I	2

フランアメリカ経済論 II メキシコ研究 I メキシコ研究 I フラジル研究入門 ブラジルの民族・地理 ブラジルの政治・経済 I ブラジルの政治・経済 II ボルトガル 語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際接済論 I 国際接済論 I 国際接済論 I 国際接済論 I 国際法 I 国際とジネス法 I 国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 II	
メキシコ研究 I ブラジルの民族・地理 ブラジルの歴史 ブラジルの政治・経済 I ブラジルの政治・経済 I ボルトガル語圏の世界 国際関係史 I 国際関係 E 国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際共 I 国際共 I 国際共 I 国際共 I 国際 J 国際 J 国際 J 国際 J 国際 J 国際 J 国際 J 国際 J 国際 J 国際 D 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財 財	2
ブラジルの民族・地理 ブラジルの民族・地理 ブラジルの政治・経済 I ブラジルの政治・経済 I ボルトガル語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済 I 国際経済 I 国際経済 I 国際経済 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I	2
ブラジルの民族・地理 ブラジルの民族・地理 ブラジルの政治・経済 I ブラジルの政治・経済 I ボルトガル語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際接済論 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I	2
ブラジルの歴史 ブラジルの政治・経済 I ブラジルの政治・経済 II ボルトガル語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係 E 国際関係論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際接済 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I	2
ブラジルの政治・経済 I プラジルの政治・経済 I ポルトガル語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I	2
プラジルの政治・経済 II ポルトガル語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 II 国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際社会論 II 国際社会論 II 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際接済 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際 (2
ポルトガル語圏の世界 国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際接済論 I 国際法 I	2
国際社会が見えてくる 国際関係史 I 国際関係史 I 国際関係	2
国際関係史 I 国際関係	2
国際関係史 II 国際関係論 I 国際関係論 II 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I	2
国際関係論 I 国際関係論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I	2
国際関係論 II 国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 I 国際経済論 II 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I	2
国際社会論 I 国際社会論 I 国際経済論 I 国際経済論 II 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際法 II 国際機構論 I 国際機構論 I 国際でジネス法 I	2
国際社会論Ⅱ 国際経済論Ⅱ 国際経済論Ⅲ 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 I	2
国際経済論 I 国際経済論 I 国際法 I 国際法 I 国際法 I 国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I	2
国際経済論Ⅱ 国際法Ⅱ 国際法Ⅲ 国際機構論 I 国際機構論Ⅲ 国際でジネス法 I 国際でジネス法 I	2
国際法 I 国際法 II 国際機構論 I 国際機構論 II 国際でジネス法 I 国際でジネス法 I	2
国際法Ⅱ 国際機構論 I 国際機構論 I 国際でジネス法 I 国際でジネス法 I	2
国際機構論 I 国際機構論 I 国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 I	2
国際機構論Ⅱ 国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 II	2
国際ビジネス法 I 国際ビジネス法 II	2
国際ビジネス法Ⅱ	2
	2
	2
国際マーケティング論 I	2
国際マーケティング論Ⅱ	2
国際協力論 I	2
国際協力論Ⅱ	2
国際平和論I	2
国際平和論Ⅱ	2
国際開発論I	2
国際開発論Ⅱ	2
The History of Modern Japan	2
The History of Premodern Japan	2

International Relations:			0
Japan in the Asian Context			2
Japanese Politics			2
日本近代史		2	
日本現代史		2	
日本政治論 I			2
日本政治論Ⅱ			2
日本経済論 I			2
日本経済論Ⅱ			2
日本社会論 I			2
日本社会論Ⅱ			2
日本外交史 I			2
日本外交史Ⅱ			2
東アジア政治経済論 I			2
東アジア政治経済論Ⅱ			2
ヨーロッパ政治経済論 I			2
ヨーロッパ政治経済論Ⅱ			2
アフリカ研究入門 I			2
アフリカ研究入門 Ⅱ			2
地域研究			2
社会思想史 I			2
社会思想史Ⅱ			2
現代国家論 I			2
現代国家論Ⅱ			2
社会調査法 I			2
社会調査法Ⅱ			2
環境科学Ⅰ			2
環境科学Ⅱ			2
企業研究 I	2		
企業研究Ⅱ	2		
簿記会計 I	2		
簿記会計Ⅱ	2		
国際経営論 I		2	
国際経営論Ⅱ			2
マーケティングリサーチ		2	

		 1	1
	アントレプレナーシップ論	2	
	企業行動論 I	2	
	企業行動論Ⅱ	2	
	企業財務 I		2
	企業財務Ⅱ		2
	民法概論 I		2
	民法概論Ⅱ		2
	商法概論 I		2
	商法概論Ⅱ		2
	米国契約法		2
	法と国際ビジネス		2
研			
究	江先冷羽		4
演	研究演習		4
習			
卒			
業	女类研究		4
研	卒業研究		4
究			
自	キャリアデザイン		2
由	キャリア開発		1
選	ビジネス・インターンシップ [2
択	ビジネス・インターンシップ Ⅱ		2
科	学習支援活動ボランティア		1
目	外国語学習における個別学習指導論		2
	国際ボランティア体験		2
	海外実地研修(ビジネス)		1~6
	海外実地研修(英語)		1~6
	海外実地研修(中国語)		1~6
	海外実地研修(韓国語)		1~6
	海外実地研修(スペイン語)		1~6
	海外実地研修(ポルトガル語)		1~6
	海外実地研修(インドネシア語)		1~2
	海外実地研修(ベトナム語)		1~2
	海外実地研修(タイ語)		1~2
•	1	•	

日本語総合講座Ⅱ	2
日本語総合講座IV	2
日本語総合講座 V	2
日本語表現演習	2
トライ・中国語	1
トライ・スペイン語	1
トライ・韓国語	1
トライ・フランス語	1
トライ・ドイツ語	1
トライ・イタリア語	1
トライ・ロシア語	1
トライ・アラビア語	1
トライ・ベトナム語	1
トライ・インドネシア語	1
トライ・ポルトガル語	1
トライ・タイ語	1
トライ・ことばと文化	1
検定試験 (英語)	2~6
検定試験(中国語)	2~6
検定試験 (韓国語)	2~6
検定試験(インドネシア語)	2~4
検定試験(スペイン語)	1~6
検定試験(ポルトガル語)	1~4
検定試験(アラビア語)	1~2
検定試験(イタリア語)	1~3
検定試験(ドイツ語)	1~3
検定試験(日本語)	2~4
検定試験(フランス語)	2~4
TOEIC 基礎	1
TOEIC 600 演習	1
TOEIC 650 演習	1
TOEIC 730 演習	2
TOEIC 860 演習	2
TOEFL ITP 480 演習	1
TOEFL ITP 520 演習	1

	TOEFL ITP 550 演習		1
	TOEFL iBT68 演習		1
	Listening/Reading		1
	TOEFL iBT68 演習		1
	Speaking/Writing		
	TOEFL iBT80 演習		1
	Listening/Reading		
	TOEFL iBT80 演習		1
	Speaking/Writing		
教	教育原理		2
職	教師論		2
科	教育社会学		2
目	教育心理学		2
	特別支援教育		1
	教育課程論		2
	道徳教育の指導法		2
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導		0
	法		2
	教育方法の理論と実践		2
	生徒指導·進路指導論		2
	教育相談		2
	教育事前事後実習		2
	教育実践実習 I		2
	教育実践実習Ⅱ		2
	教職実践演習(中・高)		2
	介護等体験実習		1
	英語科教育法 I		2
	英語科教育法Ⅱ		2
	英語科教育法Ⅲ		2
	英語科教育法IV		2
	中国語科教育法I		2
	中国語科教育法Ⅱ		2
	スペイン語科教育法I		2
	スペイン語科教育法Ⅱ		2
	韓国語科教育法I		2
	韓国語科教育法Ⅱ		2
	***		۷

別表2 (第32条関連)

(1) 外国語学部

	平成 4 年	平成 5 年	平成 6 年	平成7年	平成 6 年	平成7年
在 口	度入学者	度入学者	度入学者	度入学者	度入学者	度入学者
項目	に適用	に適用	に適用	に適用	に適用	に適用
	金額	金額	金額	金額	金額	金額
入学検 定料	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
授業料	780,000	840,000	870,000	890,000	870,000	890,000
施設設備費	190,000	190,000	200,000	230,000	200,000	230,000

	平成8年	平成11年	平成 20	平成 27	平成 28	
西 日	度入学者	度入学者	年度入学	年度入学	年度入学	
項目	に適用	に適用	者に適用	者に適用	者に適用	
	金額	金額	金額	金額	金額	
入学検	20.000	25 000	25 000	25 000	25 000	
定料	30,000	35,000	35,000	35,000	35,000	
入学金	250,000	250,000	200,000	200,000	200,000	
授業料	890,000	890,000	930,000	980,000	980,000	
施設設	250,000	250,000	1	2	3	
備費	250,000	200,000	220,000	220,000	240,000	

①施設設備費は、1年次220,000円、2年次以降300,000円とする。

②平成 27 年度入学者から施設設備費は 1 年次 220,000 円、2 年次以降 300,000 円とする。

③平成 28 年度入学者から施設設備費は 1 年次 240,000 円、2 年次以降 320,000 円とする。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

1.	学貝	川変更	(収容	定員	変更)	の内	j容・	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2.			(収容 までの					•		•	•		•	•	• •	•	•	•	•	•	1
	(2)	アジ	ア言語	学科	(韓国	語専	攻)	入-	学定	員	増貞	員の	必	要怕	生。	•	•	•	•	•	3
3.			(収容 課程の				⁴ う教 ・・	(育) •	課程 • •	等 •	の§ •	変更 • •	· •	容 •	• •	•	•	•	•	•	5
	(2)	教育	方法及	び履何	多指導	拿 方法	の変	更同	内容	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	7
	(3)	教員為	組織の	変更阿	内容・			•		•			•		•	•	•	•		•	8
	(4)	大学	全体の	施設	設備	前の変	更内	容		•	•			•		•					9

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更(収容定員変更)の内容

学校法人佐野学園が設置する神田外語大学(以下、「本学」という。)において、令和3年度に外国語学部アジア言語学科の入学定員を増員することにより、収容定員が増加するため、次のとおり、学則を変更する。

(第2条第2項関係)

アジア言語学科の入学定員を、現行の 168 人から 28 人増員して 196 人とする。 この結果、外国語学部の入学定員は現行の 893 人から 921 人となる。

(附則関係)

入学定員の増員に伴う経過措置について定める。

2. 学則変更(収容定員変更)の必要性

(1) これまでの取組と現状認識

本学は、建学の理念に基づき、高度の外国語運用能力を涵養すると共に、専攻言語圏の様々な事柄に対する知識を教授することで、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる人材の育成を教育の目標としている。とりわけ、実践的な英語教育において大きな特色があり、これまで様々な先進的な取組を行い、実績をあげてきた。今日の国際社会における使用言語としての英語の役割を重視し、英語以外の言語を専攻している学生に対しても、英語科目を必修とし、あわせて具体的な到達目標を設定することで、専攻言語に加え、英語の実践的な運用能力の養成も図っている。平成24年度には文部科学省の「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成推進支援」事業に採択され、学生に対する高度な外国語運用能力獲得を可能とする取組や海外留学の機会の一層の拡大など、全学をあげてグローバル人材の養成に取り組んでいる。

本学のアジア地域の言語に重点を置いた人材養成の取組については、昭和 62 年 4 月開設の際、日本と関係のある環太平洋地域の国々を念頭に置き、国際言語であり、使用人口及び地域も広い英米語・スペイン語と並んで、日本と地理的に近く、歴史的関係の深い中国語と韓国語(定員 20 名)を学科として設置した。さらに、平成 13 年度に英語及び ASEAN 諸国言語の 2 か国語を習得し、その地域と日本の共生に貢献できる地球市民を効果的に育成するために国際言語文化学科を新設し、アジア地域の 3 言語 (インドネシア語、ベトナム語及びタイ語)を専攻として設けた。そして、平成 24 年度にはアジア地域の言語及び文化の教育研究を、より効果的・機動的に推進できる体制を構築するために、本学が有する 3 学科(中

国語学科、韓国語学科及び国際言語文化学科)の5つのアジア言語を再編し、新たにアジア言語学科を設置した。本学は開学以来、このような学科改編等を繰り返しながら、アジア地域の言語に重点を置いた人材育成に地道に取り組み、各言語と地域事情、文化等に精通した人材を世の中に送り出してきたと自負している。

アジア言語学科における過去5年間の志願状況については、**第1表**及び**第2表** のとおり、学科全体として、また各専攻においても十分な志願者を確保しており、入学定員も確実に確保してきている。とりわけ、韓国語専攻の志願倍率は、外国語学部全体はもとよりアジア言語学科の他の専攻と比較しても極めて高く、したがって、同専攻を志望する受験生の需要に十分に応えられるだけの入学定員が確保されているとは言いがたい。この状況に鑑み、今般の収容定員変更については、本学開設時から入学定員をほぼ据え置いてきた韓国語専攻の入学定員(現在28人)を28人増員した56人とすることで、アジア言語学科全体の入学定員(現在168人)を196人とすることとした。なお、現在、日本の私立大学で、アジアの主要5言語に関し入学定員を設け、本格的に学部生の教育を行っている大学は本学のみである。本学はこの分野の人材養成に本格的に取り組む私立大学として、今後も強い自覚と責任感を持ち、一層の貢献を果たしていく所存である。

(第1表) アジア言語学科志願者数、志願倍率の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
募集人数①	126	168	168	168	168
志願者数②	1,439	1,765	1,559	1,901	2,310
志願倍率③(②÷①)	11.4	10.5	9.3	11.3	13.8
受験者数④	1,414	1,736	1,534	1,876	-
合格者数⑤	495	483	478	479	-
入学者数⑥	154	180	202	184	-
定員超過率(⑥÷①)	1.2	1.1	1.2	1.1	-

[※]志願倍率=志願者数÷募集人員。以下同じ。

(第2表) 外国語学部 学科・専攻別志願倍率

		志願倍率(約	総志願者数/.	入学定員)		過去5年
学科·専攻	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	平均
英 米	7.8	6.5	8.1	8.4	8.1	7.8
中国	7.8	11.3	7.6	15.6	7.7	10.0
韓国	15.0	15.1	16.5	18.3	14.8	15.9
インドネシア	13.1	9.1	9.8	4.9	21.5	11.5
ベトナム	13.9	7.8	7.7	7.2	16.5	10.3
9 1	14.6	8.3	6.5	6.3	14.4	9.5
スペイン	10.7	10.0	9.0	8.8	8.4	9.3
ブラジル・ポルトガル	9.7	7.6	9.0	11.0	8.6	9.2
国際コミュニケーション	10.9	9.2	9.9	12.4	8.4	10.1
国際ビジネスキャリア	16.9	16.3	12.3	14.6	15.3	15.1
学部計	9.6	8.5	8.9	10.1	9.5	9.3

(2)アジア言語学科入学定員増員の必要性

アジア言語学科韓国語専攻の前身となる韓国語学科が本学に設置された昭和60年代においては、朝鮮半島の言語や文化を外国語学修に止まらず本格的に学べる大学は、国立の2校(東京外国語大学及び大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)、ただし、いずれも朝鮮語)だけであった。しかも、当初より「韓国語」と称し、大韓民国のソウルを中心とする地域の言語に焦点を当てた学科の設置は、本学が日本で初めてであった。その後、他大学においても韓国語に関する専攻が設置されるなか、本学は日本の大学における韓国語教育を牽引しながら地道にその人材養成に努めている。

翻って、日韓両国の関係は、ともすれば時の政治状勢に影響され、このところ良好とは言えないが、日本に最も近い隣国として、古くから密接な交流のある韓国との関係を今後もしっかり築いていくことが、日本の将来にとって重要であろう。その観点から、韓国語に堪能で、かつ韓国の文化・社会や日韓の歴史的関係を理解した人材は、他の外国語に比べれば、まだまだ不足していると認識している。そのような状況の中、本学韓国語専攻の入学試験における志願倍率は、第2表のとおりほぼ毎年度で最も高く、平成28年度から平成31年度の入学試験の倍率の推移をみても15倍を超え、外国語学部全体やアジア言語学科全体と比較し

ても極めて高い**(第3表及び第4表)**。また、**第5表**のとおり、令和2年度入 学試験に関しても、例年と同程度の志願者数を確保していることから、日韓関係 が冷えた状況にあっても、受験生の韓国に対する関心は薄らいではいないと認識 している。

(第3表) 外国語学部の志願者数、志願倍率の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
募集人員	823	893	893	893	893
志願者数	7,889	7,548	7,947	8,997	8,484
志 願 倍 率	9.6	8.5	8.9	10.1	9.5

[※] 志願倍率=志願者数÷募集人員。以下同じ。

(第4表) 外国語学部アジア言語学科の志願者数、志願倍率の推移

	28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
募集人員	126	168	168	168	168
志願者数	1,439	1,765	1,559	1,901	2,310
志願倍率	11.4	10.5	9.3	11.3	13.8

(第5表) アジア言語学科韓国語専攻の志願者数、志願倍率の推移

	28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
募集人員	28	28	28	28	28
志願者数	420	423	463	512	413
志 願 倍 率	15.0	15.1	16.5	18.3	14.8

しかしながら、本学のこれまでの収容定員増の状況や各学科及び他専攻の志願 倍率をみると、韓国語専攻は、開学から入学定員をほぼ据え置いており、志願倍 率も他の専攻に比べかなり高い状況が続いていることから、同専攻を志望する受 験生に十分に応えられるだけの定員が確保されているとは言いがたい。

しがたって、このような志願状況等を背景に、令和3年度より、韓国語専攻の入学定員を28人増員し計56人とすることで、アジア言語学科全体の入学定員も28人増の196人とすることとした。なお、アジア言語学科の他の専攻の志願状況をみても、年度ごとに多少の増減はあるものの、志願倍率は堅調に推移しており、学科全体としても十分な志願者を確保できている状況にある(第6表)。日韓関係が良好とは言い切れない今だからこそ、このような措置により、幅広い分野で日韓両国の懸け橋となる人材の育成を加速させることは、本学の建学の理念にも合致するものであると考えている。

(第6表) アジア言語学科の各専攻の志願倍率の推移

	28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
中国語専攻	7.8	11.3	7.6	15.6	7.7
韓国語専攻	15.0	15.1	16.5	14.8	
インドネシア語専攻	13.1	9.1	9.8	4.9	21.5
ベトナム語専攻	13.9	7.8	7.7	7.2	16.5
タイ語専攻	14.6	8.3	6.5	6.3	14.4
学 科 平 均	11.4	10.5	9.3	11.3	13.8

3. 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(1)教育課程の変更内容

本学は、日本語名を「外語大学」としながら、英語名を他の外国語大学のように「Foreign Studies (外国研究)」とせず、「International Studies (国際研究)」とし、建学の理念「言葉は世界をつなぐ平和の礎」のもとに「文化・国際貢献の両面で世界の懸け橋となれる人材」の育成をめざし、「外国語(Foreign

Language)」だけでなく、「他国の伝統・文化を尊重する世界観・歴史観、及び自国の伝統に基づく深い文化観」「自己の意見を適切に表現できるコミュニケーション能力」「自立的・主体的・能動的に行動できる力」の涵養に力を入れて取り組んできた。この取組の結果、これまで社会に数多くの人材を送り出しており、本学の教育課程や教育手法については、THE 世界大学ランキング日本版 2019 において全国で上位(総合第34位、教育充実度5位、国際性19位)にランクインされるほか、日本経済新聞(2019年6月5日朝刊)掲載「人事が見る大学イメージランキング」の項目指標「行動力」において2位にランクインされるなど、一定の成果と評価を得ているものと認識している。今後も、この取組の方向性を堅持しつつ、以下のとおり、教育の一層の充実に努めていく所存である。したがって、今回のアジア言語学科収容定員の増員にあたっては、根幹となる教育課程の変更を行うことは考えていない。

本学の教育課程は、特に、以下のような「多言語・多文化学習支援」及び「自立学習支援」を可能にする教育方法や学習環境に、その個性・特色が表れている。

① 特徴的な教育方法・教育内容

- i 英語と地域言語を同時に学ぶことができるダブルメジャー教育
- ii 言語の修得を通して、その背景にある文化を理解させる「言葉と文化」の教育
- iii グループワークやプレゼンテーションを取り入れた、少人数によるアクティブラーニング形式の参加型教育

② 異文化理解、各専攻言語における先進的な自立学習支援施設

- i SALC(Self-Access Learning Center)(英語)
- ii MULC (Multilingual Communication Center) (専攻7言語)
- iii ASC (Academic Success Center) (英語・日本語チュータリング)

③ 異文化理解、幅広いコミュニケーション力をさらに高めるための実践機会

- i 海外留学プログラム(海外研修、交換留学)
- ii 国内・海外ボランティア(通訳、国際協力、国際開発など)
- iii 国内・海外インターンシップ
- iv 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト
- v ACP (Adventure Communication Program) (参加型課題解決プログラム)

上記のうち、特筆すべきは、「多言語・多文化学習支援」に不可欠な「自立学 習支援環境」の充実である。本学は、国内随一を誇る多様な外国籍教員を中心と した「国際色豊かな教育体制」と、「学生の学習環境の違い」に配慮した「いつでも」「専攻言語」で学習カウンセリングを受けられる環境を有し、授業内・外の活動を体系的・有機的に連動させることで、「真の国際人」に必要な資質・能力を効果的に涵養する取組を行っている。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

本学は上記のような特徴的な教育手法や先進的な取組を模索し実践することで、地域の懸け橋となる豊かなコミュニケーション能力と知性を備えた「真の国際人」を養成してきた。実際、今回収容定員の増員を申請するアジア言語学科韓国語専攻では、日本社会のグローバル化の最前線で活躍する人材を輩出している(第7表)。

(第7表) 平成30年度 韓国語専攻進路一覧

ANA テレマート(株)	電機資材 (株)
(株)NAA リテイリング	(株) ジーズコンサルティング
(株)地域新聞社	日発運輸 (株)
(株)アイネット	(株)光電製作所
(株) イーネット	DSP (株)
(株)IVE	(株) セントメディア
(株)インタラクティブメディアミックス	(株) 共立メンテナンス
(株) アウトソーシングテクノロジー	医療法人社団 陽優会
(株) 東京ドームホテル	熊谷商工信用組合
ANA エアポートサービス(株)	HOYA (株) アイケアカンパニー
POSCO JAPAN (株)	ピアス(株)
(株) ニチイ学館	(株) 市進ホールディングス
(株)ジェイ・エス・エス	(株) アドバンテック
(株)ストライプインターナショナル	(株)クレスコ
(株)ヴァンドームヤマダ	岡三情報システム (株)
(株)コシダテック	アシアナスタッフサービス (株)

※ホテル業、航空関連産業、旅行業、外国語インストラクターに多くが就職しているほか、海外に拠点がある企業も含まれている。

これまでの評価を今後も継続して得るために、教育課程や課外等の取組については、収容定員を増加させてもその水準を一切低下させないように、教育の質を維持しながら、必要に応じ充実させていく対応を以下のとおり行う。

まず、基本となる教育課程(アジア言語学科韓国語専攻)については**資料1**のとおり、科目構成を「英語科目」「地域言語科目」「導入科目」「教養科目」「研究科目」「自由選択科目」とし、そのうち「英語科目」は22単位、「地域言語科目(韓国語)」は40単位の修得を義務付けている。また「研究科目」のうち、「専攻指定科目」として18単位、「コース指定研究科目」として24単位、計42単位の修得を義務付けている。これにより、卒業時点において英語・韓国語の両言語運用能力を身につけ、専攻言語圏の地域事情や文化等に精通した人材を社会に送り出すことが可能となっている。そのため、前記のとおり、この教育課程については収容定員増員にともなう変更は予定していない。

次に、今回の収容定員の増員にともなう教育の質の維持・充実に関して、本学ではグループ・ワークやプレゼンテーション等の教育手法を多数採用しており、その機能的・効果的運営の見地から、少人数のクラス編成を基本としている。特に英語及び初修言語となる地域言語(韓国語)の両言語を修得するためには、すべての外国語科目を1クラスあたり20名程度に編成することが望ましい。そのため、入学定員増にともなう外国語科目のクラス数を、「英語科目」は14コマ分、「地域言語科目」も同様に13コマ分を増設する。

履修指導について、科目構成(英語科目、地域言語科目、研究科目、自由選択科目など)、授業形態(講義、演習、実習など)、単位制度、キャップ制度、シラバス、GPA制度等の理解を促すために、各年度の新入生ガイダンスにおいて、学科教員や教務課職員を中心に専攻別に説明、指導している。また教員が推薦した先輩学生による履修相談会と新入生全員が参加するオリエンテーションキャンプにおいて、履修指導の補足や修得言語の目標設定などを促すことで、きめ細やかな履修指導が可能となっている。これらの取組は全学生に対して行われるため、今回の収容定員増による影響はないと認識している。

(3) 教員組織の変更内容

本学は、これまでも専攻言語及び英語教育については、最大限の教育効果をあげるために少人数教育を徹底してきたところであるが、今回の収容定員の増員にあたっても、この原則に変わりはなく、したがって、専攻言語科目及び英語科目に関する所要の教員増を行う。また、アジア言語学科収容定員増(文学関係)にかかる当該学科の専任教員数については、大学設置基準(別表第一)が規定する専任教員数(本学の場合9名)の3倍以上にあたる32名(うち教授9名)を配置する予定であり、収容定員変更前と比較しても同等以上の教員組織を維持できると認識している。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

本学は千葉市幕張新都心に隣接する文教地区に所在する。周辺は広い埋め立て 地の上に綿密な都市計画によって、商業業務地区、道路、公園・緑地・人口河川 がバランス良く整備され、優れた景観と快適な環境が創出されている。本学はこ の良好な環境に立地し、昭和62年の開学以来、学生及び社会のニーズに対応す る形で徐々に拡張を図ってきた。現在の校地全体の面積は 98,841 ㎡、うち校舎 敷地は37,680 ㎡あり、当該敷地に全8棟延べ42,083 ㎡の校舎を有している。本 学では実践的な言語運用能力の養成に向けて少人数のクラス編成を基本として いることから、収容人数が 30 人程度の小規模な教室を中心に、収容人数が 400 名超の大教室、70名~150名の中教室も備えている。これらの教室には、必要な IT・AV機器等を設置し定期的に更新している。また、国際社会に貢献し得る 人材の育成を目的とする本学は、コミュニケーション能力の養成にも力を入れて おり、平成 15 年度の文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択さ れた6号館をはじめとして、ICT能力及び言語運用能力の養成のための自立学 習施設が充実している。また、本学の運動場は 30,223 ㎡あり、人工芝サッカー 場、テニスコート、天然芝グランドを配置している。さらに、体育施設について も、体育館、トレーニング・ルーム、ダンス・スクエアの他、柔剣道場、弓道場 の武道の施設も整備し、授業や部活動等の各種活動に利用されている。

今回の収容定員変更に伴う教室の確保については、令和元年度における教室数に対する曜日・時限ごとの教室使用状況 (第8表)により、定員増員後も十分充足することが見込まれる。なお、一部使用が集中する状況にある曜日・時限については、教員の協力を得て調整を行うなど改善を図っている。

(第8表) 令和元年度教室使用状況

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	41%	61%	54%	73%	68%	4%
2限	89%	91%	68%	92%	87%	5%
3 限	84%	88%	68%	91%	89%	3%
4限	72%	88%	60%	82%	77%	2%
5 限	48%	52%	27%	32%	26%	0%

資料目次

資料1 アジア言語学科韓国語専攻カリキュラムマップ

資料1 アジア言語学科韓国語専攻カリキュラムマップ

7257÷	 言語学科	1年次																	
	ョ 莳子 件 語 専 攻	前期		後期		前期		後期		前期			後期	前		後期	1	卒業要件単	₤位数
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	拉 授美	科目単	位 授業科	単位	授業科目	単位		
		Freshman English (a)	2	Freshman English (b)	2	Sophomore English (a) (CSK)	2	Sophomore English (b) (CSK)	2			English for	Multicultural (Communication (쉮	54単位)				
		(CSK)	CSK CS																
	必修						1 . 1		T								8	20単位	
		総合英語 I (a)	1	総合英語 I (b)	1	総合英語 Ⅱ(a)	1	総合英語 II(b)	1	* 「English for 場合は、	Multicultu 後期に8単	ural Communicat 位履修可。8単	on」は、3年次は前 が修得し終えた学生	期4単位、後期4単位を は、自由選択科目とし	履修上限とする。た て追加履修可(上限	だし前期未修得の ほは設けない)			
						履修条件∶総合英	語 I (a)(l	b) (CSK) 2単位を修得済		32100	Δ////T	1007				(10-112-7-0-0-7			
英 以下の科目から2単位を修得すること【履修年次 1~4】																			
語		時事英語 I													22				
科目		時事英語Ⅱ		2 単位	履修统	条件:時事英語 I またはC基準	≛(4単位a	まで履修可)				TOEIC600演	習 1単位	履修条件:TOE	IC L&R 400点以上	600点未満			
		ビジネス英語Ⅰ		2 単位								TOEIC650演			IC L&R 500点以上		2		
	選択必修	ビジネス英語 I Effective Lang		2 単位 arning Course1 1 単位								TOEIC730演 TOEIC860演			IC L&R 600点以上 IC L&R 700点以上			2単位	
				arning Course2 1 単位	履修统	条件:Effective Language Lear	ning Cou	rse1 又は Effective Learning	Module	1(重複履修可)	1	検定試験(英			2011 700 110 110 110 110 110 110 110 110				
		Effective Learn									(1								
		Effective Learn	ing Mo	dule2 1 単位	履修统	条件:Effective Language Lear	ning Cou	rse1 又は Effective Learning	Module	1(重複履修可)			•	; Moduleの詳細につい てはp. 80~82 自由:					
												₩ Z.	0日0演目に ブ	. Стар. 80 9 62 Н Н	送扒行日別扱うで	29 M			
		韓国語基礎 I	6	韓国語基礎Ⅱ	6	韓国語基礎Ⅲ	6	韓国語基礎Ⅳ	6										
							1		.L										
	必修	2年への進	級基準:	12単位すべて修得	$\neg \nearrow $													24単位	
		/		3年への准	級基進·	24単位すべて修得			_/\										
		1		5-F 107/2	W.T				\neg /										_
地										以下の科目から1	6単位を	修得すること							
域言																			
語										韓国語口頭		2単位	時事韓国語			級会話 I 2単位			40
科										韓国語口頭	表現Ⅱ	2単位	時事韓国語	Ⅱ 2単位	韓国語上	級会話Ⅱ 2単位			
目	選択必修									韓国語通訳	法 I	2単位	韓国語対話	文 I 2単位				16単位	
	221/2019									韓国語通訳	法Ⅱ	2単位	韓国語対話	文Ⅱ 2単位				10412	
										韓国語翻訳	法 I	2単位	韓国語講読	I 2単位					
										韓国語翻訳	法Ⅱ	2単位	韓国語講読	Ⅱ 2単位					
										* 34	エカの選:	 	2単位を履修上	思レする					
											19002								$+\!\!-\!\!\!-$
導入科目	必修	基礎演習	2															2単位	2
教養科目	選択必修	講義系科目から4種	斗目8単	位を修得し、残りの2単位に	は講義 🤇	系科目又は体育・スポーツ	を修得す	ること										10単位	10
	必修	アジア研究入門	2単位	*早い学年での履修を批	進奨する	5												2単位	
	専 攻	右の科目から16単位			居攸年	次1~4】			年次2	<u></u> -									
	뉻					-	· FT ch +MT :			_	쓛모표		4 <i>1</i> □ ±=	组体中工 6光件	井田の中	# \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		18単位	-
研	定選択必修	※ 16単位を超え 研究科目又はE		た単位は、コース指定 ₹科日となる						概論 I 2単位	-	文法論 I 2		関係史 I 2単位	·	教·社会 I 2単位		10年位	
究 科		W/7014 L 7.16.	- ш.е.,	VII II C. & V	韓国	文化概論Ⅱ 2単位 韓	[国史概]	論Ⅱ 2単位 韓	国語字	概論Ⅱ 2単位	韓国語	文法論Ⅱ 2.	自位 日韓 	関係史Ⅱ 2単位	韓国の宗	教・社会Ⅱ 2単位			42
目		_ → +k-h-rm-h-1	N P ^	A 出 /士					f										1
		コース指定研究和		4 里 位 -スの科目を24単位修得する	- L								研究演	習(ゼミ)			4		
	コース指定				-	えて修得 た単位のうた			Ĺ						↑, ₩ ७π₽	-		24単位	
		なお専攻指定研究科目選択必修科目で指定の単位数を超えて修得した単位のうち 自分の所属する研究コースに指定されている科目はこれに含めることができる。) 4							1										
		ロルマルル局を	W-9176-			ביישבנא כנישיי								指定研究科	目になり、超過分は	自由選択科目となる)			<u> </u>
自由邊	戥 択科目	自由選択科目																8単位	8
																		<u> </u>	

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
(1) 学生の確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
2. 人材需要の動向等社会の要請 (1)人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)・・・・	• 7
(2) 上記(1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・	• 8

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 定員充足の見込み

a 定員設定の考え方

本学アジア言語学科は、中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語及びタイ語の5つの専攻を設け、アジア地域の言語及び文化に軸足を置き、この分野の人材養成を本格的に行っている私立大学として、わが国の社会経済の発展、グローバル化の進展の中において、社会の期待に応えてきた。とりわけ、同学科韓国語専攻(平成24年の再編前は韓国語学科)は、昭和62年の開設時から定員を設け、日本の大学、なかでも私立大学における韓国語教育の先頭に立って人材養成に努めてきた。近年、韓国の経済成長、日韓の経済・文化的交流の促進などにより、その志願者数が入学定員に比して著しく多くなってきたことから、その需要に応えるべく今般その定員を増加させることとした。

今回の韓国語専攻の入学定員増に当たっては、外国語学部はもとよりアジア言語学科全体としても志願者数が堅調であることに鑑み、アジア言語学科内の他専攻の定員の振替ではなく、新規増員を行うことを予定している。定員設定の考え方については、近年の韓国語専攻の志願状況やアジア言語学科全体の定員のバランス等を総合的に考慮し、志願倍率(総志願者数÷総入学定員)7~9倍程度が適切であること、1クラスを28名として設計されたカリキュラムを今後も踏襲すること等を勘案し、この1クラス分に相当する28人分を増員することとした。

b 定員を充足する見込み

本学では、現在、大学全体として募集定員の8倍以上の志願倍率があり、なかでも韓国語専攻では過去5年の志願倍率の平均は15.9倍と全学科・専攻の中で最も高く、14~18倍の間で推移している(資料1)。これは、韓国語専攻の開設(昭和62年)以降、入学定員をほぼ据え置いてきたなか、韓国の経済成長、日韓の経済・文化的交流の促進などの社会事情が大きく変化したことにより、韓国語の高度な運用能力を修得したいという若い世代の需要が高まったことが背景にあると考えている。今後、仮に韓国語専攻の志願者数が横ばいになったと仮定しても、入学定員増後の志願倍率は約7~9倍程度になると予想される。これは本学全体の志願倍率とほぼ同程度であり、またこれまで本学が入

学定員を確実に確保していることに鑑みると、十分に定員を充足する見込みがあるといえる。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

a 長期的に学生を確保できる見通し(社会的な動向)

平成31年度「私立大学・短期大学等 入学志願動向」(日本私立学校振興・共済事業団)によれば、平成31年度の外国語学部の入学志願者数は95,158人、倍率については9.9倍と、いずれも8年前の約1.6倍となっており、我が国のグローバル化の進展や産業界での需要を背景に、年々外国語学部への進学を希望する学生が増えている状況がうかがえる(資料2)。また、平成23年以降の東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の交渉開始など、アジア地域(とりわけ東アジア・東南アジア地域)での国際連携が進み、経済・文化・人的交流の促進が図られている状況下で、アジア言語学科を設けアジア地域に重点を置いた本学の教育・人材養成の取組については、THE世界大学ランキング日本版2019において全国で上位(総合第34位、教育充実度5位、国際性19位)にランクインされ、高い評価を受けている。

グローバル化を背景とした、このような外国語学習やアジア地域への興味関心が国内で高まる中、昭和 62 年の本学韓国語学科設置から現在に至るまで、韓国との関係は、経済面や文化面において次のように大きく変化しており、韓国語の高度な運用能力や韓国の文化・社会に習熟するための学修に係る社会的な需要もこの 30 年余りで大きく高まっている。

はじめに、経済面では、平成9年の韓国通貨危機時の支援、平成10年代のサムスン・現代自動車等韓国企業の世界進出、平成24年の日中韓自由貿易協定(FTA)交渉開始等を経て、政治的な影響を受けつつも長期的にそのつながりを強めている。また、平成30年の日韓間の貿易総額は、約9兆3400億円であり、日本にとって韓国は平成13年以降今日に至るまで第3位の貿易相手国となっている(資料3)。文化面においては、K-POP、韓国ドラマの普及等の「韓流ブーム」、韓国における日本のサブカルチャーの浸透など、30年前とは比較にならないほど文化的な交流が促進されている。

このような文化的・経済的交流の進展を背景に韓国語学習への関心も高まっており、「平成29年度 高等学校等における国際交流等の状況について」(文部科学省総合教育政策局教育改革・国際課)によれば、高等学校において英語

以外の外国語科目として韓国語・朝鮮語科目を開設している学校の数は、平成30年では342校と、平成11年(131校)の2.6倍となっている(資料4)。また、韓国語能力試験(TOPIK)の申し込みが、10~20代を中心に増えており、令和元年は2万7千人と前年比1割増、10年で2.6倍になった(「冷めぬ韓国語熱 日本の若者、Kポップなどに関心高く」2019/11/21 5:30日本経済新聞電子版)ほか、令和元年秋季第53回「ハングル」能力検定試験についても52回までの平均を30%以上上回る10,924名が受験し、そのうち約30%を10代が占めていた(資料5)。これらの学習者の更に高度な学習へのニーズに応えることができる国内の大学の学科・専攻は、「c競合校(韓国語・朝鮮語の定員設定がある学校)の状況」で後述する通り、非常に限定的となっており、韓国語学習希望者の各々の能力に応じた進学先が十分に確保されているとは言い難い状況にある。

一方で、日韓関係については政治的対立やそれに伴う国民感情の変化を抜きにしては分析することができない。特にいわゆる徴用工判決、安全保障上の理由による対韓輸出管理厳格化を契機とした近年の日韓相互の国民感情悪化の影響についても検討する必要がある。この点について、「外交に関する世論調査」(内閣府)の直近の調査では、令和元年10月という日韓関係悪化直後の状況が反映されているが、その中で韓国に、「親しみを感じる」とする者の割合が26.7%、「親しみを感じない」とする者の割合が71.5%となっている。しかしながら、「今後の日本と韓国との関係の発展は、両国や、アジア及び太平洋地域にとって重要だと思うか」という問いに対し、韓国に対して「親しみを感じる」層で85.8%(約9割)、「親しみを感じない」層でも47.6%(約5割)が日韓関係の発展を重要と考えており、韓国への親近感が低くなっている現状においても、日韓関係が重要だという意識が広く共有されているものといえる。さらに、日韓関係を重要視する者の割合を年代別にみると、18~29歳の若年層が72%と、全世代の中で最も高くなっている(資料6)。

このように、昨今の日韓関係の悪化についての短期的動向を考慮してもなお、本学韓国語学科設置から現在に至るまでの社会的状勢の変化は無視できないものであり、日韓関係が一進一退する中でその関係改善に努める人材養成が必要であるという観点からしても、韓国語専攻の需要は持続し、長期的に学生を確保できるものと見込まれる。

b 本学の志願者をめぐる動向

本学の外国語学部は、過去 5 年間(平成 28 年度~令和 2 年度入試)において、入学定員の 8 倍を超える志願者があり、定員を確実に確保している。

平成30年度、令和元年度は2年連続の志願者数増加となったが、令和2年度はセンター利用入試の志願者数減の影響で減少したものの、志願者総数は8,484人、志願倍率は9.5倍となっている(資料7)。

アジア言語学科全体では、外国語学部全体を上回る 10 倍以上の志願倍率があり、直近 2 年で志願倍率も上昇しており、定員を確実に確保している。そして令和 2 年度の志願者総数は 2,310 人、志願倍率は 13.8 倍である (資料 8)。アジア言語学科の各専攻別の志願倍率についても概ね 5 倍以上となって入学定員を確実に確保しており、令和 2 年度についても 7.7~21.5 倍の志願倍率となった (資料 9)。今回、増員する韓国語専攻についてみると、過去 5 年間の志願倍率の平均が本学の全学科・専攻の中で最も高く、志願倍率は 14~18 倍の間で推移している。令和 2 年度は、志願者総数 413 人、志願倍率 14.8 倍と前年度を下回った。これは、前年度に過去 3 年を更に上回る志願倍率 (18.3 倍)を記録したこと、また、関東圏の同難易度の他大学と同様センター利用入試の志願者数が減少したことが背景にあると考えられるが、推薦入試・一般入試については前年並の志願者数であった (資料 10)。

今回の増員後の定員(56名)を募集人数と仮定した場合の過去5年の志願倍率は約7~9倍程度となり、本学全体の志願倍率(約8~10倍)と大きく変わらない。また、志願者が減少した令和2年度においても7倍を超えることとなることから、今後も確実に定員以上の入学者数を確保できるものと考えられる。

c 競合校(韓国語・朝鮮語の定員設定がある学校)の状況

「a 長期的に学生を確保できる見通し(社会的な動向)」の項で述べたように、高等学校において韓国語・朝鮮語を学ぶ学生、韓国語能力検定試験・「ハングル」能力検定試験の若年層の受験者が増加傾向にある中、韓国語・朝鮮語を重点的に学習したいという需要に応えられる大学の専攻は非常に限られている。特に、関東圏において韓国語・朝鮮語の学科・専攻単位で定員を設けている大学で、志願状況が公表されているものは「東京外国語大学言語文化学部朝鮮語専攻」「目白大学外国語学部韓国語学科」である。これらの大学の学科・専攻においても、志願倍率は3~13倍程度あり、関東圏の大学において韓国語・朝鮮語の専攻を希望する者の需要が高い水準にあることがうかがえる。このほ

か、大阪大学外国語学部外国語学科朝鮮語専攻及び天理大学国際学部外国語学 科韓国・朝鮮語専攻も3倍程度の志願倍率を維持している(資料 11)。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

① 入試における取組

本学を第一志望として学習意欲が十分と認められる者を対象とした自己推薦入試(令和2年度以降は総合型選抜入試として実施)、学校推薦入試、一般入試(前後期)、センター利用入試を実施するなど多様な入試制度を設け、アドミッションポリシーに定める能力と意欲を持つ受験者に対して十分な受験機会を提供するよう努めている。

② 志願者を獲得するための広報活動

a オープンキャンパスの開催

本学では、令和元年度において 29 回のオープンキャンパスを開催(令和 2 年 3 月 2 日現在。以下、広報実績について同じ)し、キャンパスツアーや大学紹介ムービーの上映等を通じて、カリキュラムや学習環境、留学制度や世界で活躍する先輩の姿を伝えている。また、在学生による韓国語でのスピーチや文化紹介など、高校生に対し、当該地域の魅力を伝える活動にも積極的に取り組むほか、語学専任講師による英語、地域言語(韓国語を含む。)の 3 日間の集中レッスン等も実施し、初修言語を学ぶ魅力や英語学習の動機付けを図る取組も実施している。

b ホームページや印刷媒体等への掲出

以下のホームページやパンフレットを含む多様な媒体において、本学におけるカリキュラム・大学生活の状況、進路・課外活動等の情報を発信している。

○ 神田外語大学ホームページ

「言葉は世界をつなぐ平和の礎」という建学の理念、学長メッセージを核に、 グローバル人材育成のために本学が実現しようと考える内容について、ビジョンや3つのポリシーを交えながら包括的に説明するため、ホームページを 開設している。少しでも受験生がキャンパスライフをイメージできるよう に、動画・画像を織り交ぜ、工夫を図っている。韓国語専攻に関しては、韓 国語を学ぶ意義や重要性について発信している。さらに、受験生向けの特設 ページを設け、「世界就職」をテーマに、習得言語、卒業後の活躍の場、業 界別に世界で活躍する卒業生のメッセージ動画を掲載し、高校生が外国語学 部を卒業して実現したいキャリアパスを想起し、入学への動機付けに資する 取組を行っている。

https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/(大学ホームページ) https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/worldgate/(受験生用特設ページ)

○ パンフレット 学科・カリキュラム BOOK2020「ACADEMICS」

ホームページで掲載している本学の概要をコンパクトにまとめるとともに、各学科の到達目標やモデルカリキュラムを掲載している。韓国語については、4技能の運用能力の向上を図り、日常会話程度から、通訳・翻訳レベルまで達することも可能であること、かつ、英語についても TOEIC600 点取得レベルを目指すことなど、専攻の特色を全面に出し、高校生から毎年大きな反響を得ている。

c 高校訪問等の実施

東日本出身の学生が入学者の大多数を占めていることを踏まえ、関東を中心に北海道、新潟県、長野県など 13 の都道府県の高校との連携強化を意識して年間約 1,200 校の高校訪問を実施し、安定的な志願者の獲得に取り組んでいる。その他、オープンキャンパスに参加できない学生を対象とした平日の学内見学(令和元年度 53 回)や、高等学校単位の団体見学(令和元年度 56 回)、遠方の学生のため全国 39 都市で行う進学ガイダンスへの参加など、本学に関心を持っている高校生との接点をできるだけ多く創出するなど、きめ細かな周知活動を行い、本学の魅力を発信している。

③ 施設整備

外国語を学修・習得するにあたっては、コミュニケーションの頻度や学習に対するモチベーションが非常に重要となっている。この観点から、本学では授業以外の時間においても、学習・教養を深める場の整備に努めている。

○ 「MULC (Multilingual Communication Center)」の設置

現地に旅し留学する感覚を味わいながら、言語と文化を学ぶユニークな空間として設置されており、韓国語を含むアジア言語学科及びイベロアメリカ言語学科の専攻言語をカバーした 7 つの言語エリアには、各々の生活文化を代表する街並みや建物が再現されている。また、各言語のネイティブ教員が在籍し、豊富な書籍やCD、DVD、衛星放送、さらには留学生との交流など、現地さながらの外国語環境に浸り、異文化コミュニケーション力を身に付けることが可能となっている。日本にいながら韓国語の学習で習得し

た内容を実践できる希少な場として、本学の韓国語専攻の学生に広く活用されている。

https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/campuslife/facilities/mulc/

O SALC (Self-Access Learning Center), ELI (English Language Institute)

学生が自ら課題を発見し、他者との協働学習を通して、主体的に解決していく「自立学習者」に成長するために、授業時間以外での学びもサポートする「理想的な教育環境」を整えるため、SALC(Self-Access Learning Center), ELI(English Language Institute)を設けている。SALCは、ラーニングアドバイザーと相談できる Study Rooms や教員や他の学生と英語での会話を楽しむ English Lounge、ELIは、プレゼンテーションの指導を受けることができる Presentation Area、ELIに所属する教員と授業の相談等が可能な Consultation Area といった特徴的な設備・環境を備えている。世界各国、アジア圏で活躍するにあたり、韓国語専攻の学生についても、英語力の向上は必須であり、効果的な学習に資する場として活用を促している。

https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/kuis8/

○ 「アジアン食堂(食神)」の設置

学生食堂であるとともに地域住民にも開放している食神(しょくじん)は、アジアの本場の味が楽しめるだけでなく、アジアの街並みを表現した「ストリートベンチエリア」やカラフルなテントが並ぶ「テント席エリア」のほか、熱気あふれるアジアの臨場感が感じられる「屋台テーブルコーナー」など、アジアを体験できる施設として設置されており、「ムスリムフレンドリー・ハラール証明」を取得した日本初の学生食堂でもある。学生のアジア文化への興味関心を深める場、学生活動における様々なイベントの場としても活用されている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1)人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

① 本学の設置目的

本学の建学の理念は、「言葉は世界をつなぐ平和の礎」である。この建学の理念の下、本学は、「広く一般知識を授け、深く専門学術を教授研究するとともに、わが国の伝統と文化を究明し、諸外国の文化を理解し、国際社会の一員として世界に貢献し得る人材を育成すること」(神田外語大学学則第1条)を目的としている。

② 外国語学部アジア言語学科の設置目的

外国語学部アジア言語学科は、「多文化共生が求められる社会情勢のなかで、 高度の専攻地域言語(中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語) の運用能力を身につけさせると共に英語運用能力養成にも力を注ぎ、また、言 語としての専攻地域言語及び同言語圏の様々な事柄に対する知識を教授する ことにより、豊かな教養を有し国際社会に貢献しうる自立した人材の養成」(神 田外語大学学則第2条第3項第2号)を教育研究上の目的としている。

(2)上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの 客観的な根拠

① 社会的、地域的な需要動向

平成25年5月の教育再生実行会議の提言「これからの大学教育等の在り方に ついて(第三次提言)」において、「社会の多様な場面でグローバル化が進む 中、大学は、教育内容と教育環境の国際化を徹底的に進め世界で活躍できるグ ローバル・リーダーを育成すること、グローバルな視点をもって地域社会の活 性化を担う人材を育成すること」が求められた。また、「グローバル人材の育 成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果」(平成27年3 月、日本経済団体連合会)においては、グローバル事業で活躍する人材に求め られる素質、知識・能力として、「海外との社会・文化、価値観の差に興味・ 関心を持ち、柔軟に対応する姿勢」、「英語をはじめ外国語によるコミュニケ ーション能力を有する」などが上位項目に挙げられている(資料12)。さらに、 平成 30 年 11 月の中央教育審議会「2040 年に向けた高等教育のグランドデザ イン(答申)」中、「高等教育機関の国際展開」においても、「我が国の高等 教育機関の教育研究力の向上や国際通用性を強化し、特に高等教育が拡大し、 学生の雇用市場としても拡大が予想されるアジアを含めた海外からのアクセ スを向上させることで、世界に開かれた高等教育機関として期待される役割を 果たすことが必要である。」とされるなど、学生が卒業後にアジア圏で就職す ることや、アジア諸国間の人材交流が一層促進されることが予測されている。

本学外国語学部アジア言語学科では、このような施策を踏まえ、社会的な需要動向に沿った人材を輩出してきた。今般定員を増加させる韓国語専攻が養成する人材の需要動向について、近時、次のとおり需要が見込まれる。

まず、「海外在留邦人数調査統計」(外務省)によれば、日系企業の韓国拠点

数は増加傾向にあり、直近の平成30年10月時点で996拠点と過去最多となっている。日韓関係悪化後の令和元年以降について、多少の減少は想定されるものの、平成22年(拠点数539)と比較して約1.8倍となっており、長期的な動向としては増加しているといえる(資料13)。

次に、駐日韓国企業連合会の会員社について、令和2年3月5日時点で262となっており(「駐日韓国企業連合会Webページ会員社検索/リストhttps://www.koba.or.jp/member/member_list.php」)、同会と韓国貿易協会が「韓国と日本をつなぐ人材」として掲載している求人情報もこの1年以内で5000件弱(「韓国貿易協会×駐日韓国企業連合会Webページ求人情報https://jobjapan.jobtogether.net/bbs/board.php?bo_table=recruit」)にのぼるなど、韓国語を学んだ人材への現実的な需要についても相当程度見込まれる現状にある。

一方で、近年の日韓相互の国民感情の悪化が企業活動や人材需要動向に短期的に影響を与える可能性もあるが、輸出管理厳格化の発表がされた後の直近の日系企業の意向を反映している「2019年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」(日本貿易振興機構、令和元年 11 月)においては、韓国へ進出している日系企業のうち、今後 1~2年の事業展開の方向性について 30.6%が「拡大」、63.4%が「現状維持」と、9割超の韓国進出日系企業が引き続き韓国において現在以上の規模で事業展開を継続することが見込まれている(資料 14)。

また、一連の日韓関係の悪化の中で、対韓輸出管理厳格化の措置が取られて 以降の令和元年8~12月までの訪日韓国人外客数は、48.0~65.5%の間で前年 比大幅な減少となっているが、そのような中でも、令和元年において平成17年 の3倍以上となる約558万人の韓国人外客が訪日した。また、最大の対前年比 減を記録した令和元年10月においても、国別訪日外客数で韓国は中国、台湾 に次ぐ第3位の位置にある(資料15~17)。

以上のような需要が見込まれる中、現状においても、専攻言語・英語の高い語学力を活かして、ホテル業、航空運送業など、インバウンド需要に関連する産業を進路として選ぶ韓国語の学生が一定数存在しており、今後も、長期的な視座において、韓国語に堪能な学生への人材需要が高い水準にあると見込まれる。

② 過去の卒業生の進路状況

本学韓国語専攻の学生は、高度な語学運用能力、異文化への理解・柔軟性・適応力などグローバル企業で活躍する人材に必要とされる資質を備えていることから、過去3年の内定率についても100.0%、96.6%、94.1%と高くなっている。また、アジア言語学科全体でも内定率は95%前後となっており、中国・東南アジアと日本の関係性が深まっている昨今の状況を反映して本学のアジア言語学科の輩出する人材全体としても高い評価を受けていると言える(資料18)。また、韓国語専攻の卒業生は、高度の韓国語の運用能力を活かし、日本における韓国系企業、韓国に拠点を持つ日本企業を進路として選ぶ層が一定数いるほか、韓国語と英語の3言語を運用する能力や、その過程で培った高いコミュニケーション能力、国際情勢への理解・グローバルな姿勢を評価され、ホテル業、小売業、航空運送業、運輸に附帯するサービス業など幅広い分野で活躍している(資料19)。

資料目次

資料 1 外国語学部 学科・専攻別志願倍率 全国の私立大学における外国語学部入学志願者の推移 資料 2 貿易相手国上位 10 カ国の推移 資料 3 資料 4 韓国・朝鮮語科目を開設している学校数の推移 資料 5 「ハングル」能力検定試験の受験者数及び年齢構成 資料 6 日韓関係の重要性に関する国民の意識 資料 7 外国語学部志願者数、志願倍率の推移 アジア言語学科志願者数、志願倍率の推移 資料 8 アジア言語学科専攻別志願者数、志願倍率の推移 資料 9 韓国語専攻志願者数、志願倍率の推移 資料 10 資料 11 競合校の志願倍率 資料 12 グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート結果 資料 13 韓国における日系企業拠点数の推移 資料 14 海外進出企業の今後 1~2 年の事業展開の方向性 資料 15 国別訪日外客数(令和元年) 資料 16 訪日韓国人外客数の推移 資料 17 令和元年 10 月の国別訪日観光客数 資料 18 過去3年の卒業生の進路状況(全卒業生、アジア言語学科全体、韓国語専攻)

過去3年の就職状況(韓国語専攻)

資料 19

資料 1 外国語学部 学科・専攻別志願倍率

		志願倍率(総志願者数/入学定員)						
学科·専攻	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元 年度	令和 2 年度	過去5年平均		
英米	7.8	6.5	8.1	8.4	8.1	7.8		
中国	7.8	11.3	7.6	15.6	7.7	10.0		
韓国	15.0	15.1	16.5	18.3	14.8	15.9		
イント゛ネシア	13.1	9.1	9.8	4.9	21.5	11.5		
ላ"	13.9	7.8	7.7	7.2	16.5	10.3		
タイ	14.6	8.3	6.5	6.3	14.4	9.5		
ጸላ° イン	10.7	10.0	9.0	8.8	8.4	9.3		
ブラジル・ポルトガル	9.7	7.6	9.0	11.0	8.6	9.2		
国際コミュニケーション	10.9	9.2	9.9	12.4	8.4	10.1		
国際ビジネスキャリア	16.9	16.3	12.3	14.6	15.3	15.1		
学部計	9.6	8.5	8.9	10.1	9.5	9.3		

⁽注)入試を行っている学科・専攻の区分ごとに記載。過去5年の平均は、総志願者数の5年合計を入学定員の5年合計を除して計算している。

資料 2 全国の私立大学における外国語学部入学志願者の推移



出典:「私立大学・短期大学等 入学志願動向」(日本私立学校振興・共済事業団、平成 24 年度 ~平成 31 年度)より作成

https://www.shigaku.go.jp/s_center_d_shigandoukou.htm

資料3 貿易相手国上位10カ国の推移

貿易相手国上位10カ国の推移(輸出入総額:年ベース)

年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
総額	730,796億円	827,247億円	918,942億円	872,987億円	828,156億円	925,926億円	913,948億円	943,365億円
1	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国
	184,094億円 (25.2%)	208,081億円 (25.2%)	233,182億円 (25.4%)	242,481億円 (27.8%)	222,448億円 (26.9%)	231,347億円 (25.0%)	223,825億円(24.5%)	221,105億円(23.4%)
2	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国
	54,428億円 (7.4%)	67,820億円 (8.2%)	76,924億円 (8.4%)	74,650億円 (8.6%)	75,328億円 (9.1%)	92,158億円 (10.0%)	107,904億円 (11.8%)	127,076億円(13.5%)
3	韓国 45,500億円(6.2%)	韓国 49,277億円 (6.0%)	韓国 49,160億円 (5.3%)	台湾 46,767億円 (5.4%)	台湾 47,322億円 (5.7%)	台湾 58,042億円 (6.3%)	韓国 51,602億円 (5.6%)	韓国 55,092億円 (5.8%)
4	台湾 40,566億円 (5.6%)	台湾 44,528億円 (5.4%)	台湾 48,461億円 (5.3%)	ドイツ 38,859億円 (4.5%)	韓国 44,305億円 (5.3%)	韓国 55,135億円(6.0%)	台湾 46,649億円 (5.1%)	台湾 49,801億円 (5.3%)
5	ドイツ	ドイツ	ドイツ	韓国	ドイツ	ドイツ	ドイツ	香港
	31,964億円 (4.4%)	35,217億円(4.3%)	36,790億円 (4.0%)	35,818億円 (4.1%)	34,287億円 (4.1%)	35,271億円(3.8%)	34,025億円 (3.7%)	33,543億円(3.6%)
6	香港	タイ	香港	香港	香港	香港	香港	ドイツ
	28,566億円 (3.9%)	30,991億円 (3.7%)	35,699億円 (3.9%)	31,755億円 (3.6%)	27,105億円 (3.3%)	31,094億円(3.4%)	30,030億円 (3.3%)	33,186億円 (3.5%)
7	シンガポール	シンガポール	シンガポール	オーストラリア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	タイ
	28,019億円 (3.8%)	30,563億円 (3.7%)	31,597億円 (3.4%)	27,488億円 (3.1%)	25,063億円 (3.0%)	30,594億円 (3.3%)	28,985億円 (3.2%)	29,632億円 (3.1%)
8	タイ	香港	マレーシア	英国	シンガポール	シンガポール	タイ	オーストラリア
	27,999億円 (3.8%)	30,401億円 (3.7%)	31,306億円 (3.4%)	26,693億円 (3.1%)	24,724億円 (3.0%)	29,375億円 (3.2%)	27,030億円 (3.0%)	27,921億円 (3.0%)
9	マレーシア	マレーシア	インドネシア	シンガポール	オーストラリア	タイ	オーストラリア	マレーシア
	25,647億円 (3.5%)	29,469億円 (3.6%)	29,996億円 (3.3%)	25,459億円 (2.9%)	24,187億円 (2.9%)	26,117億円 (2.8%)	26,890億円 (2.9%)	27,790億円 (2.9%)
10	インドネシア	インドネシア	タイ	マレーシア	タイ	インドネシア	インドネシア	インドネシア
	22,700億円 (3.1%)	26,392億円 (3.2%)	29,217億円 (3.2%)	23,493億円 (2.7%)	22,930億円 (2.8%)	25,839億円 (2.8%)	25,833億円 (2.8%)	25,538億円 (2.7%)
	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア
	296,474億円 (40.6%)	339,100億円 (41.0%)	365,432億円 (39.8%)	311,487億円 (35.7%)	316,645億円 (38.2%)	383,169億円 (41.4%)	377,193億円 (41.3%)	407,971億円(43.2%)
地	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN
	116,878億円 (16.0%)	136,577億円 (16.5%)	144,964億円 (15.8%)	112,751億円 (12.9%)	114,288億円 (13.8%)	138,050億円 (14.9%)	131,963億円 (14.4%)	134,348億円 (14.2%)
域	EU	EU	EU	EU	EU	EU	EU	EU
等	111,797億円 (15.3%)	122,093億円(14.8%)	133,678億円 (14.5%)	144,186億円 (16.5%)	133,240億円 (16.1%)	134,749億円 (14.6%)	132,219億円(14.5%)	131,453億円(13.9%)
	中国+香港 82,995億円 (11.4%)	由闰土委选	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港 160,619億円 (17.0%)

⁽注1)()は総額に対する構成比。

出典:「貿易相手国上位10カ国の推移」(財務省貿易統計) https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/data/y3.pdf

⁽注2) ASEAN及びEUは各年加盟国ベース。

⁽注3)上記数値はすべて確定値。

貿易相手国上位10カ国の推移(輸出入総額:年ベース)

年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
総額	989,104億円	1,103,866億円	1,226,059億円	1,425,905億円	1,570,674億円	1,599,728億円	1,056, 700億円	1,281,646億円
1	米国	米国	米国	米国	中国	中国	中国	中国
	202,371億円 (20.5%)	204,941億円 (18.6%)	218,797億円 (17.8%)	248,448億円 (17.4%)	278,745億円 (17.7%)	277,803億円 (17.4%)	216 ,716億円(20.5%)	264,985億円(20.7%)
2	中国	中国 181,932億円 (16.5%)	中国	中国	米国	米国	米国 142,457億円 (13.5%)	米国
3	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国
	60,937億円 (6.2%)	71,685億円 (6.5%)	78,413億円 (6.4%)	90,271億円 (6.3%)	95,936億円 (6.1%)	92,20 3 億円 (5.8%)	64,608億円 (6.1%)	79,642億円 (6.2%)
4	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾
	52.656億円 (5.3%)	63,470億円 (5.7%)	68,034億円 (5.5%)	74,965億円 (5.3%)	76,088億円 (4.8%)	70,398億円 (4.4%)	51,094億円 (4.8%)	66,188億円 (5.2%)
5	香港 36,110億円 (3.7%)	香港 40,067億円 (3.6%)	タイ 41,952億円 (3.4%)	サウジアラビア 48,655億円 (3.4%)	オーストラリア 53,420億円 (3.4%)	オーストラリア 67,148億円 (4.2%)	オーストラリア 43,774億円 (4.1%)	オーストラリア 53,402億円 (4.2%)
6	ドイツ	ドイツ	香港	オーストラリア	タ イ	サウジアラビア	タイ	タイ
	35,416億円 (3.6%)	38,959億円 (3.5%)	41,419億円 (3.4%)	47,010億円 (3.3%)	51,630億円(3.3%)	61,067億円(3.8%)	35,649億円 (3.4%)	48,337億円 (3.8%)
7	タイ	タイ	オーストラリア	タイ	ドイツ	アラブ首長国連邦	サウジアラビア	インドネシア
	32,297億円(3.3%)	37,175億円 (3.4%)	40,766億円 (3.3%)	46,286億円 (3.2%)	49,433億円 (3.1%)	59,961億円 (3.7%)	32,220億円 (3.0%)	38,706億円 (3.0%)
8	オーストラリア	オーストラリア	ドイツ	ドイツ	サウジアラビア	タイ	ドイツ	香港
	28.914億円 (2.9%)	33,806億円 (3.1%)	40,254億円 (3.3%)	45,219億円 (3.2%)	49,380億円 (3.1%)	52,037億円 (3.3%)	31,1 6 9億円 (2.9%)	38,381億円 (3.0%)
9	マレーシア	インドネシア	サウジアラビア	香港	アラブ首長国連邦	インドネシア	香港	サウジアラビア
	27,598億円 (2.8%)	30,036億円 (2.7%)	36,315億円 (3.0%)	44,158億円 (3.1%)	47,494億円 (3.0%)	46,816億円 (2.9%)	30,781億円 (2.9%)	37,173億円 (2.9%)
10	インドネシア	マレーシア	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦	香港	ドイツ	インドネシア	マレーシア
	27,356億円 (2.8%)	28,856億円 (2.6%)	33,303億円 (2.7%)	43,757億円 (3.1%)	47,421億円 (3.0%)	46,428億円 (2.9%)	29,072億円 (2.8%)	35,321億円 (2.8%)
	アジア	アジア 518,610億円 (47.0%)	アジア 570,743億円 (46.6%)	アジア 651,358億円 (45.7%)	アジア 719,640億円 (45.8%)	アジア 720,001億円 (45.0%)	アジア 523,276億円 (49.5%)	アジア 653,386億円 (51.0%)
地	ASEAN	ASEAN 151,918億円 (13.8%)	ASEAN	ASEAN 181,735億円(12.7%)	ASEAN 204,800億円 (13.0%)	ASEAN 218,022億円 (13.6%)	ASEAN 147,669億円 (14.0%)	ASEAN 187,261億円 (14.6%)
域 等 	EU	FII	FIJ	EU 178,669億円 (12.5%)	EU 200,606億円 (12.8%)	EU 187,215億円(11.7%)	EU 122,668億円 (11.6%)	EU 134,368億円(10.5%)
	中国工术进	山国土悉港	山国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港 247,497億円 (23.4%)	中国+香港

⁽注1)()は総額に対する構成比。

出典:「貿易相手国上位10カ国の推移」(財務省貿易統計) https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/data/y3.pdf

⁽注2) ASEAN及びEUは各年加盟国ベース。

⁽注3)上記数値はすべて確定値。

貿易相手国上位10カ国の推移(輸出入総額:年ベース)

年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
総額	1,336,577億円	1,344,362億円	1,510,167億円	1,590,021億円	1,540,195億円	1,360,777億円	1,536,657億円	1,641,821億円
1	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国
	275,441億円 (20.6%)	265,479億円 (19.7%)	302,852億円 (20.1%)	325,579億円 (20.5%)	326,522億円 (21.2%)	293,804億円 (21.6%)	333,490億円 (21.7%)	3 50,914億円 (21.4%)
2	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国
	159,491億円 (11.9%)	172,704億円 (12.8%)	197,430億円 (13.1%)	211,919億円 (13.3%)	232,844億円 (15.1%)	214,650億円 (15.8%)	232,037億円 (15.1%)	244,851億円 (14.9%)
3	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国	韓国
	84,392億円 (6.3%)	81,450億円 (6.1%)	90,049億円 (6.0%)	89,873億円 (5.7%)	85,704億円 (5.6%)	77,425億円 (5.7%)	91,280億円 (5.9%)	93,430億円 (5.7%)
4	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	台湾	台湾	台湾	台湾	台湾
	59,323億円 (4.4%)	59,744億円 (4.4%)	66,326億円 (4.4%)	67,992億円 (4.3%)	72,899億円 (4.7%)	67,630億円 (5.0%)	74,056億円 (4.8%)	76,767億円 (4.7%)
5	台湾	台湾	台湾	オーストラリア	タイ	タイ	オーストラリア	オーストラリア
	59,096億円 (4.4%)	55,938億円 (4.2%)	63,761億円 (4.2%)	65,909億円 (4.1%)	58,581億円 (3.8%)	51,641億円 (3.8%)	61,606億円 (4.0%)	69,390億円 (4.2%)
6	タイ	タイ	タイ	サウジアラビア	オーストラリア	オーストラリア	タイ	タイ
	49,417億円 (3.7%)	53,746億円 (4.0%)	56,576億円 (3.7%)	58,202億円 (3.7%)	57,649億円 (3.7%)	48,531億円 (3.6%)	58,507億円 (3.8%)	63,332億円 (3.9%)
7	サウジアラビア	サウジアラビア	サウジアラビア	タイ	香港	ドイツ	ドイツ	ドイツ
	45,430億円 (3.4%)	50,328億円 (3.7%)	55,315億円 (3.7%)	56,193億円 (3.5%)	44,634億円 (2.9%)	43,116億円 (3.2%)	47,518億円 (3.1%)	51,749億円 (3.2%)
8	インドネシア	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦	ドイツ	香港	香港	サウジアラビア
	41,283億円 (3.1%)	42,251億円 (3.1%)	49,780億円 (3.3%)	54,094億円 (3.4%)	44,190億円 (2.9%)	38,638億円 (2.8%)	41,787億円 (2.7%)	41,871億円 (2.6%)
9	アラブ首長国連邦	インドネシア	インドネシア	マレーシア	マレーシア	インドネシア	ベトナム	ベトナム
	40,053億円 (3.0%)	41,951億円 (3.1%)	44,748億円 (3.0%)	45,833億円 (2.9%)	40,541億円 (2.6%)	32,189億円 (2.4%)	37,672億円 (2.5%)	41,494億円 (2.5%)
10	マレーシア	マレーシア	マレーシア	ドイツ	アラブ首長国連邦	マレーシア	インドネシア	インドネシア
	39,218億円 (2.9%)	40,340億円 (3.0%)	43,885億円 (2.9%)	45,694億円 (2.9%)	38,984億円 (2.5%)	31,963億円 (2.3%)	37,329億円 (2.4%)	41,220億円 (2.5%)
	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア	アジア
	670,772億円 (50.2%)	661,607億円 (49.2%)	738,381億円 (48.9%)	781,363億円 (49.1%)	786,872億円 (51.1%)	703,058億円 (51.7%)	799,461億円 (52.0%)	839,534億円 (51.1%)
地域	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN	ASEAN
	197,501億円 (14.8%)	206,333億円 (15.3%)	223,143億円 (14.8%)	233,320億円 (14.7%)	233,382億円 (15.2%)	204,252億円 (15.0%)	234,171億円 (15.2%)	250,336億円 (15.2%)
等	EU	EU	EU	EU	EU	EU	EU	EU
	140,303億円 (10.5%)	131,424億円 (9.8%)	146,491億円 (9.7%)	157,541億円 (9.9%)	166,101億円 (10.8%)	161,335億円 (11.9%)	174,135億円(11.3%)	189,276億円(11.5%)
	中国+香港	中国十香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国+香港	中国十香港
	310,868億円 (23.3%)	299,455億円 (22.3%)	340,930億円 (22.6%)	367,738億円 (23.1%)	371,156億円 (24.1%)	332,442億円 (24.4%)	375,276億円 (24.4%)	391,584億円 (23.9%)

⁽注1)()は総額に対する構成比。

出典:「貿易相手国上位10カ国の推移」(財務省貿易統計) https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/data/y3.pdf

⁽注2) ASEAN及びEUは各年加盟国ベース。

⁽注3)上記数値はすべて確定値。

資料 4 韓国・朝鮮語科目を開設している学校数の推移



※平成 11 年~15 年14私立及び公立のみ調査対象とし (注) 複数の言語の科目を開設している学校もあるため、開設学校数の計は延べ数であり、開設学校数(実数)を上回る。

出典:「平成 29 年度 高等学校等における国際交流等の状況について」 (文部科学省総合教育政策局教育改革・国際課)

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/koukousei/1323946.htm

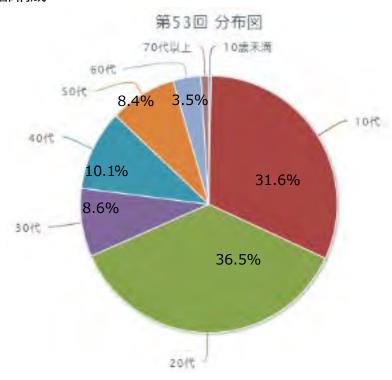
資料 5 「ハングル」能力検定試験の受験者数及び年齢構成

○受験者数

①第 53 回	②甲計山岡学粉	③過去平均出願者数	④増加割合
出願者数	②累計出願者数 	(2-1/52)	((①-③)/③×100)
10,924 人	437,760 人	8,208人	33.1%

(注) ③は小数点以下、④は小数点第2位以下四捨五入

〇年齢構成



出典:「2019 年秋季第 53 回検定試験状況」(ハングル能力検定協会)より作成 https://www.hangul.or.jp/siken-top/pastexam/

資料 6 日韓関係の重要性に関する国民の意識

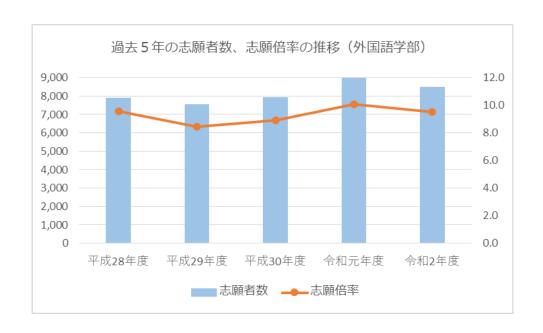
	該当者 数	重要だ と思う (小計)	重要だと思う	まあ重 要だと 思う	重要だと 思わない (小計)	あまり重 要だと思 わない	重要だ と思わ ない	一概に いえな い	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1608	57.5	23.8	33.7	37.7	22.3	15.4	1.9	2.9
〔年齢〕									
18~29 歳	164	72	35.4	36.6	25.6	19.5	6.1	1.8	0.6
30~39 歳	166	68.7	28.3	40.4	29.5	18.7	10.8	-	1.8
40~49 歳	262	60.7	24	36.6	37	24.4	12.6	1.5	0.8
50~59 歳	263	62.7	28.5	34.2	36.5	19	17.5	0.8	
60~69 歳	299	55.9	23.7	32.1	40.5	24.1	16.4	2.3	1.3
70 歳以上	454	44.5	15.2	29.3	44.3	24.2	20	3.1	8.1
〔韓国に対する親近	[感]								
親しみを感じる	429								
(小計)	(26.7%)	85.8	45.7	40.1	13.3	11.2	2.1	0.7	0.2
親しみを感じる	101	91.1	60.4	30.7	8.9	7.9	1	-	-
どちらかというと 親しみを感じる	328	84.1	41.2	43	14.6	12.2	2.4	0.9	0.3
親しみを感じない	1149								
(小計)	(71.5%)	47.6	15.8	31.9	47.3	26.5	20.7	2.2	3
どちらかというと 親しみを感じない	496	63.7	19.2	44.6	33.3	27.8	5.4	1.4	1.6
親しみを感じない	653	35.4	13.2	22.2	57.9	25.6	32.3	2.8	4
	30								
わからない	(1.9%)	33.3	20	13.3	20	20	-	6.7	40

出典:外交に関する世論調査(内閣府、令和元年10月調査)

「ウ 今後の日本と韓国との関係の発展」表 12 より作成

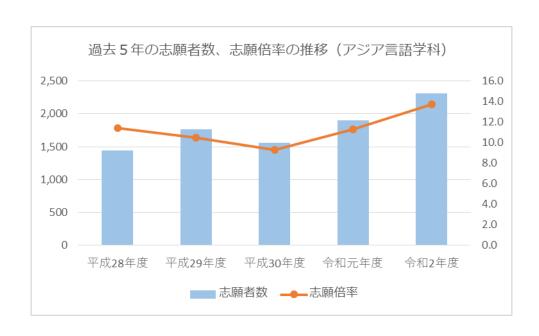
※ 「都市規模」、「性」、「現在の日本と韓国との関係」の項目については省略 https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-gaiko/index.html

資料 7 外国語学部志願者数、志願倍率の推移



	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
募集人数①	823	893	893	893	893
志願者数②	7,889	7,548	7,947	8,997	8,484
志願倍率③(②÷①)	9.6	8.5	8.9	10.1	9.5
受験者数④	7,744	7,406	7,807	8,838	-
合格者数⑤	2,622	2533	2,627	2,481	-
入学者数⑥	912	952	1,071	980	-
定員超過率(⑥÷①)	1.1	1.1	1.2	1.1	-

資料 8 アジア言語学科志願者数、志願倍率の推移



	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
募集人数①	126	168	168	168	168
志願者数②	1,439	1,765	1,559	1,901	2,310
志願倍率③(②÷①)	11.4	10.5	9.3	11.3	13.8
受験者数④	1,414	1,736	1,534	1,876	-
合格者数⑤	495	483	478	479	-
入学者数⑥	154	180	202	184	-
定員超過率(⑥÷①)	1.2	1.1	1.2	1.1	-

資料 9 アジア言語学科専攻別志願者数、志願倍率の推移

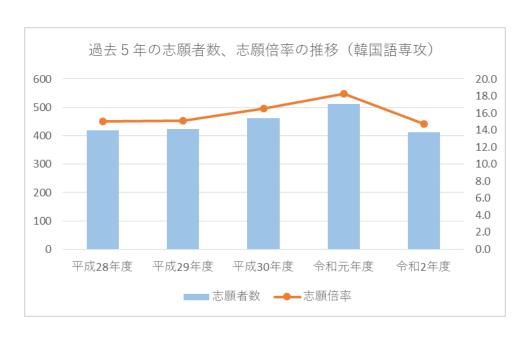
○志願倍率

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
中国	7.8	11.3	7.6	15.6	7.7
韓国	15.0	15.1	16.5	18.3	14.8
イント゛ネシア	13.1	9.1	9.8	4.9	21.5
ላ" トナム	13.9	7.8	7.7	7.2	16.5
タイ	14.6	8.3	6.5	6.3	14.4

○定員超過率

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
中国	1.0	1.1	1.4	1.0
韓国	1.1	1.3	1.3	1.0
イント゛ネシア	1.6	1.0	1.1	1.0
ላ" トナム	1.4	0.9	1.0	1.4
タイ	1.8	1.0	1.0	1.1
アジア言語学科全体	1.2	1.1	1.2	1.1

資料 10 韓国語専攻志願者数、志願倍率の推移



	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
募集人数①	28	28	28	28	28
志願者数②	420	423	463	512	413
志願倍率③(②÷①)	15.0	15.1	16.5	18.3	14.8
受験者数④	411	415	452	502	-
合格者数⑤	69	80	79	73	-
入学者数⑥	31	35	37	29	-
定員超過率(⑥÷①)	1.1	1.3	1.3	1.0	-

(参考) 入試区分別韓国語専攻志願者数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度
推薦入試	54	53	68	67	64
一般入試	204	207	224	229	220
センター利用入試	162	163	171	216	129

資料 11 競合校の志願倍率

			2018			2019			2020	
大学名	入試名	募集 人数 ①	志願 者数 ②	志願倍 率(② /①)	募集 人数 ①	志願 者数 ②	志願倍 率 (2 /①)	募集 人数 ①	志願者 数②	志願倍 率(②/ ①)
東京外国語大学 言語文化学部 言語文化学科 (朝鮮語)	一般	14	66	4.7	12	39	3.3	12	48	4.0
	推薦入試合計	10	41	4.1	10	59	5.9	10		
目白大学	A O入試合計	10	95	9.5	10	128	12.8	10		
外国語学部	全学部統一	10	87	8.7	10	106	10.6	10	88	8.8
韓国語学科	A日程	20	89	4.5	20	101	5.1	20	93	4.7
	セ試A日程	10	109	10.9	10	107	10.7	10	81	8.1
大阪大学 外国語学部 外国語学科 朝鮮語専攻	一般	16	68	4.3	16	42	2.6	16	55	3.4
天理大学 国際学部	公募推薦	7	44	6.3	7	37	5.3	7	35	5.0
外国語学科	一般選抜前期	6	38	6.3	6	27	4.5	6	15	2.5
韓国・朝鮮語 専攻	一般選抜後期	3	15	5.0	3	6	2.0	3		_
3.2	セ試前期	2	11	5.5	2	10	5.0	2	8	4.0

出典:大学受験パスナビ(旺文社)及び各大学のホームページ(令和2年度速報分)を基に作成

https://passnavi.evidus.com/(各大学のデータページ)

https://www.mejiro.ac.jp/univ/jyukensei/admission/report/

http://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/shigan-data/shigan-data2020.pdf

https://tenri-u.jp/ent/

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/general/testpast

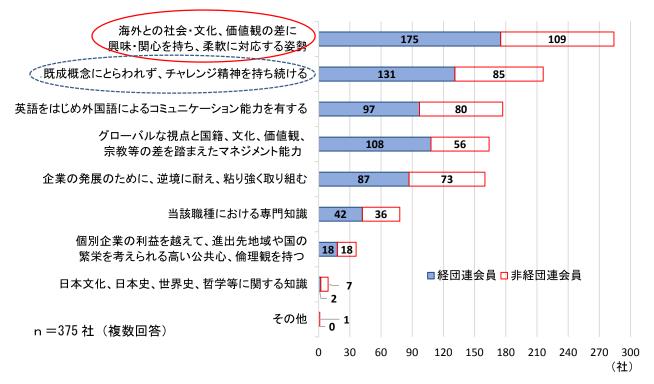
https://www.nyusi.icho.osaka-u.ac.jp/r2_ip_kakutei.pdf

※ 上記情報源に記載されている募集人数及び志願者数を基に、志願倍率(志願者数÷募集人数)を算出。募集人員が「若干名」の場合など、一部の入試区分につき、記載を省略している。

資料12 グローバル人材の育成・活用に向けて求められる取り組みに関するアンケート

[グローバル事業で活躍する人材に求められる素質、知識・能力]

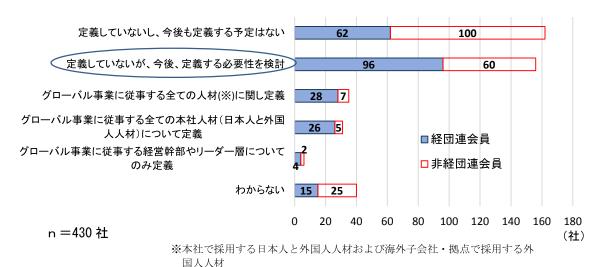
【図表1-6】グローバル事業で活躍する人材に求める素質、知識・能力



(2) グローバル人材の定義

「定義していないし、今後も定義する予定はない」と回答した企業が最も多いが、経団連会員では「<u>定義していないが、今後、定義する必要性を検討」する企業が95社(42%)で最も多く、今後、定義する企業が増えることが予想される。</u>

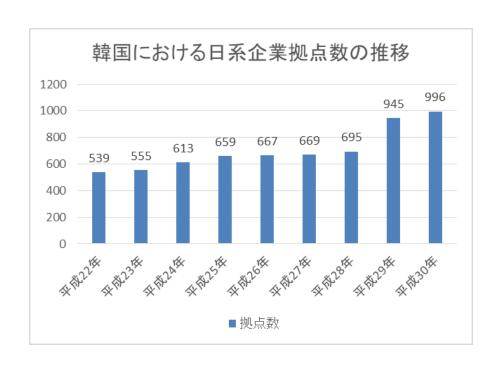
【図表1-7】 グローバル人材の定義



出典:「グローバル人材の育成・活用 に向けて求められる取り組み に関するアンケート結果」 (抜粋 p7) (一般社団法人 日本経済団体連合会)

http://www.keidanren.or.jp/policy/2015/028_honbun.pdf#page=3

資料 13 韓国における日系企業拠点数の推移

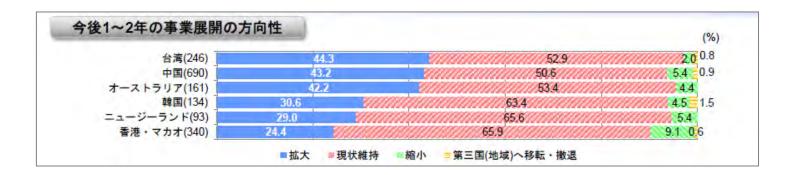


出典:「海外在留邦人数調査統計」(外務省)より作成

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/page22_000043.html

※ 平成 23 年、24 年、25 年のデータについては、「企業(拠点)数の総数は不明であるが、当該数値以上の企業(拠点)がある」数値となっている。

資料 14 海外進出企業の今後 1~2年の事業展開の方向性



出典: 「2019 年度アジア・オセアニア進出日系企業実態調査」 (日本貿易振興機構(JETRO)) https://www.jetro.go.jp/world/reports/2019/01/962bd5486c455256.html

資料 15 国別訪日外客数(令和元年)

2019年 訪日外客数 (総数)

出典:日本政府観光局(JNTO)

単位:人数(人)、伸率(%)

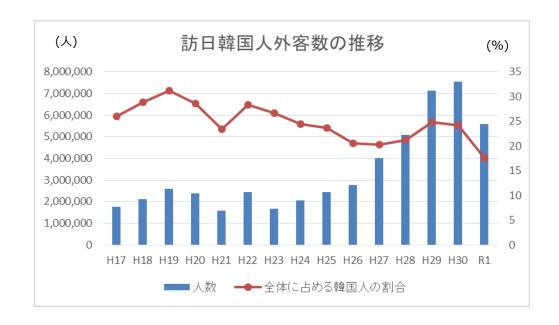
* 本表で、	通年の月別	・市場別の推移か	「確認できます。	, 伸率は前年同月.	比を表しています。

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率
総数	2,689,339	7.5	2,604,322	3.8	2,760,136	5.8	2,926,685	0.9	2,773,091	3.7	2,880,041	6.5	2,991,189	5.6	2,520,134	-2.2	2,272,883	5.2	2,496,568	-5.5	2,441,300	-0.4	2,526,400	-4.0	31,882,100	2.2
アジア計	2,366,944	7.2	2,323,258	3.4	2,287,450	5.3	2,369,734	-2.5	2,344,872	2.7	2,483,217	6.1	2,563,058	5.4	2,156,004	-4.4	1,827,278	0.6	1,959,436	-10.6						
韓国	779,383	-3.0	715,804	1.1	585,586	-5.4	566,624	-11.3	603,394	-5.8	611,867	0.9	561,675	-7.6	308,730	-48.0	201,252	-58.0	197,281	-65.5	205,000	-65.1	248,000	-63.6	5,584,600	-25.9
中国	754,421	19.3	723,617	1.0	691,279	16.2	726,132	6.3	756,365	13.1	880,651	15.7	1,050,420	19.5	1,000,639	16.3	819,054	25.5	730,631	2.1	750,900	21.7	710,200	18.5	9,594,300	14.5
台湾	387,498	10.5	399,829	-0.3	402,433	3.9	403,467	-14.2	426,537	-3.1	461,085	0.9	459,216	-0.3	420,279	6.5	376,186	14.3	413,701	9.0	392,100	11.4	348,300	3.7	4,890,600	2.8
香港	154,292	-3.9	179,324	0.5	171,430	-12.4	194,806	8.3	189,007	-0.8	209,030	1.7	216,810	-4.4	190,260	-4.0	155,927	23.6	180,562	6.5	199,700	19.4	249,600	19.2	2,290,700	3.8
タイ	92,649	12.2	107,845	31.5	147,443	26.9	164,817	10.9	107,857	4.2	62,984	-14.5	73,202	-1.6	49,589	4.4	62,057	14.0	145,333	23.2	140,300	36.3	164,900	28.5	1,319,000	16.5
シンガポール	22,676	7.1	26,102	11.1	43,687	14.7	36,704	-2.4	37,650	-4.4	47,264	18.2	21,716	1.6	19,698	20.6	29,147	24.7	41,937	19.4	65,300	20.3	100,400	15.3	492,300	12.6
マレーシア	31,399	0.9	36,660	3.8	50,615	6.2	46,092	-6.3	42,629	17.0	30,534	-16.3	22,957	-0.6	19,827	-1.6	28,778	7.9	48,864	24.8	65,000	17.1	78,300	15.8	501,700	7.1
インドネシア	32,477	8.7	24,622	16.7	39,609	22.1	39,768	-7.7	30,107	-4.3	49,290	-12.2	25,215	-4.8	16,160	-7.5	25,021	2.4	34,094	20.7	37,200	15.9	59,200	9.7	412,800	4.0
フィリピン	35,987	13.5	35,170	27.9	48,277	-13.9	69,266	8.4	59,578	1.0	46,842	25.4	37,771	30.4	31,470	27.3	37,758	52.4	64,690	36.7	64,800	38.0	81,500	46.4	613,100	21.7
ベトナム	35,375	27.7	39,377	68.5	47,881	35.9	55,295	9.9	39,900	41.6	35,419	20.2	40,762	21.7	43,709	27.7	38,325	30.9	46,510	18.0	41,900	23.3	30,600	25.6	495,100	27.3
インド	12,468	10.0	9,071	15.3	17,752	28.3	18,376	3.7	19,914	15.3	15,359	23.0	13,222	6.4	13,308	26.6	15,895	19.4	13,929	1.4	14,900	12.3	11,700	13.9	175,900	14.2
マカオ	6,608	7.2	7,933	-3.2	8,045	8.5	6,873	-7.8	8,538	5.6	9,962	20.0	16,358	11.7	17,232	8.8	8,076	54.1	7,538	-2.5						
イスラエル	1,107	17.5	1,524	51.9	6,032	0.3	7,453	9.2	3,164	14.8	1,644	6.9	2,221	1.8	2,130	-7.8	5,402	-23.8	7,956	104.5						
モンゴル	2,893	20.1	2,108	21.6	2,989	28.7	2,650	12.1	2,166	3.6	2,570	28.9	2,203	-3.2	3,275	41.0	3,102	15.1	2,637	12.0						
トルコ	1,153	4.7	1,105	11.8	2,181	2.5	2,483	-7.7	1,906	15.8	2,736	74.7	2,025	11.9	1,924	-4.3	1,752	29.2	1,855	-0.9						
その他アジア	16,558	17.3	13,167	23.8	22,211	20.4	28,928	-1.4	16,160	11.7	15,980	27.6	17,285	12.9	17,774	18.4	19,546	17.7	21,918	17.3						
ヨーロッパ計	92,337	4.7	99,499	4.3	186,225	8.5	240,955	20.1	164,278	6.5	134,028	11.6	178,049	8.3	165,158	9.3	188,424	35.4	248,153	28.5						
英国	21,554	8.2	23,554	-1.4	38,610	6.1	44,537	23.1	31,642	4.4	25,801	14.4	28,928	9.1	26,213	8.5	49,580	84.3	68,401	85.6	37,700	37.5	27,700	21.0	424,200	27.0
フランス	15,320	4.9	17,397	7.0	29,408	16.1	46,005	4.4	30,863	4.3	21,317	10.0	34,634	4.1	30,851	9.4	26,530	31.7	39,457	15.0	24,300	10.2	20,300	14.5	336,400	10.3
ドイツ	11,358	2.6	13,384	1.4	28,659	15.0	27,829	25.9	21,552	5.8	15,697	8.8	18,593	8.4	17,264	6.5	22,768	13.8	26,276	5.7	19,500	5.2	13,600	9.1	236,500	9.8
イタリア	6,033	-5.6	5,897	-0.8	14,956	12.9	24,062	35.5	12,463	2.3	11,357	2.8	13,566	0.2	22,804	3.4	13,354	8.8	14,731	-2.2	12,400	6.7	11,200	25.3	162,800	8.5
ロシア	6,316	11.0	5,601	13.4	11,701	31.2	13,787	11.4	9,691	30.1	8,844	25.5	9,005	15.9	8,321	23.7	10,454	38.4	14,348	33.1	13,100	41.3	8,800	39.8	120,000	26.6
スペイン	4,382	5.2	4,533	8.6	8,916	-22.6	13,858	50.5	9,971	7.2	9,762	17.8	15,771	16.9	20,009	3.9	11,472	8.6	13,739	-2.5	10,500	18.8	7,300	21.9	130,200	9.5
スウェーデン	3,509	1.7	3,228	-6.9	5,461	-13.2	6,702	8.9	4,171	-1.8	5,321	-1.0	4,364	-0.3	2,669	1.4	3,664	-1.4	5,909	-2.2						
オランダ	3,321	-2.5	4,139	14.2	7,071	26.0	9,476	7.8	7,502	8.2	4,930	10.0	10,459	14.6	6,059	10.7	6,862	6.7	9,113	11.2						
スイス	2,399	8.7	2,568	-1.8	5,066	-10.0	7,983	23.7	4,608	-3.1	3,145	2.7	6,489	-3.0	3,529	5.5	4,778	10.3	6,514	-1.2						
ベルギー	1,572	4.9	1,849	8.8	3,547	12.3	5,258	24.9	3,351	12.6	2,553	20.3	5,166	6.9	2,850	13.9	3,488	17.0	4,424	10.5						
フィンランド	1,875	0.6	2,213	24.1	2,729	2.5	2,604	-9.2	3,102	21.5	3,054	14.0	2,108	2.4	1,580	13.0	1,931	-2.3	3,309	3.1						
ポーランド	1,517	-16.2	1,591	-2.1	4,188	26.1	5,972	8.6	3,442	-7.6	2,721	9.4	3,217	17.5	2,945	14.5	3,538	16.5	4,017	11.7						
デンマーク	1,544	-8.6	1,843	16.6	3,132	-17.9	4,215	51.3	2,404	20.0	1,980	5.0	4,972	15.5	1,645	6.1	2,298	3.6	3,917	4.3						
ノルウェー	1,537	17.1	1,640	1.9	2,335	-34.1	3,756	104.8	1,537	4.2	2,453	9.7	3,320	11.8	1,156	11.4	1,828	9.9	1,959	-4.3						
オーストリア	1,382	11.4	1,479	9.2	2,498	7.4	3,451	50.4	2,179	-6.8	1,732	8.1	3,005	18.4	2,453	21.3	2,640	16.4	2,827	-5.7						
ポルトガル	1,587	17.9	1,571	2.8	2,538	3.5	3,527	43.1	2,728	28.8	2,577	42.6	2,828	15.5	3,312	27.9	2,712	30.1	3,389	22.9						
アイルランド	1,316	4.6	1,333	3.0	1,970	-9.6	2,481	31.3	1,949	0.6	1,887	9.4	1,889	6.1	1,696	19.1	9,151	415.5	12,024	471.2						
その他ヨーロッパ	5,815	10.4	5,679	16.8	13,440	30.5	15,452	12.3	11,123	10.9	8,897	13.4	9,735	9.8	9,802	23.4	11,376	23.5	13,799	17.2						
アフリカ計	2,777	9.3	2,337	8.2	3,952	19.8	3,933	4.2	2,847	5.2	3,852	35.4	3,651	6.3	7,790	153.3	7,717	101.3	8,657	102.8						
北アメリカ計	130,340	11.2	120,332	12.7	221,773	13.6	219,055	16.6	199,117	11.4	207,718	8.0	196,104	6.4	151,865	13.4	163,454	21.3	200,133	7.5						
米国	103,191	12.1	92,669	13.1	176,564	17.0	170,247	15.8	156,962	11.7	175,491	8.5	156,865	6.9	117,828	14.3	127,190	21.6	153,363	6.5	149,000	17.3	144,500	13.9	1,723,900	12.9
カナダ	22,293	9.0	23,883	14.6	37,959	8.8	38,897	13.6	35,335	12.5	25,402	6.2	29,285	7.5	27,568	10.5	28,525	23.5	37,667	11.6	33,300	20.5	35,100	24.8	375,200	13.5
メキシコ	3,615	-0.1	2,889	-10.9	5,740	-28.1	8,222	55.5	5,482	-4.9	5,676	1.2	8,661	-5.7	4,800	0.9	6,282	11.8	7,385	7.0						
その他北アメリカ	1,241	7.8	891	13.8	1,510	5.4	1,689	32.5	1,338	23.1	1,149	6.4	1,293	14.5	1,669	56.7	1,457	4.9	1,718	10.8						
南アメリカ計	7,420	-15.9	5,883	-18.1	10,689	-5.1	13,089	10.5	9,033	-7.5	7,794	12.7	8,712	-5.2	6,797	6.6	13,217	50.5	12,160	15.4						
ブラジル	2,935	-15.4	2,122	-4.6	5,070	14.1	5,726	10.5	4,244	4.4	3,363	19.9	4,476	0.6	2,957	11.4	3,958	12.3	4,656	0.8						
その他南アメリカ	4,485	-16.2	3,761	-24.1	5,619	-17.5	7,363	10.5	4,789	-15.9	4,431	7.8	4,236	-10.6	3,840	3.1	9,259	76.1	7,504	26.7						
オセアニア計	89,476	15.9	52,965	4.9	49,987	-6.5	79,852	21.9	52,878	15.9	43,360	4.8	41,553	4.2	32,459	14.2	72,742	29.9	67,955	22.4						
豪州	81,063	15.9	47,658	5.5	44,175	-6.9	70,504	22.8	46,223	16.8	37,283	4.2	34,873	3.0	26,951	13.6	60,498	24.4	51,563	8.7	48,300	21.2	72,700	14.3	621,800	12.6
ニュージーランド	7,920	16.4	5,068	0.0	5,393	-4.4	9,010	17.1	6,222	9.8	5,541	7.8	6,241	13.0	5,149	22.8	11,331	62.5	15,683	106.5						
その他オセアニア	493	8.8	239	-0.4	419	21.1	338	-8.2	433	8.5	536	15.0	439	-11.0	359	-26.7	913	117.4	709	52.1						
無国籍・その他	45	-27.4	48	26.3	60	-20.0	67	-5.6	66	17.9	72	10.8	62	14.8	61	69.4	51	13.3	74	21.3						
																								-		

注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

注2: 斜体の数値は推計値である。

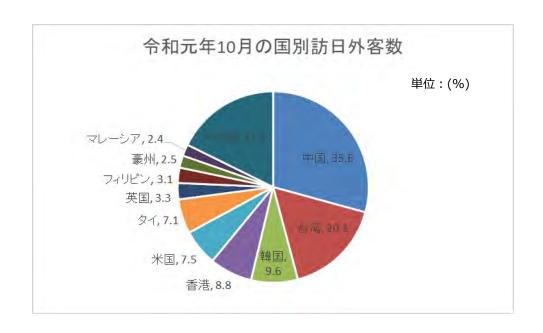
資料 16 訪日韓国人外客数の推移



出典:「訪日外客数の動向」(日本政府観光局(JNTO))より作成 https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/

※ 令和 2 年 1 月 24 日時点公表のデータを用いたため、令和元年の数値は推計値となっている。

資料 17 令和元年 10 月の国別訪日観光客数



出典:「訪日外客数の動向」(日本政府観光局(JNTO))より作成 https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/

資料 18 過去 3年の卒業生の進路状況 (全卒業生、アジア言語学科全体、韓国語専攻)

		平成28年度(平成29年3月卒)			平成29年	度(平成304	年3月卒)	平成30年度(平成31年3月卒)		
学科/専攻		全卒業生	アジア 五言語計 _{※2}	韓国語 専攻	全卒業生	アジア 五言語計 _{※2}	韓国語 専攻	全卒業生	アジア 五言語計 _{※2}	韓国語 専攻
卒業者		788	142	24	906	147	41	778	118	35
【就	職志望者】計	694	128	19	803	127	29	705	108	34
内	民間企業志望者	634	122	19	745	120	29	643	101	33
訳	教職志望者	32	2	0	27	1	0	28	2	0
	公務員志望者	28	4	0	31	6	0	34	5	1
【就	職決定者】計	657	122	19	775	123	28	670	102	32
内	民間企業決定者	607	119	19	729	118	28	628	97	32
訳	教職決定者	26	0	0	17	0	0	16	1	0
	公務員決定者	24	3	0	29	5	0	26	4	0
	内定率									
<u></u>	就職志望者内定率	94.7%	95.3%	100.0%	96.5%	96.9%	96.6%	95.0%	94.4%	94.1%
	民間企業内定率	95.7%	97.5%	100.0%	97.9%	98.3%	96.6%	97.7%	96.0%	97.0%
	教員内定率	81.3%	0.0%		63.0%	0.0%		57.1%	50.0%	
	公務員内定率	85.7%	75.0%		93.5%	83.3%		76.5%	80.0%	0.0%
	卒業者対象内定率	83.4%	85.9%	79.2%	85.5%	83.7%	68.3%	86.1%	86.4%	91.4%

^{※1} 就職以外の進路としては、留学、進学などがある。

^{※2} アジア五言語:「中国語専攻」「韓国語専攻」「インドネシア語専攻」「ベトナム専攻」「タイ専攻」

資料 19 過去 3年の就職状況 (韓国語専攻)

亚成60年度进取油中老600夕)

平成28年度谁路決定者(19名)

(株)こどもの森 雪印メグミルク(株) (株) FUKUKANプロジェクト (株) リキッド 東京ベイ信用金庫 (株) コラボス (株) SBJ銀行 ちばぎんコンピューターサービス(株) (株) ボディーズ (株) バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株) (アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャバンネット銀行 日本郵便(株)	平成28年度進路決定者(19名)
(株) FUKUKANプロジェクト (株) リキッド 東京ベイ信用金庫 (株) コラボス (株) SBJ銀行 ちばぎんコンピューターサービス(株) (株) ボディーズ (株) バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株) (アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャバンネット銀行	(株)こどもの森
(株)リキッド 東京ベイ信用金庫 (株)コラボス (株)SBJ銀行 ちばぎんコンピューターサービス(株) (株)ボディーズ (株)バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株)ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャパンネット銀行	雪印メグミルク(株)
東京ベイ信用金庫 (株) コラボス (株) SBJ銀行 ちばぎんコンピューターサービス(株) (株) ボディーズ (株) バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株) (アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャバンネット銀行	(株) FUKUKANプロジェクト
(株)コラボス (株)SBJ銀行 ちばぎんコンピューターサービス(株) (株)ボディーズ (株)バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグルーブ) (株)ワイズ・インフィニティ (株)セイファート (株)ジャパンネット銀行	(株)リキッド
(株)SBJ銀行 ちばぎんコンピューターサービス(株) (株)ボディーズ (株)バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株)ワイズ・インフィニティ (株)セイファート (株)ジャパンネット銀行	東京ベイ信用金庫
ちばぎんコンピューターサービス(株) (株) ボディーズ (株) パル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャパンネット銀行	(株)コラボス
(株)ボディーズ (株)バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株)ワイズ・インフィニティ (株)セイファート (株)ジャバンネット銀行	(株)SBJ銀行
(株) バル 千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株) (アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャパンネット銀行	ちばぎんコンビューターサービス(株)
千葉トヨタ自動車(株) ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャパンネット銀行	(株)ボディーズ
ちばぎん証券(株) 渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株)ワイズ・インフィニティ (株)セイファート (株)ジャバンネット銀行	(株)バル
渋谷 エクセルホテル東急 日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャパンネット銀行	千葉トヨタ自動車(株)
日本サムスン(株) アバホテル(株)(アバグループ) (株)ワイズ・インフィニティ (株)セイファート (株) ジャパンネット銀行	ちばぎん証券(株)
アバホテル(株)(アバグループ) (株)ワイズ・インフィニティ (株)セイファート (株) ジャバンネット銀行	渋谷 エクセルホテル 東急
(株) ワイズ・インフィニティ (株) セイファート (株) ジャバンネット銀行	日本サムスン(株)
(株) セイファート (株) ジャパンネット銀行	アパホテル(株)(アパグルーブ)
(株)ジャバンネット銀行	(株)ワイズ・インフィニティ
	(株) セイファート
日本郵便(株)	(株)ジャパンネット銀行
	日本郵便(株)

ホテル業、空港関連産業、旅行業、 外国語インストラクター (緑字) その他にも海外拠点のある企業が 多く含まれている。

<u> 平成29年度進路決定者(28名) </u>
(株) ABC Cooking Studio
(株) LAVA International
(株) RAJA
(株)アルビオン
(株)イーオン
(株) グリフィン
(株)システムシンク
(株)ジャルセールス
(株)バローホールディングス
(株)ホライズン・ホテルズ
(株)マルハン
(株)ユニクロ((株)ファーストリテイリング)
(株)近鉄コスモス
(株)二番工房
(株)毎日コムネット
D&X(株)
UTグループ(株)
スイスポートジャパン(株)
トランスコスモス(株)
トランスコスモス(株)
ホテルモントレ (株)
横井醸造工業(株)
学校法人ものつくり大学
桂不動産(株)
新潟縣信用組合
新潟縣信用組合
東急リバブル(株)
日本航空(株)

平成30年度進路決定者(32名) (株)IVE (株)NAAUテイリング (株)アイネット (株)アウトソーシングテクノロジー (株)アドバンテック (株)イーネット (株)インタラクティブメディアミックス (株)ヴァンドームヤマダ (株) クレスコ (株)コシダテック (株)ジーズコンサルティング (株)ジェイ・エス・エス (株)ストライブインターナショナル (株)セントメディア (株)ニチイ学館 (株)共立メンテナンス (株)光電製作所 (株)市進ホールディングス (株)地域新聞社 (株)東京ドームホテル ANAエアポートサービス(株) ANAテレマート(株) DSP(株) HOYA(株) アイケアカンバニー POSCO JAPAN(株) アシアナスタッフサービス(株) ピアス(株) 医療法人社団 陽優会 岡三情報システム(株)

熊谷商工信用組合 電機資材(株) 日発運輸(株)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 員 名 簿

		学	長	0	D	氏	名	等
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>		>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
_	学長		ウチ ダカビサ 内 孝久 戈30年4月>			学士 (法学)		神田外語大学 学長 (平成30.4~令和4.3)

⁽注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。